



2018年総合優勝
大阪大学チーム

第17回

ものづくり・デザインコンペティション

学生フォーミュラ 日本大会2019

2018年EV総合優秀賞
名古屋大学チームEV



クルマ+ものづくりに
熱中する学生たち、
ここに集結!

2019 **入場無料**
8.27(火) - 31(土)

会場 静岡県 小笠山総合運動公園

詳細は
こちらへ

主催 公益社団法人自動車技術会
Society of Automotive Engineers of Japan, Inc.





CONTENTS

文部科学大臣祝辞/会長挨拶 Congratulatory Message/President's Message	1	主催・後援・協賛・委員会組織 Organizer/Support/Committee Members	12
大会概要 Outline of Events	2	大会スタッフ一覧 Competition Staffs	13
スケジュール Schedule of Events	3	大会ヒストリー History of Competition	14
動的イベントコース概要 Dynamic Events	4	第16回 全日本学生フォーミュラ大会成績 2018 Student Formula Japan Overall and Awards	15
登録チーム Registered Teams	6	参加チーム【車両スペック】 Team Information (Vehicle Specifications)	16 ~ 25
表彰 Awards	7	参加チーム【チームメンバー・スポンサー】 Team Information (Members and Sponsors)	26 ~ 50
大会スポンサー一覧 Sponsors	8		



第17回 学生フォーミュラ日本大会 2019 開催を祝して

第17回学生フォーミュラ日本大会2019の開催を、心からお喜び申し上げます。

近年、イノベーションが急速に進展し、技術がめまぐるしく進化する中、第四次産業革命や「超スマート社会」(Society5.0)の実現に向け、AI・ビッグデータ・IoT (Internet of Things)などの技術革新を社会実装につなげ、産業構造改革を促す人材を育成する必要があります。

そのための重要な鍵の一つは、大学における優れた工学系人材の育成です。これからの社会を牽引する工学系人材は、専門の深い知識と同時に、分野の多様性を理解し、他者との協調のもと、異分野との融合・学際領域の推進も見据えることができる幅広い知識と俯瞰的視野を持つ人材です。そのため文部科学省では、学科・専攻の縦割りの見直しや一般教養教育としての情報教育の履修促進、学部・大学院連結教育プログラムの構築によるメジャー・マイナー制の導入等を進めるために必要な制度改正を平成30年6月に行い、各大学において、順次改革に取り組んでいただいているところです。

また、高等専門学校においては、中学校卒業後の早期から、工学分野を中心に専門科目の実験・実習を通じて学ぶとともに、課外活動では、本大会のような各種コンテストへの参加により、企業や技術者が直面する規格やコスト、納期等の実践的な課題への対応を学んでいます。近年は、技術者教育の特色を基盤に、大学との連携による機能補完等により、実践的・創造的な技術者の養成に取り組んでいただいております。

こうした中で、本大会は、学生のものづくりの総合力を育成するため、自動車の走行性能や製作コストのほか、自ら設計した車をPRするためのデザイン・プレゼンテーション能力を競うなど、これからの我が国を支える実践的な技術者の育成に資する極めて有意義な大会であると考えております。

学生の皆様にとっては、レーシングカーの企画・設計・製作を通じて、ものづくりのすばらしさ・おもしろさを実感するとともに、メンバーとコミュニケーションを取りながら課題を発見し、解決していくことの大切さや、マネジメントワークやリーダーシップを学ぶ実践的な機会となるでしょう。それは、日頃学んでいる工学等の知識を超えた高いレベルへの挑戦であり、今後、技術者として社会で活躍するための価値ある経験になるものと考えます。

17回目を迎える本大会には、ICVクラス、EVクラス併せて、海外27チームを含む98チームの参加登録があり、また、昨年度は、延べ17,605名の参加があったとお伺いしております。このことは、本大会が国内外から広く認識され、そして高く評価されていることの表れであり、大変喜ばしく思います。

最後になりますが、本大会に出場される各チームの皆様、指導教員や学校関係の皆様のご健闘を祈念するとともに、公益社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様の御尽力に敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。



文部科学大臣
柴山 昌彦

第17回 学生フォーミュラ日本大会 2019 を迎えて Welcome to 2019 Formula SAE Japan

今年で17回目の開催を迎える本大会は、8か国10大会で繰り広げられるフォーミュラSAEワールドシリーズとして開催されます。このため、海外からの参加も多く、グローバルな大会としてより一層認知いただくために今年から「学生フォーミュラ日本大会2019」と改称することとなりました。エントリーは120チーム(国内78、海外42)の申込みがあり、うち正式参加登録となった98チームを地域、国別にみると、国内からは71チーム、海外からは、インドネシア7、台湾7、中国6、韓国3、タイ2、インド1、バングラデシュ1チームで、中には海外大会で活躍している強豪チームもあり、来日を楽しみにしています。

日本の学生諸君には多くの国の学生と交流できる絶好の機会と捉え、積極的に技術および人的な交流をしていただくことを期待します。

本大会は、実践的なものづくりの人材育成プログラムとして2003年にスタートいたしました。学生がチームを組んで構想・設計・製作した車両の、加速性能、旋回性能、耐久性/燃費といった走行性能に加え、車両コンセプト、設計、製造、コスト、更にはプレゼンテーションスキルなど、ものづくりの総合力を競います。

学生たちは、ものづくりの厳しさ、楽しさ、喜びの中で、チームマネジメントやコミュニケーション能力を養うこととなります。

過去16回の大会開催を経て、本活動を経験した述べ16,000名以上の学生の多くがものづくりの第一線で活躍しはじめていますが、今後、この大会が自動車産業で活躍する人材を輩出する活動として社会に認知されることを願ってやみません。

最後になりますが、参加チームの皆さんのご健闘をお祈りするとともに、産学官の後援・協賛・スポンサーシップを頂戴した皆様、開催地の静岡県、掛川市ならびに袋井市の皆様、また大会運営スタッフをご派遣くださいました企業・大学の皆様、そして、大会運営スタッフ一人ひとりの皆様に心より御礼申し上げます。



公益社団法人自動車技術会
会長 坂本秀行

大会概要

Outline of Events

大会趣旨

主役である学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、産学官民で支援して、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する。

大会基本方針

学生に、学会として、ものづくりの機会を提供することにより、

- 1) 学生の自主的なものづくりの総合力を育成する
- 2) 学校教育と連携する実践的な学び場としての教育的価値を高めていくこととする。

大会運営指針

- 1) 安全確保を最優先とした、ものづくり検証の場とする。
- 2) 産学官民連携による運営とする。
- 3) 個人・法人の広範なボランティアによる運営とする。
- 4) 公益事業として運営する。
- 5) 企業の枠を超えた技術者の交流に資するため、学生フォーミュラ参加者のネットワークを構築する。

審査概要 Outline of Events

種目 Category	概要 Outline	配点 Point	
車検 Tech. Inspection	【技術検査】 ルールに定められた車両の安全・設計要件の適合性確認、【チルト】 車両 45 度傾斜で燃料漏れ確認、ドライバー乗車し車両 60 度傾斜で転覆しないことの確認、【騒音 (ICV クラスのみ)】 所定の条件で排気音レベル確認 (110dB以下)、【ブレーキ】 4 輪ブレーキ (4 輪ロック) を確認・検査、【レイン (EV クラスのみ)】 絶縁がされているかを確認。	-	
静的審査 Static Events	コストと製造 Cost	コスト計算は、生産活動を行うにあたり考慮しなければならない重要な要素です。学生は年産 1000 台を仮定したコストテーブルに基づき事前提出書類を提出し、コストの妥当性を審査します。また、リアルケースシナリオでは指定した部品の製造工程などの口頭試問を行い、それらの知識・理解度を評価します。	100
	プレゼンテーション Presentation	学生のプレゼンテーション能力を評価することが狙い。『市場要求に合った車両の製造・販売を含むビジネスプランを会社役員へ納得させる』という仮想のシチュエーションで行います。	75
	デザイン (設計) Design	チームからの事前提出書類と車両をもとに、設計の適切さ、革新性、加工性、整備性、組立性などを口頭試問により審査します。	150
動的審査 Dynamic Events	アクセラレーション Acceleration	0-75m 加速性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	100
	スキッドパッド Skid-pad	8 の字コースによるコーナリング性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	75
	オートクロス Autocross	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる約 800m の複合コースを 1 周走行します。各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し、タイムを競います。	125
	エンデュランス Endurance	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる周回コースを約 20km 走行します。各チーム 2 名のドライバーが中間点で交代して走行し、走行性能、耐久性など車の全体性能と信頼性を競います。	275
	効率 Efficiency	エンデュランス走行時の燃料・電力消費量を評価します。	100
その他 Others	車重計測、騒音・排ガス測定 [ICV (ガソリン) クラスのみ] を実施します。	-	
合計 Total Points		1000	

— 競技目的および車両の設計要件・安全要件 —

Formula SAE® (英文) に準拠

競技目的

- Formula SAE® は各チームが小型フォーミュラスタイルの車両を構想、設計、製作、開発を行い競技に挑戦するものである。
- Formula SAE® はコース外とコース上でのタイムの両方のパフォーマンスを求める工学的技術の教育競技である。各競技は、チームの創造性と工学的技術力を実証し、世界中のチームとの比較の機会をチームに提供する。
- チームは試作車両を設計、製作、テスト、そして実証するベンチャー企業として働いていると仮定する。

一般要件

- 車両は、タイヤがカウルで覆われていない、オープンコックピットのフォーミュラスタイルの 4 輪車両とする。
- ホイールベースは 1,525mm 以上とする。トレッドは、フロントまたはリアの大きい方に対して 75% より小さくしてはならない。ホイールは 8 インチ以上とする。
- 拘束システム (5 点、6 点又は 7 点式シートベルト)、保護用具 (ヘルメット、スーツ、手袋など)、視認性、ヘッドレスト、ドライバーの脱出時間 (5 秒以内)、転覆安定性、防火壁、消火器等について詳細を規定する。

ICV (ガソリン車)

- エンジンは 4 サイクルで排気量が 710cc 以下でなければならない。オリジナル設計の過給器の装着は可とする。リストラクター (吸気流量制限装置) の最大直径は 20mm とする。
- 排気音量は、排気口から水平面 45 度、50cm の位置において測定。所定の回転数で 110dB 以下でなければならない。
- 燃料タンクは、メインフープとタイヤを結ぶ面の内側に装備すること。

EV (電気自動車)

- 最大公称作動電圧は 600V とする。
- バッテリーからの次第電力は、100ms を超えて連続的に 80kW より多く使わないこと。もしくは 500ms の移動平均値が 80kW を超えないこと。
- 回生は許されるが、時速 5km を超える車速で作動すること。

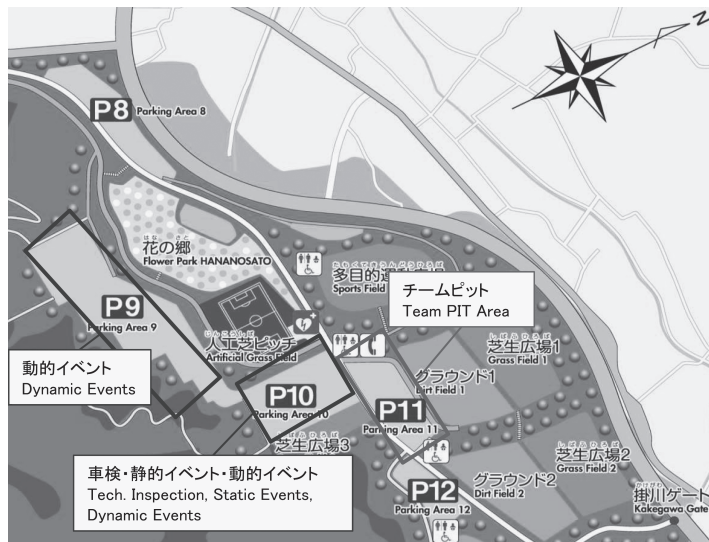
スケジュール

Schedule of Events

第17回 学生フォーミュラ日本大会2019 主な審査スケジュール

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	実施場所
8/27 (火) 1日目				チーム受付										アリーナ P10駐車場
						車検								アリーナ P9駐車場
8/28 (水) 2日目														P10駐車場 アリーナ P9駐車場
														P10駐車場
8/29 (木) 3日目														P10駐車場 P9駐車場/動的エリア P10駐車場
														P9駐車場/動的エリア P10駐車場
8/30 (金) 4日目														P9駐車場/動的エリア P10駐車場
														P9駐車場/動的エリア P10駐車場
8/31 (土) 5日目														P9駐車場/動的エリア P10駐車場 アリーナ
														P9駐車場/動的エリア P10駐車場 アリーナ

- ★天候や審査状況により、スケジュールは変動となる可能性があります。
- ★P11駐車場にチームピットを設定します。
- ★動的審査の様子は学生フォーミュラ大会公式サイトより、YoutubeLiveにてWeb中継します。
- ★プレゼンテーション審査(見学不可)はエコパアリーナ会議室、表彰式(見学可)はエコパアリーナにて実施予定。



【注意事項】

- ▲ 指定の観覧エリア以外からの動的審査およびブラクティスの観覧はできません。(指定バス保持者を除く)
- ▲ ドライバーの運転に影響を与えるため、走行中の車両へのフラッシュ撮影は禁止です。
- ▲ 会場内は、指定場所以外すべて禁煙です。喫煙は指定の喫煙所をお願いします。
- ▲ ゴミは各自お持ち帰りください。
- ▲ 熱中症対策をしてください。なお体調を悪くした方は、早めに救護所までお申し出ください。大会期間中、救護所に医師、看護師が待機しています。
- ▲ 大会会場付近には、スズメバチ、ヘビが生息しています。見かけたら近寄らず、すぐに大会本部に連絡してください。万が一、刺されたり、噛まれたりした場合は、近くにいるスタッフに声を掛けるか、大会本部にお申し出ください。
- ▲ 大会会場内ではスタッフの指示に従ってください。

【免責事項】

- ▲ 大会参加に際し生じた事故、損害については、主催者、後援および協賛スポンサー企業は一切の責任を負わないものとします。
- ▲ 主催者は、事前の予告なくイベントの開催を中止することがあります。

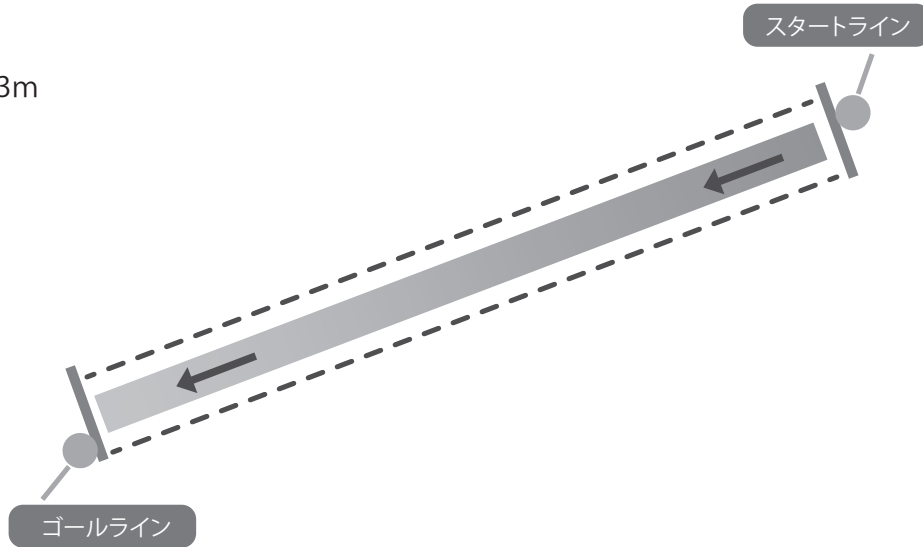
動的イベントコース概要

Dynamic Events

アクセラレーション<Acceleration>

コース概要

- 直線75m
- コース幅 3m

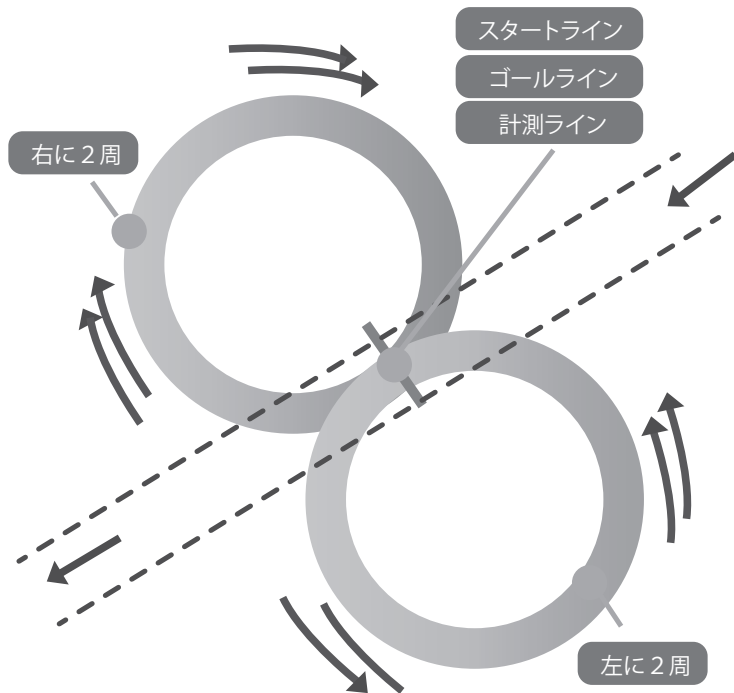


- ★直線0-75mの加速タイムを競う。
- ★上位チームのタイムは4秒台前半。
- ★スタート時のタイヤの空転を抑え、あとは駆動力性能の勝負となる。

スキッドパッド<Skid-pad>

コース概要

- 8の字コース(右2周・左2周)
- コース幅 3m



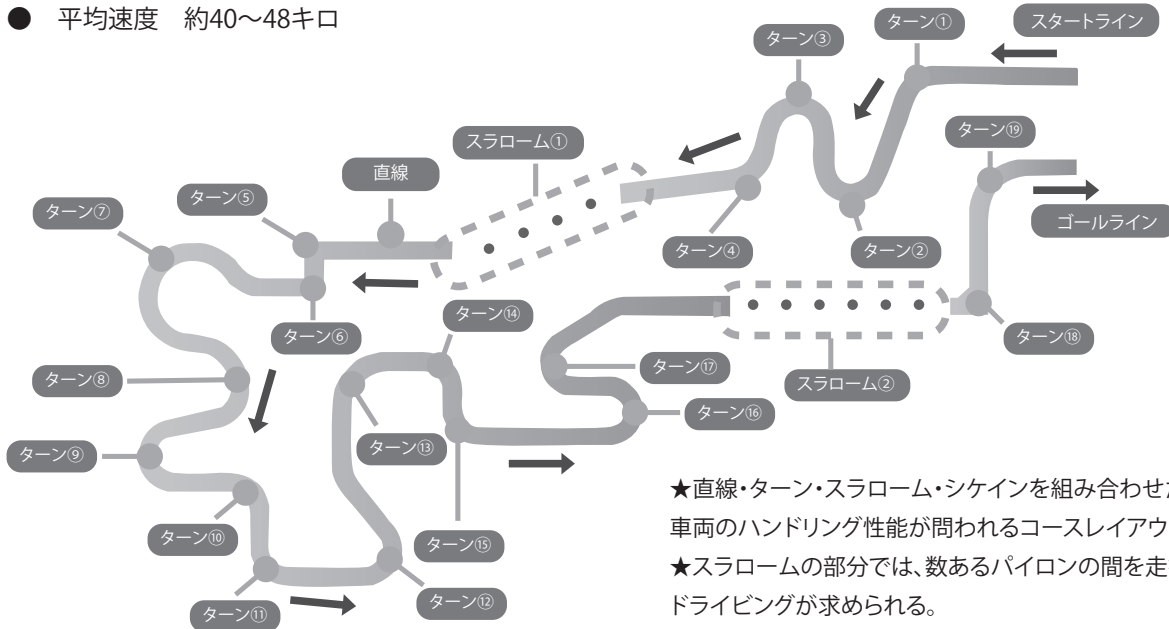
- ★左旋回と右旋回の周回タイムの平均を競う。
- ★上位チームのタイムは5秒を切る。
- ★パイロンペナルティーは、各0.25秒のペナルティとなり、車両の旋回性能が大切だ。

オートクロス<Autocross>

※こちらは昨大会の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

コース概要

- 1周約800mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約40~48キロ



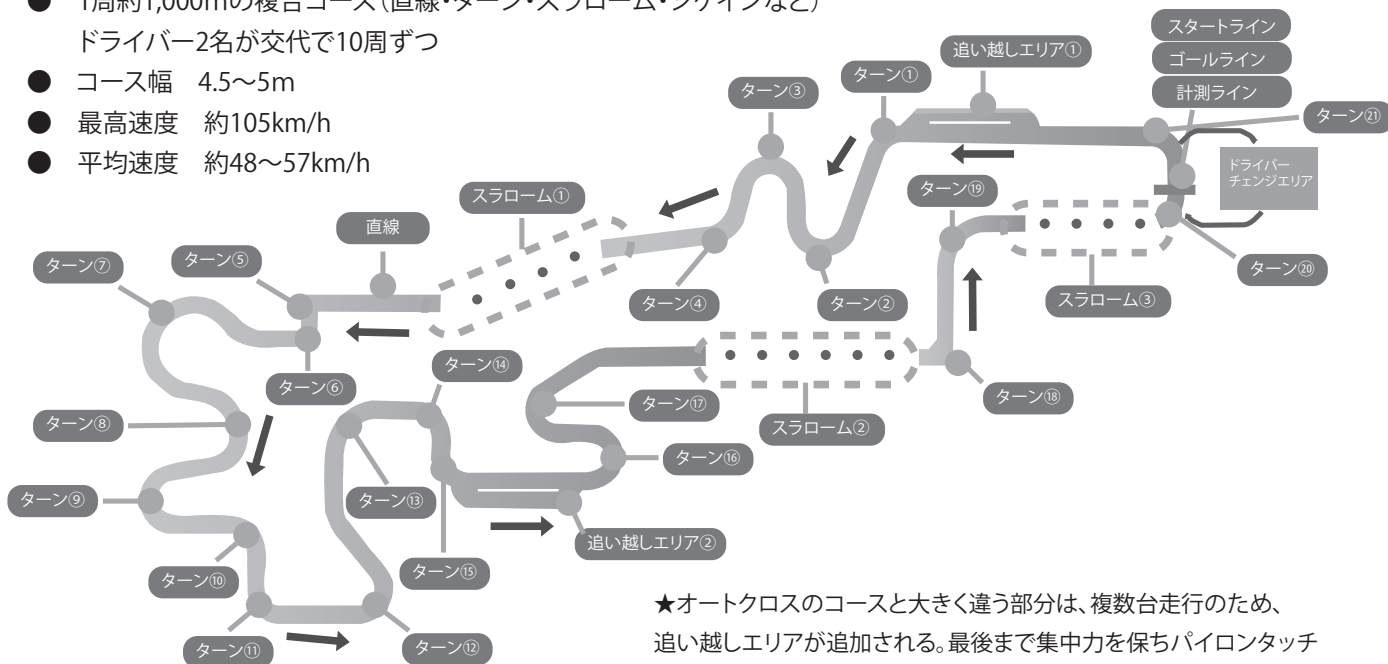
- ★直線・ターン・スラローム・シケインを組み合わせた約800mのコースで、車両のハンドリング性能が問われるコースレイアウトとなる。
- ★スラロームの部分では、数あるパイロン間を走行するため慎重なドライビングが求められる。

エンデュランス<Endurance>

※こちらは昨大会の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

コース概要

- 1周約1,000mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
ドライバー2名が交代で10周ずつ
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約48~57km/h



- ★オートクロスのコースと大きく違う部分は、複数台走行のため、追い越しエリアが追加される。最後まで集中力を保ちパイロンタッチペナルティーをいかに最少に抑えるかが審査の鍵を握る。

★周回コースを約20キロ走行する。2名のドライバーが中間地点で交代となる。交代の際は、必ずICV車はエンジンを止め、EV車ならばトラクティブシステムを停止させて交代を行う。車両の熱上昇による再スタートには注意が必要だ。

Car No.	学校名 school name	国籍 Country	Car No.	学校名 school name	国籍 Country	Car No.	学校名 school name	国籍 Country
ICV (ガソリンエンジン) クラス ICV class								
1	大阪大学 Osaka university	日本 Japan	34	埼玉大学 Saitama University	日本 Japan	75	Harbin Institute of Technology at Weihai	China
2	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	日本 Japan	35	岐阜大学 Gifu University	日本 Japan	76	National Taipei University of Technology	Taiwan
3	Tongji University	China	37	岡山大学 Okayama University	日本 Japan	77	三重大学 Mie University	日本 Japan
4	名城大学 Meijo University	日本 Japan	38	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	日本 Japan	79	首都大学東京 Tokyo Metropolitan University	日本 Japan
5	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	日本 Japan	39	ものづくり大学 Institute of Technologists	日本 Japan	80	Hoseo University	Korea
6	東海大学 Tokai university	日本 Japan	40	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	日本 Japan	EV クラス EV class		
7	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	日本 Japan	41	北九州市立大学 The University of Kitakyushu	日本 Japan	E1	名古屋大学 EV Nagoya UniversityEV	日本 Japan
8	神戸大学 Kobe University	日本 Japan	43	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya	日本 Japan	E2	Tongji UniversityEV	China
9	東京理科大学 Tokyo University of Science	日本 Japan	44	新潟大学 Niigata University	日本 Japan	E3	豊橋技術科学大学 EV Toyohashi University of TechnologyEV	日本 Japan
10	横浜国立大学 Yokohama National University	日本 Japan	45	金沢大学 Kanazawa University	日本 Japan	E4	National Tsing Hua UniversityEV	Taiwan
11	福井大学 University of Fukui	日本 Japan	46	鳥取大学 Tottori University	日本 Japan	E5	一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV National Institute of Technology, Ichinoseki College/Iwate UniversityEV	日本 Japan
12	静岡大学 Shizuoka University	日本 Japan	47	同志社大学 Doshisha University	日本 Japan	E6	トヨタ名古屋自動車大学校 EV Toyota Technical College NagoyaEV	日本 Japan
13	茨城大学 Ibaraki University	日本 Japan	49	立命館大学 Ritsumeikan University	日本 Japan	E7	神奈川大学 EV Kanagawa UniversityEV	日本 Japan
14	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	日本 Japan	50	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Indonesia	E8	東北大学 EV Tohoku UniversityEV	日本 Japan
15	東京都市大学 Tokyo City University	日本 Japan	51	摂南大学 Setsunan University	日本 Japan	E9	静岡理工科大学 EV Shizuoka Institute of Science and TechnologyEV	日本 Japan
16	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	日本 Japan	52	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	日本 Japan	E10	専門学校 トヨタ東京自動車大学校 EV Toyota Technical College TokyoEV	日本 Japan
17	Kasetsart University	Thailand	53	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	日本 Japan	E11	Universitas Islam IndonesiaEV	Indonesia
18	Universitas Negeri Yogyakarta	Indonesia	54	静岡工科自動車大学校 Shizuoka Professional College Of Automobile Technology	日本 Japan	E12	Institut Teknologi Sepuluh NopemberEV	Indonesia
19	山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-onoda City University	日本 Japan	55	Sebelas Maret University	Indonesia	E13	九州工業大学 EV Kyushu Institute of TechnologyEV	日本 Japan
20	早稲田大学 Waseda University	日本 Japan	56	東京大学 The University of Tokyo	日本 Japan	E15	National Pingtung University of Science and TechnologyEV	Taiwan
21	静岡理工科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	日本 Japan	57	九州大学 Kyushu University	日本 Japan	E16	Rajshahi University of Engineering & TechnologyEV	Bangladesh
22	Universitas Gadjah Mada	Indonesia	58	群馬大学 Gunma University	日本 Japan	E17	R V College of EngineeringEV	India
23	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	日本 Japan	59	広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology	日本 Japan	E18	National Cheng Kung UniversityEV	Taiwan
24	愛知工業大学 Aichi Institute of Technology	日本 Japan	61	近畿大学 Kindai university	日本 Japan	E19	National Taiwan UniversityEV	Taiwan
25	ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Gakuen Honda Technical College Kanto	日本 Japan	62	富山大学 University of Toyama	日本 Japan	E20	JiLin UniversityEV	China
26	京都大学 Kyoto University	日本 Japan	63	大阪府立大学 Osaka Prefecture University	日本 Japan	E21	National Taipei University of TechnologyEV	Taiwan
27	Prince of Songkla University	Thailand	65	明星大学 Meisei University	日本 Japan	E22	Harbin Institute of Technology at WeihaiEV	China
28	上智大学 Sophia University	日本 Japan	66	工学院大学 Kogakuin University	日本 Japan	E23	Beijing Institute of Technology EV	China
29	山梨大学 University of Yamanashi	日本 Japan	67	崇城大学 Sojo University	日本 Japan	E24	Universitas Gadjah MadaEV	Indonesia
30	帝京大学 Teikyo University	日本 Japan	68	千葉工業大学 Chiba Institute of Technology	日本 Japan	E25	成蹊大学 EV SEIKEI UniversityEV	日本 Japan
31	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	日本 Japan	69	広島大学 Hiroshima University	日本 Japan	E26	日産京都自動車大学校 EV Nissan Automobile Technical College KyotoEV	日本 Japan
32	千葉大学 Chiba University	日本 Japan	70	Hanyang University	Korea	E27	神奈川工科大学 EV Kanagawa Institute of TechnologyEV	日本 Japan
33	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	日本 Japan	73	National Chiao Tung University	Taiwan			
			74	Kookmin University	Korea			

登録チーム (98 チーム) 内訳

ICV : 72 チーム (日本 : 59 チーム、海外 : 13 チーム) EV : 26 チーム (日本 : 12 チーム、海外 : 14 チーム)

表彰

Awards

分類	表彰名	賞の概要	表彰枠	副賞	スポンサー
総合表彰	経済産業大臣賞 Minister of Economy, Trade and Industry Award	全ての審査に参加し、総合得点が最も高いチーム	1位	—	経済産業省
	国土交通大臣賞 Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award	全ての審査に参加し、EVクラスに於いて総合得点が最も高いチーム	1位	—	国土交通省
	静岡県知事賞 Governor of Shizuoka Prefecture Award	静的審査、耐久走行を除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が高いチーム	1位	賞品	静岡県
	掛川市長賞 Mayor of Kakegawa City Award	動的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	掛川市
	袋井市長賞 Mayor of Fukuroi City Award	静的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	袋井市
	日本自動車工業会会長賞 JAMA Chairman Awards	全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム（書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティが無いこと）	—	総額 70 万円メダル及び賞金（メダルを除く総額を受賞チーム分割）	日本自動車工業会
	日本自動車部品工業会会長賞 JAPIA Chairman Awards	エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム	1位	① 5 万円	日本自動車部品工業会
	総合優秀賞 TOP 6 Awards in Overall	全ての審査に参加し、総合得点が最も高いチーム	1～6位	① 10 万円② 9 万円③ 8 万円 ④ 6 万円⑤ 5 万円⑥ 4 万円	小野測器
	ICV総合優秀賞 Spirit of Excellence Awards for ICV class	全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点が高いチーム	1位	① 5 万円副賞	JSAE
EV総合優秀賞 Spirit of Excellence Award for EV class	全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点が高いチーム	1位	① 5 万円副賞	ピュース / 静岡県	
種目別表彰	コスト賞 Cost Awards	コスト・製造審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	NOK
	デザイン賞 Design Awards	デザイン（設計）の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	オーテックジャパン
	プレゼンテーション賞 Presentation Awards	プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	TOYO TIRE
	加速性能賞 Acceleration Awards	アクセラレーション（加速性能）審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	住友ゴム工業
	スキッドパッド賞 Skid-Pad Awards	スキッドパッド審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	JSAE
	オートクロス賞 Autocross Awards	オートクロス審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	JSAE
	耐久走行賞 Endurance Awards	エンデュランス（耐久走行）審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	エイヴィエルジャパン
	省エネ賞 Efficiency Awards	消費効率審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	日本ミシュランタイヤ
	特別表彰	ルーキー賞 Rookie Awards	日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム	1位 1位	ICVクラス 賞品 EVクラス 賞品
スポーツマンシップ賞 Sportsmanship Awards		スポーツマンシップ・マネージメント・安全等の評価が高いチーム	若干数	賞品	大会実行委員会
CAE特別賞 CAE Awards		CAE 技術を効果的に活用し効率よく優れたデザインを実現したチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	アルテアエンジニアリング
最軽量化賞 Lightweight Engineering Awards		エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量車両のチーム	1位 1位	ICVクラス 5 万円 EVクラス 5 万円	深井製作所
ベスト・サスペンション賞 Best Suspension Awards		ジオメトリ設定の思想、構成部品の重量、製作精度、外観品質、動的審査のタイム及び車両挙動などを総合的に評価し、高性能なサスペンションを実現したチーム	1～3位	① 3 万円② 2 万円③ 1 万円	ゼット・エフ・ジャパン
ジャンプアップ賞 Jump-UP Awards		全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム	1～3位	賞品	袋井商工会議所
ベスト三面図賞 Best Three-View Drawing Award		設計行為の集大成である“図面”を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチーム	1位	5 万円	東京アールアンドデー
ベストエアロ賞 Best Aerodynamics Award		オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとして最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム	1位	5 万円	東京アールアンドデー
ベストラップ賞 Best Lap Awards		エンデュランスのラップタイムが最も速いチーム	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	キグナス石油
ベストコンポジット賞 Best Composite Award		軽量化、強度 / 剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム	1位	5 万円	東京 R&D コンポジット工業
グッドアキュムレータコンテナデザイン賞 Good Accumulator Container Design Awards		EV 車両のアキュムレータコンテナのデザインを評価する	1～3位	① 5 万円② 3 万円③ 2 万円	プライムアースEVエナジー
ベスト電気回路設計賞 Best Electrical System Awards		電気回路設計が最も優れているチーム	1～3位	① 8 万円② 4 万円③ 2 万円	Siemens-Mentor Automotive
エルゴノミクス賞 Ergonomics Awards		レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間工学的に優れたデザインを実現したチーム	1～3位	① 3 万円② 2 万円③ 1 万円	ブリッド

大会スポンサー一覧

Sponsors

■ Sクラス

トヨタ自動車
日産自動車
本田技研工業
マツダ
日立金属

■ Aクラス

SUBARU
三菱自動車工業
パーソルR&D
ボッシュ
タマディック
NOK
イグス
IPG Automotive
VSN
アイシン精機
いすゞ自動車
エッチ・ケー・エス
川崎重工業
コマツ
鷺宮製作所
情報技研
図研
スズキ
ダイハツ工業
デンソー
童夢
日本精工
日立オートモティブシステムズ
ホンダテクノフォート
山田製作所
ヤマハ発動機

■ Bクラス

タチエス
日信工業
プレス工業
豊田自動織機
ヨロズ
UDトラックス
市光工業
協和工業
ニフコ
日野自動車
BBSジャパン
dSPACE Japan

MathWorks Japan
NTN
Siemens-Mentor Automotive
SOLIZE
アイシン・エイ・ダブリュ
アドヴィックス
アネブル
アルテアエンジニアリング
安全自動車
イータス
出光興産
ヴァレオジャパン
ウイツエンマン ジャパン
エイヴィエルジャパン
エイティーエス
エクセディ
エフ・シー・シー
エフティテクノ
エルリングクリンガー・マルサン
エンケイ
オーテックジャパン
オートテックジャパン
オートボックスセブン
オートリブ
オリジン
カーメイト
カルソニックカンセイ
キグナス石油
キャタラー
グラフィットデザイン
ケーヒン
神戸製鋼所
サンデン・ホールディングス
山王テック
ジェイテクト
信濃機販
ジヤトコ
ショーワ
新日本特機
ストーブリ
住友電装
積水化成成品工業
ゼット・エフ・ジャパン
ソリッドワークス・ジャパン
タダノ
ティ・エス テック
ティエムシー
ティラド
デンソーテン

東亜
東京アールアンドデーグループ
東レ・カーボンマジック
トヨタ自動車東日本
トヨタ紡織
日産車体
日清紡ブレーキ
日本トムソン
日本自動車研究所
日本自動車部品工業会
ニッパツ
ネットビジョン
ノルトロックジャパン
フォルシア・ジャパン
フジクラ
プライムアースEVエナジー
ボルグワーナー・モールスシステムズ・ジャパン
マツダE&T
ミクニ
三菱電機
三ツ星ベルト
矢崎総業
ヤナセ
ヤナセオートシステムズ
ユニバンス

■ Cクラス

大成社
トーテックアメニティ
iPX
NSKワーナー
ソフトウェアクレイドル
タイコ エレクトロニクス ジャパン
トヨタ車体
ブリッド
武蔵精密工業
DMG森精機
GSユアサ
HPCシステムズ
JTB 浜松支店
JXTGエネルギー
Means Japan
THKリズム
TOYO TIRE
愛三工業
愛知機械工業
青山製作所
旭メタルズ
アナログ・デバイセス

◎ 「次代の技術者を育成する」という本大会の目的にご賛同賜わり、大会の運営にご支援をいただけるスポンサー様を募集しております。学生の自主的なものづくり力を開発し、将来を担う人材を育成していくための公益活動への、皆様の厚いご支援・ご協力をお願い申し上げます。

● ご支援金額 5万円を1口として1口以上でお願い致します。

※ご支援金は大会運営資金として大切に使用させていただきます。 ※ご支援金額に応じて、スポンサー特典をご用意しております。

お申込みは随時承っております。ご不明な点などございましたら、下記宛にお気軽にお問合せ下さい。

《お申込み・お問合せ先 大会事務局》 公益社団法人自動車技術会 育成交流課 土肥・飯島
Tel: 03-3262-8214 Email: formula@jsae.or.jp

アルプスアルパイン
いすゞ中央研究所
井原精機
イワフジ工業
インターテクノ
エイチワン
大阪フォーミング
岡谷鋼機
興津螺旋
小野測器
河村工機製作所
クボタ
国営アルミ製作所
サトーパーツ
三五
ジェイアイ傷害火災保険
ジャトコエンジニアリング
榛葉鉄工所
住友ゴム工業
センサー・テクノロジーズジャパン
ダイキョーニシカワ
ディープステージ
ティン
デンソーテクノ
東海理化
トータルテクニカルソリューションズ
豊田合成
トヨタ部品静岡共販
日産オートモーティブテクノロジー
ニッパツ機工
日本イーエスアイ
日本プラスト
日本ミシュランタイヤ
バーチャルメカニクス
パイオラックス
日野ヒューテック
深井製作所
藤精機
布施真空

ブリヂストン
堀場製作所
マイクロファスナー
マグナ・インターナショナル・ジャパン
ミネベアミツミ
ミヤキ
モビテック
ヤシカ車体
ヤンマー
ユタカ技研

■ Dクラス

袋井商工会議所
アート金属工業
アイシン高丘
明石機械工業
麻布成形
いすゞエンジニアリング
内山工業
エイ・ダブリュ・エンジニアリング
オイルス工業
大野ゴム工業
オティックス
岐阜車体工業
熊本アイ・ビー産業
サンキン
ジーエーティー
シーシーアイ
スカイ
鈴与グループ
ソーシン
大成プラス
大同メタル工業
太平洋工業
大豊工業
高砂製作所
ダッド
デュージャパン
東日製作所

東洋電装
トノックス
豊田鉄工
トリニティ工業
西川ゴム工業
ニチリン
日本コーティング工業
日本精機
日本特殊陶業
配線コム
浜名湖電装
フォーテクノス
富士ブレーキ工業
プロジェクトミュー
ボンフォーム
マツモトセイコー
三菱自動車エンジニアリング
ミヤコ自動車工業
ヤマハモーターエンジニアリング
ヤマハモーターパワープロダクツ
ユニオン電商
横浜ゴム
リョービ
渡辺工業

■ Eクラス

法多山名物だんご企業組合

■ 協力

大塚製薬
小野測器
静岡県小笠山総合運動公園
中東遠総合医療センター
日本大学理工学部
プロトラッド
ボッシュ
堀場製作所
落雷抑制システムズ

同時開催

Joint Event

静岡県の魅力を紹介！！

入場無料

「まるごと“しずおか”」コーナー！！

日時：8月30日（金）～8月31日（土） 9：00～17：00 ころ

場所：人工芝グラウンド沿い遊歩道付近 主催：静岡県 協力：袋井市/掛川市

①ふじのくに次世代自動車コーナー：

- ・静岡県内の企業が開発するEV車両が集結！！
- ・次世代自動車関連の先端技術や部品を紹介！！

②ふじのくに名産品コーナー：

- ・静岡県産の名産品を紹介！
- ・地元を代表する銘茶の呈茶サービスの実施、観光案内 など



▲次世代自動車の展示など



▲名産品コーナー

皆で来てね
待ってるよ!



お問合せ先：静岡県経済産業部新産業集積課 TEL：054-221-3021 E-mail：trc@pref.shizuoka.lg.jp

掛川市公衆無線LAN【KAKEGAWA_Free_Wi-Fi】をご利用ください！

日時：大会期間中を予定

場所：P10 駐車場ミーティングテント付近

内容：チーム、スタッフ、一般来場者、スポンサーの皆様など、会場にいる全ての方が利用できる無料の公衆Wi-Fiを設置いたします。

詳細はミーティングテント付近のインフォメーションをご確認ください。



今年は待望の“飲食店ブースエリア”を企画予定です！

日時：大会期間中を予定

場所：P11-P10 駐車場沿道付近

内容：会場では本年、有料飲食店ブースを出店企画予定です。飲み物やかき氷、軽食などをラインナップ予定ですので、ぜひご利用ください。

※販売メニューや日時は変更となる可能性がございます。

※参加チームを対象に、BOSCH Cafe キッチンカーも出店される予定ですので、チームの皆様はご利用いただけますと幸いです。



ガイドツアー

日時：8月28日（水）、29日（木）、30日（金） 9：00～17：00
8月31日（土） 9：00～13：00（最終ガイド出発）

場所：ガイドツアー受付

内容：大会参加経験者のOBOGが、大会ルールや各審査の見所を解説しながら、会場内をご案内します。チームビット→車検エリア→プラクティスエリア→ダイナミックエリアを回る約40分程度のコースです。学生たちのクルマづくりに対する熱い想いを是非、感じてください。



企業PRコーナー

日時：8月29日（木）～31日（土）
9：00～17：30

*最終日は14：30頃までの予定

場所：P11-P10 駐車場沿道付近

内容：本年もおおよそ80社のスポンサー各企業が自社PRブースを設置。現在の日本の技術力を支えている各企業が集結いたします。



JSAE 物販コーナー

日時：8月29日（木）～31日（土） 10：00～17：00

場所：大会受付横

内容：学生フォーミュラ大会オリジナルグッズの販売。大会Tシャツ、タオル、ステッカーなど本大会会場では買えないグッズを販売いたします。



交流会

日時：8月31日（土） 14：15～15：45

場所：P10 駐車場

内容：大会に参加した学生、企業のみなさんや大会スタッフのみなさんなどが一堂に会して歓談します。チームのみなさんは、大会までの苦しい準備期間や本大会中の熱い戦いを振り返ってチームや国境を超えて称え合い、また審査や運営を支えたスタッフと交流を楽しみましょう。

★表彰式は同日【エコパアリーナ】にて18：00～19：00を予定。



主催・後援・協賛・委員会組織

Organizer/Support/Committee Members

主催	公益社団法人自動車技術会
後援 (予定)	文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市、掛川商工会議所、袋井商工会議所、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、NHK、TBS、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡、静岡エフエム放送(K-mix)、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、フジサンケイビジネスアイ、日刊自動車新聞社
協賛 (予定)	産業技術総合研究所、交通安全環境研究所、日本自動車研究所、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、公立大学協会、国立高等専門学校機構、日本工学会、日本ゴム工業会、計測自動制御学会、潤滑油協会、日本機械学会、日本工学教育協会、日本工作機械工業会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本自動車タイヤ協会、日本設計工学会、日本陸用内燃機関協会、溶接学会、日本自動車車体工業会、日本自動車整備振興会連合会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車連盟、日本自動車販売協会連合会、土木学会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、電気学会

■ 全日本 学生フォーミュラ会議

議長	葛巻 清吾	トヨタ自動車
副議長	竹村 宏	本田技研工業
	豊増 俊一	日産自動車
	東 雄一	自動車技術会
委員	茨木 幹	ダイハツ工業
	大下 政司	日本自動車部品工業会
	大抜 哲雄	SUBARU
	小澤 保夫	アイシン精機
	北沢 啓一	日野自動車
	隈部 肇	デンソー
	島本 誠	ヤマハ発動機
	中原 浩	川崎重工業
	野木 利治	日立オートモティブシステムズ
	原 徹	三菱自動車工業
	人見 光夫	マツダ
	古谷 博秀	産業技術総合研究所
	本田 康裕	国土館大学
	山岸 重雄	スズキ
	吉田 量年	日本自動車車体工業会

■ 学生フォーミュラ日本大会ルール委員会

委員長	齋藤 拓也	SGL カーボンジャパン
副委員長	辻 夏央	デンソー
委員	白井 和成	デンソー
	鈴木 健	ボランティア
	中澤 広高	本田技術研究所
	西 英之	マツダ
	長谷川 淳一	トヨタ自動車
	本田 康裕	国土館大学
	増田 貴彦	ショーワ
	松浦 孝成	堀場製作所
	水谷 泰哲	トヨタ自動車

■ 第17回 学生フォーミュラ日本大会2019 実行委員会

実行委員長	中澤 広高	本田技術研究所
副委員長	水谷 泰哲	トヨタ自動車
委員	榎本 啓士	金沢大学
	大和田 優	日産自動車
	沖園 信幸	マツダ
	岡 秀樹	スズキ
	狩野 芳郎	神奈川工科大学
	亀井 宏貴	三菱自動車工業
	齋藤 拓也	SGL カーボンジャパン
	清水 良祐	ヤマハ発動機
	白井 和成	デンソー
	鈴木 健	ボランティア
	鈴木 義一	アイシン精機
	田中 浩文	ダイハツ工業
	土屋 高志	福井工業大学
	中山 紘一	日産自動車
	西 英之	マツダ
	長谷川 淳一	トヨタ自動車
	早川 健	SUBARU
	福田 充宏	静岡大学
	本田 康裕	国土館大学
	増田 貴彦	ショーワ
	増田 好洋	ゼスト
	松浦 孝成	堀場製作所
	松岡 誠	本田技研工業
	森 保仁	豊田自動織機
	山本 隆	デンソー

(2019年7月15日現在)

大会スタッフ一覧

Competition Staffs

■ 審査

〈技術審査〉

西英之(マツダ)、三宅博(アネブル)、石田泰志(いすゞ自動車)、上野竹美(いすゞ自動車)、辻田悟(いすゞ自動車)、朝山麻衣子(小野測器)、今村茉莉奈(小野測器)、狩野康行(小野測器)、本田奈々(小野測器)、丸下麻衣(小野測器)、古野翔(カルソニックカンセイ)、田島淳(川崎重工業)、本田篤(川崎重工業)、千葉康智(スズキ)、加藤哲也(SUBARU)、本田啓介(SUBARU)、岡安功太郎(SUBARU テクノ)、磯部雄樹(ダイハツ工業)、江藤圭汰(ダイハツ工業)、山田英一郎(トヨタ自動車)、畔柳幸樹(トヨタ自動車)、古賀諒摩(トヨタ自動車)、清水健一(トヨタ自動車)、関隆之介(トヨタ自動車)、松本佳幸(トヨタ自動車)、水谷泰哲(トヨタ自動車)、森山信一(トヨタ自動車)、秋月信也(日産自動車)、高島航一(日産自動車)、塚本悠太郎(日産自動車)、石川達夫(堀場製作所)、大坪正典(堀場製作所)、高橋宏彰(堀場製作所)、仲野敬一(堀場製作所)、丹羽亮太(堀場製作所)、松浦孝成(堀場製作所)、龍重法(堀場製作所)、山崎慎悟(本田技研工業)、大室良文(本田技術研究所)、砂子直人(本田技術研究所)、手塚浩行(本田技術研究所)、中野善浩(本田技術研究所)、野村友大(本田技術研究所)、石井和幸(マイスタークラブ)、井出温(マイスタークラブ)、菊池文明(マイスタークラブ)、黒澤達夫(マイスタークラブ)、古城裕嗣(マイスタークラブ)、関口昌邦(マイスタークラブ)、高山博之(マイスタークラブ)、村越弘昌(マイスタークラブ)、山田滋(マイスタークラブ)、竹田淳平(マツダ)、佐藤章成(マツダE&T)、菅川真一(マツダE&T)、川口賢人(三菱自動車工業)、牧瀬貫慈(三菱自動車工業)、荒牧耀(ヤマハ発動機)、原園泰信(ヤマハ発動機)、栗田修一(横浜ゴム)、天野勝弘(静岡理科大学)、鹿内佳人(静岡理科大学)、岡部顕史(日本大学)、関谷直樹(日本大学)、清水俊成(ボランティア)

〈静的審査〉

大村雅洋(アイシン精機)、宮澤哲裕(アイシン精機)、濱口直也(愛知機械工業)、手塚悟(アセントロポティックス)、鈴木崇弘(アドヴィックス)、中出千秋(アネブル)、加藤恭平(いすゞ自動車)、渋谷弘之(いすゞ自動車)、芹澤尚宜(いすゞ自動車)、永井達也(いすゞ自動車)、齋藤拓也(SGL カーボンジャパン)、伊代田泰司(NSK ワーナー)、和泉恭平(川崎重工業)、増田貴彦(ショーワ)、清水悠介(スズキ)、田代寛(スズキ)、西浦充紘(スズキ)、井上智之(SUBARU)、大谷幸司(SUBARU)、播磨健司(SUBARU)、小川貴臣(住友ゴム工業)、梶尾威彦(住友ゴム工業)、富田春樹(ダイハツ工業)、永田達哉(ダイハツ工業)、萩原健太(ダイハツ工業)、石田倫章(デンソー)、沢田護(デンソー)、田中崇剛(デンソー)、小野昌朗(東京アールアンドデー)、菊地茂美(東京アールアンドデー)、高石新(東京アールアンドデー)、高橋聖司(東京アールアンドデー)、中村卓哉(童夢)、赤堀俊輔(トヨタ自動車)、井上豪(トヨタ自動車)、塚本将弘(トヨタ自動車)、中村大起(トヨタ自動車)、長谷川淳一(トヨタ自動車)、堀内秀也(豊田自動織機)、森保仁(株)豊田自動織機、本藤博(トヨタ車体)、北弘弘(日産自動車)、倉地星也(日産自動車)、後藤明之(日産自動車)、西本幸司(日産自動車)、森岡宇(日産自動車)、山本浩敬(日産自動車)、芹沢祐(日産車体)、安武祐樹(日本精工)、伊藤秀雅(日本発条)、石川尚紀(日立オートモティブシステムズ)、大倉宏之(日野自動車)、高崎良保(ポッシュ)、波野淳(ポッシュ)、伊藤浩(本田技研工業)、久保克博(本田技研工業)、熊谷吉彦(本田技研工業)、馬場雅之(本田技研工業)、阿久根良斗(本田技術研究所)、薄功大(本田技術研究所)、中原雄二(本田技術研究所)、川崎吉博(マツダ)、迫川茂博(マツダ)、高橋昂史(マツダ)、内田裕太(三菱自動車工業)、加藤貴大(三菱自動車工業)、尾崎由(ヤマハ発動機)、高橋昇平(ヤマハ発動機)、包振竜(ヤマハ発動機)、射延恭二(ボランティア)、影山邦衛(ボランティア)、河西信之(ボランティア)、社本薫(ボランティア)、鈴木健(ボランティア)、住中真(ボランティア)、戸田宗敬(ボランティア)、宮坂宏(ボランティア)、若松和夫(ボランティア)

〈動的審査〉

村田晃宏(アイシン精機)、日出間仁(オートテックジャパン)、松岡尚吾(オートテックジャパン)、中村勇樹(川崎重工業)、松崎勝太(川崎重工業)、堤圭司(ケーヒン)、松本和也(ケーヒン)、吉野大和(ジャコエンジニアリング)、石井はるか(スズキ)、今野貴史(スズキ)、岡秀樹(スズキ)、小峰創人(スズキ)、小宮山大地(スズキ)、新村磨矢(スズキ)、太刀川充(スズキ)、野田智哉(スズキ)、古橋直弥(スズキ)、松本知之(スズキ)、安藤慶(SUBARU)、小齋俊介(SUBARU)、山香陽平(SUBARU)、増田好洋(ゼスト)、伊藤昭雄(ゼスト)、織田慎一(ゼスト)、鶴田康仁(ゼスト)、後藤好秀(ゼスト)、山本和正(ゼスト)、児島祐子(ゼスト)、渡辺稔夫(ゼスト)、小本首浩之(ゼスト)、小澤忠司(ゼスト)、荒川洵(ダイハツ工業)、大西徹(ダイハツ工業)、岡本晃和(ダイハツ工業)、金山皓介(ダイハツ工業)、原島楓(dSPACE Japan)、茨木浩二(デンソー)、寺田拓実(デンソー)、松原雄大(デンソー)、安達一雄(TOYO TIRE)、安藤伸悟(トヨタ自動車)、石田貴洋(トヨタ自動車)、井上旭(トヨタ自動車)、小野寺大貴(トヨタ自動車)、柿本智也(トヨタ自動車)、葛原義人(トヨタ自動車)、鈴木省三(トヨタ自動車)、鳥生誠二(トヨタ自動車)、中島崇(トヨタ自動車)、水野友博(トヨタ自動車)、村田裕光(トヨタ自動車)、山田新九郎(トヨタ自動車)、山元規裕(トヨタ自動車)、渡辺保利(トヨタ自動車)、平川正人(トヨタ自動車東日本)、三浦秀一(トヨタ自動車東日本)、松永大司(トヨタ車体)、杉田尚隆(ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル)、青木駿梧(日産自動車)、太刀川武志(日産自動車)、山口翔希(日産自動車)、植松祐貴(日産車体)、成田玄(日産車体)、大谷地昂(日信工業)、馬場浩太郎(日野自動車)、喜多智之(プレス工業)、古閑遼太郎(本田技研工業)、高橋慶介(本田技研工業)、長谷川遼平(本田技研工業)、浅川晋宏(本田技術研究所)、出浦徹(本田技術研究所)、前田真吾(本田技術研究所)、三橋晃子(本田技術研究所)、安井亮平(本田技術研究所)、高橋幸寛(ホンダテクノフォート)、福里竜章(ホンダテクノフォート)、森田正明(ホンダテクノフォート)、黒田啓介(マツダ)、永原宙(マツダ)、土生幸次(マツダ)、渡邊隼人(マツダ)、東久保翔(マツダE&T)、藤川一期(マツダE&T)、木戸聖也(三菱自動車工業)、前川弘孝(三菱自動車工業)、渡部直輝(三菱自動車工業)、浅野太志(ヤマハ発動機)、奥田裕也(ヤマハ発動機)、西城雄二(ヤマハ発動機)、永井紳一郎(ヤマハ発動機)、中村公昭(ヤマハ発動機)、横井正人(ヤマハ発動機)、渡邊一希(ヤマハ発動機)、田崎巧馬(ヨロズ)、山口友輔(ヨロズ)、和田悠平(神奈川工科大学)、位田晴良(福井工業大学)、石井樹(ボランティア)、種田和宏(ボランティア)、岡東宏直(ボランティア)、佐藤京平(ボランティア)、澤田徹(ボランティア)、松崎通範(ボランティア)

〈EV〉

白井和成(デンソー)、水野雄太(カルソニックカンセイ)、菊池篤徳(コマツ)、小林豊(コマツ)、笹井健史(コマツ)、茅野浩之(コマツ)、堀内敦司(スズキ)、田中幸宏(SUBARU)、戸祭衛(SUBARU)、桜木拓也(ダイキン工業)、柳田靖人(ダイキン工業)、中村錠治(デンソー)、河原智(トヨタ自動車)、鈴木勇太(トヨタ自動車)、井上景介(日産自動車)、鴨野亜王(日産自動車)、小山修朋(日産自動車)、林英範(日産自動車)、山上滋春(日産自動車)、高橋心(日立金属)、端場登志雄(日立金属)、中尾亮平(日立製作所)、岡口彦一(ピュース)、深澤保(ピュース)、中西利明(プライムアースEV エナジー)、朝倉優(本田技術研究所)、梶澤明(本田技術研究所)、中尾和人(本田技術研究所)、金澤恵介(マツダ)、藤岡真也(マツダ)、佐野雄大(三菱自動車工業)、古市哲也(三菱自動車工業)、堀居直幸(三菱自動車工業)、狩野芳郎(神奈川工科大学)、宮村智也(ホンダテクニカルカレッジ関西)、澁江佑介(ボランティア)、水嶋徹(ボランティア)、宮崎恵子(ボランティア)

■ 大会実行組織

★中澤広高(本田技術研究所)、浅井優太(アイシン精機)、荒木敬史(アイシン精機)、石井裕基(アイシン精機)、岩田裕司(アイシン精機)、内野岳人(アイシン精機)、熊野聖人(アイシン精機)、後藤大輝(アイシン精機)、鈴木義一(アイシン精機)、関口実山樹(アイシン精機)、竹本智美(アイシン精機)、立石陽介(アイシン精機)、永井祐希(アイシン精機)、中野佑里香(アイシン精機)、野口泰河(アイシン精機)、前川孝治(アイシン精機)、松本和善(アイシン精機)、岡田沙織(アネブル)、大石洋洋(いすゞ自動車)、川瀬達也(いすゞ自動車)、後藤信一(いすゞ自動車)、諏訪一也(いすゞ自動車)、塚本真太郎(いすゞ自動車)、結城昭宏(いすゞ自動車)、中俣圭介(いすゞ中央研究所)、有元良輔(スズキ)、大橋武彦(スズキ)、金野竜也(スズキ)、杉本尚輝(スズキ)、丁磊(スズキ)、山口大輔(スズキ)、平尾繁美(SUBARU テクノ)、石原正行(ダイハツ工業)、水野貴大(大豊工業)、熊谷直也(デンソー)、佐藤陽(デンソー)、菌和希(デンソー)、森多花梨(デンソー)、柳田悦豪(デンソー)、山本陸(デンソー)、石川佳紀(トヨタ自動車)、恩田祐輔(トヨタ自動車)、北子雄大(トヨタ自動車)、橋本優(トヨタ自動車)、アッシュレー・ペーカー(トヨタテクニカルディベロップメント)、木村菜々子(トヨタテクニカルディベロップメント)、栗原昌子(トヨタテクニカルディベロップメント)、石田修平(日産自動車)、大和田優(日産自動車)、玉正忠嗣(日産自動車)、石津友康(日本発条)、大野慎也(本田技研工業)、久保堅誠(本田技研工業)、小池尚次(本田技研工業)、小峠諒(本田技研工業)、佐藤快(本田技研工業)、須藤由紀子(本田技研工業)、前原洋一(本田技研工業)、松岡誠(本田技研工業)、宮崎光明(本田技研工業)、大浦大地(本田技術研究所)、小林正朋(本田技術研究所)、鈴木寛人(本田技術研究所)、高橋健太(本田技術研究所)、俣野幸太郎(本田技研工業)、武藤達也(マツダ)、今村真理子(三菱自動車工業)、小川裕子(三菱自動車工業)、沖田佑真(三菱自動車工業)、亀井宏貴(三菱自動車工業)、田嶋昭博(三菱自動車工業)、石飛貴大(ヤマハ発動機)、清水良祐(ヤマハ発動機)、鄭少聰(ヤマハ発動機)、長谷川混一(ヤマハ発動機)、Low Chin Hui, Alvin(ヤマハ発動機)、坂本正実(大阪産業大学)、高須彬廣(神奈川工科大学)、榎本啓士(金沢大学)、名波則路(岐阜大学)、児玉知明(国士館大学)、本田康裕(国士館大学)、豊田千沙都(静岡大学)、平城真太郎(静岡大学)、福田充宏(静岡大学)、森修一(トヨタ東京自動車大学校)、会田哲夫(富山大学)、清水宏幸(名古屋工業大学)、下平あすか(名古屋工業大学)、土屋高志(福井工業大学)、今井太一(ボランティア)、海田一哉(ボランティア)、鈴木光裕(ボランティア)、土屋陽太郎(ボランティア)、中辻万平(ボランティア)、中村博(ボランティア)、山岸康一(ボランティア)、吉田和弘(ボランティア)、辻夏央(ボランティア)

★は実行委員長

(2019年7月15日現在)

大会ヒストリー

History of Competition

大会開催の経緯

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会に「Challenge! Formula SAE®」プロジェクトが発足し、1998年4月に5大学1高専の合同チームによる「Challenge! NIPPON」チームが発足し、2000年5月のFormula SAE® ※1へアジアから初参戦し、参加104チーム中28位の成績で新人賞を受賞した。

国内では、日本大会開催に向けたトライアルイベントが、2001年9月23・24日にツインリンクもてぎで開催された。

2003年3月10・11日、ツインリンクもてぎにて関東支部主催の試走会が開催され8チームの参加と見学参加に訪れた大学を含め24大学、総勢約400名による盛大なものとなった。そして、2003年9月、「第1回 全日本 学生フォーミュラ大会」が開催された。



2000年合同チームの車両



2001年トライアルイベント

※1 Formula SAE®

Formula SAE® は1981年から『ものづくりによる実践的な学生教育プログラム』としてアメリカでスタートしました。学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技です。第1回大会では僅か6チームで開催されましたが、現在、Formula SAE シリーズとして世界8カ国で10大会が開催されています。日本も2012年にシリーズへ加入し、2013年より正式にシリーズ大会として位置づけられます。

大会実績	参加チーム数 参加者数	優勝	第2位	第3位	
第1回大会 2003/9/10-12 富士スピードウェイ	17 約1,200名	上智大学	国士舘大学	東京大学	☆産学官、メディアなど各方面から賛辞をいただき、今後の発展を大いに期待される ☆NHK「おはよう日本」で会場から生中継 ☆FISITA (国際自動車技術会連盟) が後援になり、FISITA賞を設定
第2回大会 2004/8/30-9/2 ツインリンクもてぎ	28 (うち海外3) 約1,500名	University of Texas at Arlington	神奈川工科 大学	国士舘大学	☆経済産業大臣賞が設定される。大会プログラムに文部科学省メッセージを掲載 ☆海外チーム3校(米、英、韓)の受け入れに成功し、今後の国際化への基礎固めができた
第3回大会 2005/9/6-9 富士スピードウェイ	41 (うち海外1) 約1,800名	金沢大学	神奈川工科 大学	国士舘大学	☆参加チームの急増(四国、九州から初参加) ☆読売新聞が大会の様子を1面で紹介
第4回大会 2006/9/13-16 エコパ	50 (うち海外4) 約2,000名	上智大学	名古屋大学	University of Michigan-Ann Arbor	☆静岡県知事賞が設定される ☆第1回 FISITA Formula SAE World Cupをエコパで開催 (学生フォーミュラ初の国際大会)
第5回大会 2007/9/12-15 エコパ	59 (うち海外4) 約3,000名	上智大学	国士舘大学	金沢大学	☆上智大学2連覇 ☆北海道、東北から初参加 ☆参加者の急増(地元向け企画、物産展設置) ☆上智大学 副賞(レノボ賞)として北京オリンピック長野聖火リレーを走る
第6回大会 2008/9/10-13 エコパ	77 (うち海外15) 約3,000名	上智大学	東京大学	金沢大学	☆国土交通大臣賞が設定される ☆上智大学3連覇(オーストラリア大会でも3位入賞) ☆海外参加チームの急増(インド、イラン、スリランカ、タイ、中国から初参加) ☆事前提出書類による書類選考を実施(本大会参加66チーム)
第7回大会 2009/9/9-12 エコパ	80 (うち海外12) 約3,205名	東京大学	上智大学	横浜国立大学	☆東京大学初優勝 ☆専門学校チームの増加(6チームのうち初参加3チーム) ☆フォーミュラEV (電気自動車) デモ走行
第8回大会 2010/9/7-11 エコパ	85 (うち海外10) 約3,169名	大阪大学	上智大学	横浜国立大学	☆本大会参加出場枠を75チームまで拡大 ☆シェークダウン証明書提出を義務化 ☆フォーミュラEV (電気自動車) デモ走行、模擬車検実施
第9回大会 2011/9/5-9 エコパ	87 (うち海外14) のべ約9,593	上智大学	横浜国立大学	大阪大学	☆掛川市、袋井市が後援となる ☆2011全日本 学生フォーミュラEVデモ大会併催 (模擬車検、静的模擬審査、動的デモ走行実施)
第10回大会 2012/9/3-7 エコパ	82 (うち海外13) のべ約10,222名	京都工芸 繊維大学	大阪大学	同志社大学	☆京都工芸繊維大学初優勝。上位3チームを関西勢が占める ☆2012全日本 学生フォーミュラEVプレ大会開催 ☆静岡県主催イベント「まるごと しずおか」併催
第11回大会 2013/9/3-7 エコパ	86 (うち海外12) のべ約12,871名	京都大学	大阪大学	同志社大学	☆京都大学初優勝 ☆EVクラス設定(EV本大会開催) ☆土曜日開催(エンデュランスファイナル、公開プレゼン実施)
第12回大会 2014/9/2-6 エコパ	96 (うち海外21) のべ約14,564名	名古屋大学	京都大学	同志社大学	☆名古屋大学初優勝 ☆大会の発展に寄与された元スタッフに運営功績感謝状を贈呈
第13回大会 2015/9/1-5 エコパ	90 (うち海外15) のべ約15,193名	Graz University of Technology	京都工芸 繊維大学	名古屋工業 大学	☆11年ぶりの海外チーム優勝 ☆エコパスタジアムをピットとして活用
第14回大会 2016/9/6-10 エコパ	106 (うち海外31) のべ約18,071名	京都工芸 繊維大学	横浜国立大学	名古屋工業 大学	☆4年ぶり2度目の京都工芸繊維大学優勝。総合スコア2位の横浜国立大学との差は僅か「1ポイント未満」 ☆岩手連合チーム、参加2年目にしてEVクラス初優勝
第15回大会 2017/9/5-9 エコパ	98 (うち海外24) のべ約18,832名	京都工芸 繊維大学	芝浦工業大学	名古屋工業 大学	☆京都工芸繊維大学が連覇優勝。2位芝浦工業大学を総合60ポイント以上引き離す。 ☆EVクラスでは名古屋大学が総合成績でも第4位となりEVチームの過去最高の総合成績となる。
第16回大会 2018/9/4-8 エコパ	98 (うち海外24) のべ約17,605名	大阪大学	京都工芸 繊維大学	名古屋大学 EV	☆台風21号の影響による不安定な天候でスケジュールを大幅変更。 ☆レインコンディションの耐久走行を経て、大阪大学が8年ぶり2度目の総合優勝。 ☆EVクラスでは名古屋大学がクラス優勝を連覇。総合成績も3位と前年を上回り、EVチームとしても過去最高成績となる。

第16回 全日本 学生フォーミュラ大会成績

2018 Student Formula Japan Overall and Awards

■ 総合成績

- 1位 大阪大学
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 名古屋大学 EV
- 4位 Tongji University
- 5位 U.A.S. Graz
- 6位 名城大学
- 7位 芝浦工業大学
- 8位 東海大学
- 9位 名古屋工業大学
- 10位 Tongji University EV
- 11位 神戸大学
- 12位 東京理科大学
- 13位 横浜国立大学
- 14位 福井大学
- 15位 静岡大学
- 16位 茨城大学
- 17位 東京農工大学
- 18位 京都市大学
- 19位 日本工業大学
- 20位 KASETSART UNIVERSITY
- 21位 Universitas Negeri Yogyakarta
- 22位 山陽小野田市立山口東京理科大学
- 23位 早稲田大学
- 24位 静岡理工科大学
- 25位 豊橋技術科学大学 EV
- 26位 Universitas Gadjah Mada
- 27位 日本自動車大学校
- 28位 愛知工業大学
- 29位 ホンダテクニカルカレッジ関東
- 30位 京都大学
- 31位 Prince of Songkla University
- 32位 岡山理科大学
- 33位 National Tsing Hua University EV
- 34位 上智大学
- 35位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV
- 36位 山梨大学
- 37位 帝京大学
- 38位 九州工業大学
- 39位 National Tsing Hua University
- 40位 千葉大学
- 41位 大阪工業大学
- 42位 埼玉大学
- 43位 岐阜大学
- 44位 日本大学 生産工学部
- 45位 岡山大学
- 46位 Kumoh National Institute of Technology / Kongju National University
- 47位 大阪産業大学
- 48位 ものづくり大学
- 49位 トヨタ名古屋自動車大学校 EV
- 50位 金沢工業大学
- 51位 北九州市立大学
- 52位 King Mongkut's University of Technology Thonburi
- 53位 トヨタ名古屋自動車大学校
- 54位 新潟大学
- 55位 金沢大学
- 56位 鳥取大学
- 57位 同志社大学
- 58位 北海道大学
- 59位 立命館大学
- 60位 Institut Teknologi Sepuluh Nopember
- 61位 Central South University EV
- 62位 Guangdong University of Technology EV
- 63位 Yeungnam University
- 64位 摂南大学
- 65位 日本大学理工学部
- 66位 久留米工業大学
- 67位 静岡工科大学自動車大学校
- 68位 Sebelas Maret University
- 69位 東京大学
- 70位 九州大学
- 71位 群馬大学
- 72位 広島工業大学
- 73位 Southern Taiwan University of Science Technology / XIAMEN University of Technology
- 74位 宇都宮大学
- 75位 近畿大学
- 76位 神奈川大学 EV
- 77位 富山大学
- 78位 大阪府立大学
- 79位 Universitas Indonesia
- 80位 明星大学
- 81位 東北大学 EV
- 82位 Universiti Putra Malaysia
- 83位 静岡理工科大学 EV
- 84位 工学院大学
- 85位 東京工科大学自動車大学校世田谷校
- 86位 崇城大学
- 87位 千葉工業大学

- 88位 専門学校トヨタ東京自動車大学校 EV
- 89位 UNIVERSITAS ISLAM INDONESIA EV
- 90位 INSTITUT TEKNOLOGI SEPULUH NOPEMBER EV
- 91位 九州工業大学 EV
- 92位 西日本工業大学
- 92位 広島大学

■ 総合表彰

● 経済産業大臣賞

総合得点が最も高いチーム
大阪大学

● 国土交通大臣賞

安全技術、環境技術、新技術の評価が高いチーム
名古屋大学 EV

● 静岡県知事賞

静的審査、エンデュランスを除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が高いチーム
大阪大学

● 掛川市長賞

動的審査の得点が最も高いチーム
京都工芸繊維大学

● 袋井市長賞

名城大学

● 日本自動車工業会 会長賞

完走奨励賞：全ての静的・動的審査に参加し、完走・完走しているチーム

(Car#順)

※書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティーが無いこと

京都工芸繊維大学、芝浦工業大学、日本自動車大学校、横浜国立大学、Tongji University、名城大学、東京理科大学、静岡大学、大阪大学、福井大学、京都市大学、岡山大学、KASETSART UNIVERSITY、茨城大学、静岡理工科大学、ホンダテクニカルカレッジ関東、東京農工大学、九州工業大学、山梨大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、岐阜大学、大阪産業大学、日本大学 生産工学部、ものづくり大学、Universitas Negeri Yogyakarta、Prince of Songkla University、Universitas Gadjah Mada、愛知工業大学、北九州市立大学、埼玉大学、Sebelas Maret University、U.A.S. Graz、Kumoh National Institute of Technology/Kongju National University、名古屋大学 EV、一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV、トヨタ名古屋自動車大学校 EV、National Tsing Hua University EV
以上 37 校

● 日本自動車部品工業会 会長賞

エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム
名城大学

● ICV 総合優秀賞 ICV 全審査総合得点 1-6 位

- 1位 大阪大学
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 Tongji University
- 4位 U.A.S. Graz
- 5位 名城大学
- 6位 芝浦工業大学

● EV 総合優秀賞 EV 全審査総合得点 1 位

- 1位 名古屋大学 EV

■ 種目別表彰

● 静的審査 / コスト賞

- 1位 日本工業大学
- 2位 大阪大学
- 3位 金沢大学

● 静的審査 / デザイン賞

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 名古屋大学 EV
- 3位 Tongji University EV

● 静的審査 / プレゼンテーション賞

- 1位 神戸大学
- 2位 芝浦工業大学
- 3位 Universitas Gadjah Mada

● 動的審査 / 加速性能賞

- 1位 千葉大学
- 2位 Tongji University
- 3位 名古屋大学 EV

● 動的審査 / スキッドパッド賞

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 上智大学

● 動的審査 / オートクロス賞

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 大阪大学
- 3位 U.A.S. Graz

● 動的審査 / 耐久走行賞

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 Tongji University
- 3位 大阪大学

● 動的審査 / 省エネ賞

- 1位 豊橋技術科学大学 EV
- 2位 National Tsing Hua University EV
- 3位 Tongji University EV

■ 特別表彰

● ルーキー賞

日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム
ICV1位 Kumoh National Institute of Technology / Kongju National University
EV1位 豊橋技術科学大学 EV

● CAE 特別賞

CAE 技術の評価が最も高いチーム

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 Tongji University
- 3位 茨城大学

● 最軽量化賞

エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量車両のチーム

- ICV1位 上智大学
- ICV2位 ホンダテクニカルカレッジ関東
- ICV3位 静岡理工科大学
- EV1位 豊橋技術科学大学 EV

● ベスト・サスペンション賞

サスペンション性能評価が最も高いチーム

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 大阪大学
- 3位 京都工芸繊維大学

● ジャンプアップ賞

全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム

- 1位 愛知工業大学
- 2位 帝京大学
- 3位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV

● ベスト三面図賞

設計行為の集大成である「図面」を通じて審査員に最もより多くの情報を適確に伝えたチーム
神戸大学

● ベストエアロ賞

オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとしても最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム
U.A.S. Graz

● ベストラップ賞

エンデュランスのラップタイムが最も速いチーム

- 1位 千葉大学
- 2位 岡山理科大学
- 3位 立命館大学

● ベストコンポジット賞

軽量化、強度 / 剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム
U.A.S. Graz

● ベスト電気回路設計賞

電気回路設計が最も優れているチーム

- 1位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV
- 2位 Tongji University EV
- 3位 Central South University EV

● エルゴノミクス賞

レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間工学的に優れたデザインを実現したチーム

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 KASETSART UNIVERSITY
- 3位 大阪大学

● グッドアキュムレータコンテナデザイン賞

アキュムレータコンテナのデザインの評価が最も高い EV チーム

- 1位 Tongji University EV
- 2位 豊橋技術科学大学 EV
- 3位 名古屋大学 EV

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
1	大阪大学 Osaka University	lime green & black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2835 mm ② 1260 mm ③ 1575 mm ④ 1270 mm ⑤ 1230 mm	① 213 kg ② 47.5 : 52.5 ③ 30 mm
2	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	Blue & Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3010 mm ② 1200 mm ③ 1700 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 190 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
3	Tongji University	red, black & gray	carbon fiber monocoque+steel space frame	Fiber-carbon	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2931 mm ② 1188 mm ③ 1556 mm ④ 1206 mm ⑤ 1186 mm	① 210 kg ② 46 : 54 ③ 30 mm
4	名城大学 Meijo University	blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3013 mm ② 1150 mm ③ 1700 mm ④ 1150 mm ⑤ 1150 mm	① 195 kg ② 50 : 50 ③ 40 mm
5	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	black & orange	steel spaceframe	Fiber-carbon	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2860 mm ② 1180 mm ③ 1570 mm ④ 1355 mm ⑤ 1020 mm	① 230 kg ② 48 : 52 ③ 30 mm
6	東海大学 Tokai University	Blue	Full CFRP Monoqocue	Carbon-fiber	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 3024 mm ② 1198 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 220 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
7	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	Blue & Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2930 mm ② 1175 mm ③ 1660 mm ④ 1300 mm ⑤ 1250 mm	① 180 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
8	神戸大学 Kobe University	Navy	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-Arm Pull rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 3112 mm ② 1125 mm ③ 1739 mm ④ 1220 mm ⑤ 1200 mm	① 225 kg ② 44 : 56 ③ 30 mm
9	東京理科大学 Tokyo University of Science	Black & Pink	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3100 mm ② 1200 mm ③ 1700 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 215 kg ② 45 : 55 ③ 25 mm
10	横浜国立大学 Yokohama National University	Wine Red & Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2891 mm ② 1490 mm ③ 1840 mm ④ 1270 mm ⑤ 1270 mm	① 216 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
11	福井大学 University of Fukui	Orange	Steel Spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2900 mm ② 1185 mm ③ 1800 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 270 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
12	静岡大学 Shizuoka University	Orange & Black	steel spaceframe	Fiber-carbon	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3116 mm ② 1319 mm ③ 1800 mm ④ 1320 mm ⑤ 1320 mm	① 219.4 kg ② 47.6 : 52.4 ③ 30 mm
13	茨城大学 Ibaraki University	Black & Red & White	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3041 mm ② 1217 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 190 kg ② 45 : 55 ③ 25 mm
14	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	Metalic Green	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3050 mm ② 1050 mm ③ 1800 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 245 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
15	東京都市大学 Tokyo City University	blue and black	steel spaceframe	Aluminium plate	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 3200 mm ② 1100 mm ③ 1700 mm ④ 1290 mm ⑤ 1290 mm	① 230 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
16	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	pink	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Direct damper ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2683 mm ② 1135 mm ③ 1560 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 199 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
17	Kasetsart University	White, Green, Black	steel spaceframe	Carbon Fiber	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3150 mm ② 1190 mm ③ 1700 mm ④ 1300 mm ⑤ 1250 mm	① 230 kg ② 48 : 52 ③ 60 mm
18	Universitas Negeri Yogyakarta	white, navy, black	steel tube frame	Carbon Fiber	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2871 mm ② 1191 mm ③ 1550 mm ④ 1150 mm ⑤ 1100 mm	① 205 kg ② 45 : 55 ③ 59 mm
19	山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-onoda City University	Orange	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2588 mm ② 1056 mm ③ 1625 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 215 kg ② 45 : 55 ③ 37 mm
20	早稲田大学 Waseda University	Crimson and White	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2865 mm ② 1106 mm ③ 1540 mm ④ 1140 mm ⑤ 1090 mm	① 235 kg ② 41 : 59 ③ 30 mm
21	静岡理工科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	LEYTON Blue	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2950 mm ② 1090 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1200 mm	① 200 kg ② 45 : 55 ③ 40 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch OZ Hoosier LC0 10×6×16	① ZX636EE ② 636 cc ③ 74 ps/11000 rpm ④ 5.7 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 4.9 L	Pnematic shifter auto rev matching	Chain & Mechanical clutch	① 2 outboarda ② 2 outboard Wilwood calipers	① Electric Throttle Control ② Variable engine brake
10 inch 6RAZEE MG 16 ×6.0-10 LC0 Hoosier	① SUZUKI LTR-450 K9 L404 bore-up ② 474 cc ③ 43 kW/8800 rpm ④ 53 Nm/7100 rpm	Naturally aspirated 3.35 L	Manual	Chain Drive LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	inerter
13 inch O.Z. Magnesium alloy rim Continental 205/470R13	① Suzuki GSX-R600 ② 599 cc ③ 55 kW/12000 rpm ④ 49 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 4.6 L	pneumatic paddle shifting	Chain drive CUSCO LSD Differential	① Floating disk ② Floating disk ISR calipers	Full set of aerodynamic package Launch Control Monocoque Electronic Throttle 3rd Spring Electrical Clutch
F : 10 inch Kizer wheel R : 10 inch Douglas wheel 7.5/16.0-10 Hoosier	① YAMAHA YZ450F J342E ② 449 cc ③ 34 kW/8200 rpm ④ 41 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 3.5 L	Sequential Manual	Chain Drive LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard Nissin calipers	New Engine, Quick Steering
13 inch OZ Racing Continental C17	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 68 ps/11000 rpm ④ 5.4 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.2 L	Manual	Chain drive Spool	① 2 outboard Wilwood calipers ② 1 inboard Brembo caliper	
10 inch OZ Racing Formula Student Magnesium CL wheel 16.0 ×6.0-10 Hoosier LC0	① SUZUKI SV650 Bore Up ② 693.8 cc ③ 53 kW/8000 rpm ④ 66.4 Nm/6500 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Pneumatic Shifter	Shaft Drive & DREXLER Mortorsports LSD	① 2 outboard AP Caliper ② 2 outboard AP Caliper	Full CFRP Monocoque Paddle Shift System Electric Clutch System
10 inch KEIZER WHEEL Fr 16.0×6.0 - 10 Rr 16.0×7.5 - 10	① YAMAHA YZ450FX ② 500 cc ③ 5.3 kgf/6400 rpm ④ 56 ps/9000 rpm	Naturally aspirated 3.2 L	Manual	Shaft drive & F.C.C Track	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	Hi down force and Light weight vehicle
10 inch Keizer 18.0× 7.5-10 Hoosier Bias	① Kawasaki ZX-6R 636E ② 636 cc ③ 57 kW/12000 rpm ④ 52 Nm/7000 rpm	Natural aspiration 4.0 L	Manual	Chain Drive FCCTAC	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood Calipers	Center-Locking Wheel Front & Rear Wing Center & Side Diffuser CFRP Intake
13 inch Center-Locking OZ Wheel Continental	① PC40EHONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 56 ps/8500 rpm ④ 5.3 kgf/5600 rpm	Naturally aspirated 4.3 L	Manual	Chaine Drive LSD (DREXLER)	① 2 inboard Brembo calipers ② 2 outboard Wilwood calipers	DRS
10 inch BRAID STURACE CABON FIBER 16.0×7.5 Hossier	① PC40EHONDA CBR600 ② 599 cc ③ 82 ps/11000 rpm ④ 4.6 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 3.2 L	Manual	Shaft & bevel gear drive Cam type LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Lightning Driver switch
13 inch OZ Formula Student 20.5×7.0-13 Hoosier R25B	① Suzuki GSX-R600 L3 ② 600 cc ③ 59 kW/12000 rpm ④ 53 Nm/10000 rpm	Naturally aspirated 5.2 L	Manual	Chain Drive ATS LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch ENKEI Wheel Hoosier	① SUZUKI GSX-R600 L5 ② 599 cc ③ 70 ps/12000 rpm ④ 56 Nm/7750 rpm	Naturally aspirated 4.8 L	Electric Shifter	ShaftTorsen	① 2 outboard AP racing calipers ② 2 outboard AP racing calipers	Paddle Shift System & Long Wheelbase
10 inch Keizer Aluminum Wheels Hoosier 16.0 × 10.0-6.0 R25B	① Hasqvarna 701 supermoto ② 692 cc ③ 42 kW/8000 rpm ④ 50 Nm/6000 rpm	Naturally aspirated	Pneumatic paddle shifter	Chain Drive LSD	① 2 outboard ② 1 inboard	Pneumatic shifter, Intake Manifold Pressure Control Valve
10 inch Keizer 18.0× 6.0-10 Hoosier R25B	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 57 ps/9000 rpm ④ 5.3 kgf/7200 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive F.C.C. TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Long wheelbase
10 inch braid tenrace 18.0×7.5-10 Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 80 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	Chain Draive CUSCO LSD	① 2 outboard ② 2 outboard	wing
10 inch BRAID 18×7.5- 10R25B Hoosier	① PC44E HONDA CB500F ② 471 cc ③ 35 kW/8500 rpm ④ 43 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 2.9 L	Manual	Chain Drive & F.C.C. TRAC	Brakes ① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Parallel Twin Engine, Quickshifter
10 inch CL OZ Racing wheel 16 inch Hoosier Bias	① Kawasaki zx6r ② 636 cc ③ 102 bhp/10500 rpm ④ 74 Nm/9000 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	paddle shift pnumatic system	Drexler Formula Student LSD	① 4 port caliper ② 2 port caliper ISR calipers	Unique Suspension & Dual injectors system
10 inch Keizer Aluminum Wheels HOOSIER 6.0/18.0-10, LC0 & R25B	① Husqvarna SM 360 ② 600 cc ③ 18.7 kW/7,000 rpm ④ 48 Nm/5200 rpm	Naturally aspirated 4.49 L	Manual	Drive Chain with Drexler LSD	① Wilwood PS-1 Calipers ② Wilwood PS-1 Calipers	Adjustable Weight Distribution with Push and Pull Rod, Aluminum Rear Bulkhead
10 inch Keizer 16.0× 7.5-10 Hoosier R25B	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 4.8 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 opposing piston Nissin calipers ② 2 opposing piston Nissin calipers	
13 inch OZ Racing 7J 20.5×7.0-13 Hoosier R25B, Bias	① SUZUKI GSX-R600 L4 ② 599 cc ③ 61 ps/8800 rpm ④ 5.7 kgf/7400 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	6-Speed Manual Sequential	Chain Drive F.C.C TRAC LSD, Cam & Pawl	① 2 outboard Brembo Calipers ② 2 outboard Brembo Calipers	Full Stainless-Steel Tubing Brake Line
DOUGLAS 6.0/18.0-10 10 inch Hoosier	① SUZUKI RMX-450Z ② 449 cc ③ 40 ps/8500 rpm ④ 3.6 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 4.0 L	Paddle	Chain Drive LSD (DREXLER)	① 2 outboard ② 2 outboard MV AGUSTA	Moveable Pedal Box Paddle shift

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
22	Universitas Gadjah Mada	Red and White	Steeltube Spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal unparallel A-arm Pull rod ② Double unequal unparallel A-arm Push rod	① 3040 mm ② 1170 mm ③ 1550 mm ④ 1220 mm ⑤ 1200 mm	① 189.1 kg ② 49.3 : 50.7 ③ 40 mm
23	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	Red	Steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 2725 mm ② 1140 mm ③ 1650 mm ④ 1240 mm ⑤ 1230 mm	① 250 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
24	愛知工業大学 Aichi Institute of Technology	Black	steel spaceframe	Fiber-carbon	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2700 mm ② 1260 mm ③ 1562 mm ④ 1230 mm ⑤ 1230 mm	① 210 kg ② 48 : 52 ③ 30 mm
25	ホンダテクニカルカレッジ関東 HONDA Technical College Kantō	White	steel spaceframe	PET	① Variable adjust double wishbone ② Variable adjust double wishbone	① 2800 mm ② 950 mm ③ 1800 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 160 kg ② 47 : 53 ③ 30 mm
26	京都大学 Kyoto University	White, Black & Blue	Carbon monocoque & Steel space frame	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Upper locking arm and lower A-arm	① 3232 mm ② 1080 mm ③ 1920 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 198 kg ② 45 : 55 ③ 10 mm
27	Prince of Songkla University	Blue	Steel Spaceframe	Carbon Fiber	① Double unequal length A-arm w/spring, and damper ② Double unequal length A-arm w/spring, and damper	① 2835 mm ② 1260 mm ③ 1600 mm ④ 1280 mm ⑤ 1280 mm	① 200 kg ② 45 : 55 ③ 40 mm
28	上智大学 Sophia University	Red	Aluminum monocoque and steel frame	Aluminum	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2920 mm ② 1200 mm ③ 1550 mm ④ 1200 mm ⑤ 1180 mm	① 170 kg ② 43 : 57 ③ 30 mm
29	山梨大学 University of Yamanashi	Blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2898 mm ② 1250 mm ③ 1580 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 250 kg ② 40 : 60 ③ 30 mm
30	帝京大学 Teikyo University	blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2900 mm ② 1330 mm ③ 1600 mm ④ 1272 mm ⑤ 1272 mm	① 255 kg ② 40 : 60 ③ 58 mm
31	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	Red	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 3012 mm ② 1172 mm ③ 1720 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 230 Kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
32	千葉大学 Chiba University	black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2945 mm ② 1105 mm ③ 1800 mm ④ 1275 mm ⑤ 1275 mm	① 268 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
33	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	Black & Orange	steel spaceframe	CFRP & GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① mm ② 1260 mm ③ 1550 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 260 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
34	埼玉大学 Saitama University	Green and Silver	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2823 mm ② 1136 mm ③ 1700 mm ④ 1231 mm ⑤ 1231 mm	① 250.6 kg ② 42.3 : 57.7 ③ 42 mm
35	岐阜大学 Gifu University	Black	Steel space Frame	CFRP	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 2630 mm ② 1200 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 230 kg ② 48 : 52 ③ 35 mm
37	岡山大学 Okayama University	Lime Green	Steel spaceframe	Fiber-glass	① Double wishbone, unequal length A-Arm, push rod actuated horizontally oriented spring and damper ② Double wishbone, unequal length A-Arm, push rod actuated horizontally oriented spring and damper	① 2719 mm ② 1480 mm ③ 1650 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 190 kg ② 48 : 55 ③ 30 mm
38	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	red/black/white	steel spaceframe	CFRP & GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 3140 mm ② 1150 mm ③ 1750 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 244 kg ② 48 : 52 ③ 35 mm
39	ものづくり大学 Institute of Technologists	buie	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2821 mm ② 1200 mm ③ 1650 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 240 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
40	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	Red, Black & Yellow	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3043 mm ② 1209 mm ③ 1630 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 240 kg ② 47 : 53 ③ 40 mm
41	北九州市立大学 The University of Kitakyushu	Green and White	steel spaceframe	fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2420 mm ② 1255 mm ③ 1700 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 260 kg ② 43 : 57 ③ 100 mm
43	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya	Red & Blue	steel spaceframe	FRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2830 mm ② 1095 mm ③ 1620 mm ④ 1300 mm ⑤ 1250 mm	① 240 kg ② 50 : 50 ③ 50 mm
44	新潟大学 Niigata University	Deep green	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2762 mm ② 1212 mm ③ 1690 mm ④ 1220 mm ⑤ 1220 mm	① 242 kg ② 50 : 50 ③ 35 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch Keizer 18×6.0-10 LC0 Hoosier	① KTM 450 SX-F ② 449.9 cc ③ 31.23 hp/8500 rpm ④ 32.344/6800 rpm	Natural induction 6.75 L	Manual	Chain and Sprocket, LSD Drexler FSAE v1	① AP Racing CP4227, 4 Pot dia 25.4 mm 2 Pc. Aluminum ② AP Racing CP4227, 2 Pot dia 25.4 mm 2 Pc. Aluminum	Launch Control, Anti Roll Bar, Double Layer Rear Wing
13 inch TWS 20.0×7.5-13 Hoosier	① M403E YAMAHA MT-07 ② 688 cc ③ 71.8 ps/8800 rpm ④ 6.21 kgf/6000 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Electric Shifter	Chain Drive & Drexler Motorsport LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	Long Wheelbase and Safety
13 inch OZ-Racing 21.0-6.5-13 Hoosier	① YAMAHA YZ450FX ② 449 cc ③ 45 kW/8000 rpm ④ 5.4 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 4.9 L	Manual	split pin clutch pack limited slip	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	High quality and neat car
10 inch OZ Racing Magunesium Wheel Hoosier 16.0×7.5-10	① PE07E HONDA CRF450RX ② 450 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 2.7 L	Manual Paddle Shifter	Chain Drive DRXELER LSD	① 2 outwheel AJP 4pod Caliper ② Single inbord sprocket breake AJP 4pod Caliper	UNICAM center pivot geometry low center of gravity driving position resin hose cooling system 3Dprinter steering wheel
10 inch Original Carbon Wheel 16.0/6.0-10 Hoosier LC0	① Kawasaki ER650 ② 649 cc ③ 68 ps/8000 rpm ④ 6.6 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Semi-automatic	Shaft Drive & ATS LSD	① 2 outboard Frando Calipers ② 2 outboard Willwood Calipers	Seamless Transmission, Carbon Wheel and Carbon Arm
OZ Magnesium CL10 inch & 16.0×6.0-10 inch, LC0, Hoosier	① Kawasaki ER-6N ② 649 cc ③ 67.3 hp/8000 rpm ④ 565.7 Nm/6500 rpm	Naturally aspirated 4 L	Electronic Gear Shift	Spoon & Chain Drive	① Disc brake w/Brembo caliper ② Disc brake w/AP caliper	
10 inch OZ Racing Magunesium wheel Hoosier LC0 16×6-10	① YAMAHA YZ450FX ② 500 cc ③ 53 bhp/9200 rpm ④ 46 Nm/4600 rpm	Naturally Aspirated 4.5 L	Manual	Chain Drive DRXELER LSD	① 4 piston ISR Calipers ② 2 piston ISR Calipers	Alminum Monocoque
13 inch OZ Racing 7J 20.5×6.0-13 Hoosier	① P515SUZUKI V-Strom650 ② 645 cc ③ 66 ps/3,800 rpm ④ 6.0 kgf/6,500 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	Shaft Drive & F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Front Foop is made of abended square pipe
13 inch OZ Racing 20.5×6.0-13 Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 63 ps/9300 rpm ④ 5 kgf/8800 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain Drive FCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissincaliper	
keizer 10 inch Hoosier 18.0×7.5-10i R25B	① Kawasaki ZX636E ② 636 cc ③ 81 ps/14000 rpm ④ 60 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual	Chain Drive & FCC TRAC	① 2 outboard brembro calipers ② 2 outboard brembro calipers	Ignition Cut Aero Device
10 inch Briard STURACE CARBON FIBER 16.0×7.5-10 R25B Hoosier	① YAMAHA YZF-R6 4 cylinder ② 599 cc ③ 79 ps/10500 rpm ④ 5.7 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 4.3 L	Manual	Chain Drive DRXELER L.S.D.	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Two Pedals
13 inch OZ Racing 20.5×7.0-13 Hoosier R25B	① SUZUKI GSX-R600 ② 599 cc ③ 70 ps/10500 rpm ④ 5.4 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Pneumatic Shifter	Chain Drive & FCCTRAC	① 2 outboard ② outboard Nissin calipers	Front & Rear Wing Diffuser
13 inch OZ-Racing Aluminum 4H Hoosier R25B_20.0 7.5-13	① PC40E_HONDA_CBR600RR ② 599 cc ③ 69 ps/10000 rpm ④ 5.7 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 inboard Nissin calipers	
13 inch RAYS TE37 20.5×6.0-13 R25B Hoosiar	① GSX-R600 L3 ② 599 cc ③ 44 kW/9000 rpm ④ 54 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual, Electric Shift (Servo Motor)	Shaft Drive & F.C.C.TRAC LSD	① 2 outboard Nissin caliper ② 2 outboard Nissin caliper	
10 inch Kaiser & 18.0×6.0-10 R25B Hoosier	① Kawasaki/KX450 ② 449 cc ③ 39 kW/10500 rpm ④ 42 Nm/7000 rpm	Naturally, aspirated 3.5 L	Manual	Chain drive & F.C.C Track	① 2 outboards Nissin calipers ② 2 outboards AP Racing calipers	
10 inch Keizer 20.5×7.5-10 Hoosier Bias	① Kawasaki ZX636EE ② 636 cc ③ 62.1 ps/9800 rpm ④ 5.1 kgf/7900 rpm	Naturally aspirated 3.8 L	Electric acuated	Chain Drive & FCCTRAC limited slip	① 2 Outboard Disk ② 2 Outboard Disk	
10 inch Hoosier 18.0×6.0-10 ROAD RACING	① CBR600RR ② 599 cc ③ 69 ps/11500 rpm ④ 5.2 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	ShaftTorsen	① 1outboard Nissin calipers ② 1outboard Nissin calipers	
13 inch TWS Mg Wheel, 20.5×7.0-13 R25B Hoosier	① SUZUKI GSX-R600 ② 599 cc ③ 75 ps/9800 rpm ④ 56.3 Nm/9600 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive, F.C.C. TRAC, LSD	① 2 outboard Wilwood calipers ② 2 outboard Wilwood calipers	Full Aero Device
13 inch OZ Formula Student DUNLOP SLICK Radial 190/505R13 13 inch RAYS TE37 DUNLOP DIREZZA 03G 175/60R13	① ER650H Kawasaki Z650 ② 649 cc ③ 54 ps/7800 rpm ④ 5.5 kgf/6900 rpm	Naturally aspirated 4.1 L	Manual	Chain Drive FCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
Wheels 13 inch RAYS TE37 & Tires Good year EAGLE RS 20×7.0J-13	① 13ST YAMAHA YZF-R6 ② 599 cc ③ 74.4 ps/9500 rpm ④ 5.8 kgf/9000 rpm	Naturally 5.0 L	Manual Paddle Shift	Chain Drive FCC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Twin Injector System
13 inch OZ Racing Magnesium 190/505_13 DUNLOP	① SUZUKI GSX-R600 (L5) ② 599 cc ③ 69.4 ps/10163 rpm ④ 5.4 kgf/9402 rpm	Naturally aspirated 6.5 L	Manual	Chain Drive & FCC	① 2 outbord ② 2 outbord Nissin calipers	

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ①Overall Length ②Overall Height ③Wheelbase ④Front Track ⑤Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ①Gross Vehicle Mass ②Fr.Rr Weight Dist. ③Ground Clearance
45	金沢大学 Kanazawa University	Black, Blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2855 mm ② 1130 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 190 kg ② 49 : 51 ③ 30 mm
46	鳥取大学 Tottori University	Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2589 mm ② 1372.70 mm ③ 1600 mm ④ 1220 mm ⑤ 1220 mm	① 227 kg ② 45 : 55 ③ 67.30 mm
47	同志社大学 Doshisha University	black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push Rod ② Double unequal length A-arm Push Rod	① 2685 mm ② 1200 mm ③ 1550 mm ④ 1250 mm ⑤ 1220 mm	① 240 kg ② 46 : 54 ③ 35 mm
49	立命館大学 Ritsumeikan University	Black/ Red/White	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2914 mm ② 1160 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 240 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
50	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Black	Steel Spaceframe	Fiber Glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2732 mm ② 1356 mm ③ 1560 mm ④ 1260 mm ⑤ 1200 mm	① 250 kg ② 48 : 52 ③ 50 mm
51	摂南大学 Setsunan University	White	steel spaceframe	Fiber-glass	Suspension ① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2440 mm ② 1267 mm ③ 1750 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 230 kg ② 40 : 60 ③ 45 mm
52	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	blue & black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3100 mm ② 1190 mm ③ 1600 mm ④ 1214 mm ⑤ 1214 mm	① 245 kg ② 48 : 52 ③ 25 mm
53	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	White Blue Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2840 mm ② 1255 mm ③ 1635 mm ④ 1255 mm ⑤ 1255 mm	① 195 kg ② 45 : 55 ③ 50 mm
54	静岡工科自動車大学校 Shizuoka Professional College Of Automobile Technology	White/ Blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double wishbone suspension A-arm Push rod ② Double wishbone suspension A-arm Push rod	① 2680 mm ② 1184 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 200 kg ② 47 : 53 ③ 20 mm
55	Sebelas Maret University	Blue, black, yellow, orange	STKM 11A	Composite	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2943 mm ② 1309 mm ③ 1549 mm ④ 1196 mm ⑤ 1214 mm	① 250 kg ② 48 : 52 ③ 83 mm
56	東京大学 The University of Tokyo	Blue, Black and White	Steel Spaceframe	GFRP	① Unequal length Double A-arms with Push rod ② 4-link De Dion axle with Push rod	① 2542 mm ② 1204 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1200 mm	① 276 kg ② 43 : 57 ③ 30 mm
57	九州大学 KYUSHU University	Yellow	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double equal length A-arm Pull rod ② Double equal length A-arm Push rod	① 2550 mm ② 1250 mm ③ 1700 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 270 kg ② 45 : 55 ③ 50 mm
58	群馬大学 Gunma University	Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2850 mm ② 1060 mm ③ 1590 mm ④ 1060 mm ⑤ 1060 mm	① 180 kg ② 49 : 51 ③ 30 mm
59	広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology	White	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod with Torsionbar ② Double unequal length A-arm Pull rod with Torsionbar	① 2596 mm ② 1243 mm ③ 1571 mm ④ 1100 mm ⑤ 1062 mm	① 180.5 kg ② 49 : 51 ③ 38 mm
61	近畿大学 Kindai University	Black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2780 mm ② 1235 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 230 kg ② 45 : 55 ③ 40 mm
62	富山大学 University of Toyama						
63	大阪府立大学 Osaka Prefecture University	light blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2800 mm ② 1200 mm ③ 1600 mm ④ 1300 mm ⑤ 1250 mm	① 250 kg ② 40 : 60 ③ 35 mm
65	明星大学 Meisei University	Black/ Blue	Steel Spaceframe	Styrene Board- polyester	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2860 mm ② 1280 mm ③ 1750 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 225 kg ② 50 : 50 ③ 64 mm
66	工学院大学 Kogakuin University	Blue	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3294 mm ② 1180 mm ③ 1750 mm ④ 1280 mm ⑤ 1280 mm	① 220 kg ② 47 : 53 ③ 30 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch keizer6J 2.0 slick 18.0×6.0-10 Hoosier Bias rain 19.5×6.5-10 Hoosier Bias	① SUZUKI LT-R450 ② 450 cc ③ 36 ps/8500 rpm ④ 39 Nm/6000 rpm	Naturally aspirated 4.0 L	Manual	Chain Drive, Mechanical LSD	① 2 outboard ② 2 outboard AP calipers	Aero devices
13 inch RAYS TE37 Hoosier 4316 20.5×7.0-13 (C2500)	① YAMAHA YZ450FX ② 449 cc ③ 40 ps/9000 rpm ④ 3.0 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 7.8 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
20.0×7.5-13 R25B, Hoosier	① ZX636E Kawasaki ZX-6R ② 636 cc ③ 9500 rpm ④ 8000 rpm	Naturally aspirated 4.0 L	Manual	ATS Copen LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch OZ racing 20.5×7.0-13Hoosier	① Kawasaki ZX-6R 09 ② 636 cc ③ 81 ps/9000 rpm ④ 6.5 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 5.9 L	Pneumatic paddle shifting	Chain Drive & LSD ATS	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	
10 inch Keizer Aluminum Wheels 6.0/18.0-10 Hoosier Bias	① Kawasaki Ninja ZX 6R ② 600 cc ③ 109 ps/12000 rpm ④ 6.5 kgf/12000 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Manual	Clutch-Style Limited Slip Differential Vitz	① 2 outboard TDR Calipers ② 2 outboard TDR Calipers	Configurable Display Data Logger (RPM, Speed, Gear Indicator, Oil Pressure, & Coolant Temperature)
Wheels & Tires 13 inch RAYS 180/520-13 Hoosier	① SUZUKI GSX-R600 K6 ② 599 cc ③ 126 ps/13500 rpm ④ 6.9 kg-m/11500 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Shifter Manual Electromagnetic shifter	ShaftTorsen	① 2 Pot Nissin Caliper ② 2 Pot Brembo Caliper	
13 inch OZ Racing 20.5×7.0-13 R25 Hoosier Bias	① YAMAHA YZF-R6 ② 599 cc ③ 80 ps/10000 rpm ④ 5.5 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 6.8 L	Manual Sequential	Chain Drive LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Electric wather pump
10 inch F LT-R450 R RS watanabe Magnesium 19.5×6.5-10 Hoosier Slick	① L404 SUZUKI LT-R450 ② 450 cc ③ 55 ps/7000 rpm ④ 5.2 kgf/6500 rpm	Turbo charged 4 L	Manual	Chain Drive F.C.C LSD	① 2 outboard ② 1 inboard Brembo calipers	Electronic throttle
10 inch A・R・T wheels 16×6.0-10 LC0 Hoosier	① SUZUKI RMX450 ② 450 cc ③ 38 ps/7500 rpm ④ 3.3 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	Chain Drive & FCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Frando F901 calipers	F/R Center Keel Suspension
10 inch Keizer 19.5×6.5 - 10 ROAD RACING Hoosier	① HONDA CB 400 ② 399 cc ③ 53 hp/10500 rpm ④ 38 Nm/7000 rpm	The induction system using throttle body OEM Yamaha Vixion (Size : 28 mm with tips, IAT sensor, and MAP Sensor) and using induction tank or plenum (Volume : 1.2 L). The injector using OEM Yamaha Vixion with four injectors that mounted on the runner. The fuel tank material is Aluminum sheet and all material that welded with TIG	1. Manual mechanism with lever on cockpit and lever on engine. It connected with sling cable transmission 2. Electrical shifter with solenoid and the button on steering wheel	1. Toyota Racing Development (TRD) 2. OEM Toyota Yaris 3. LSD mechanism with clutch (LSD type : 1.5 way).	① Brembo 4 piston thailand edition, Kawahara Racing Disc Brake (size 190 mm, 3.5 mm thickness) . ② TDR 2 piston, Yamaha Mio Disc Brake (size 190 mm, 3 mm minimum thickness)	Two Shifter System
13 inch OZ Racing Hoosier 20.5×7.0-13	① Suzuki P506 ② 638 cc ③ 45 kW ④ 6 kgf/6000 rpm	Turbo-charged 8.5 L	eCVT	Chain Drive FCC TRAC	① 2 outboard Nissin 4 pot calipers ② 2 outboard Nissin 4 pot calipers	Side-engine layout
13 inch watanabe B 6J-13 Direzza 03G-R2 175/60R13 77H	① CRF450X ② 450 cc ③ 44.8 hp/7500 rpm ④ 43 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 4 L	Manual	Chain	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	carburetor
10×8.0 Kizer & 18.0×7.5-10 R25B Hoosier	① HONDA CRF450RX ② 450 cc ③ 40 ps/8000 rpm ④ 40 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	Chain drive Spool	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	
13 inch Aluminium Wheel 180/510-13 & BRIDGESTONE bias	① Kawasaki LX450AE (KLX450R) ② 449 cc ③ 40 ps/9000 rpm ④ 4.0 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 2.5 L	Manual	Chain Drive & No Diff	① 2 Outboard Steel Diskbrake ② 1 Inboard Steel Diskbrake Nissin calipers	Torsionbar suspension
13 inch RAYS 20.5×7.0-1.3 Hoosier R25B	① Kawasaki ER650A ② 649 cc ③ 50 ps/7500 rpm ④ 5.4 kgf/4500 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual Electric shifter	Chain Drive F.C.C TRAC LSD	① 2 outboard ② 2 inboard Nissin calipers	
10 inch OZ Racing AVON 16.0×7.0-10	① ER650 ② 649 cc ③ 69 ps/8500 rpm ④ 6.5 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 4.7 L	Manual	Chain Drive FCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	
13 inch RAYS TE37 160/55-VR13 YOKOHAMA A005	① M403E YAMAHA MT-07 ② 688 cc ③ 73 kW/9000 rpm ④ 6.9 Nm/6500 rpm	Naturally aspirated 4.7 L	Manual	Chain&F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Brenbo calipers	① Mono shock ② 0° caster
10 inch KEIZER WHEELLE 18.0×7.5-10 R25B Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 83 ps/12000 rpm ④ 6.0 kgf/11000 rpm	Naturally aspirated 5.1 L	Manual	Chain Drive & Carbon LSD (ATS)	① 2 outboard frando calipers ② 2 outboard frando calipers	Front & Rear Wing

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ①Overall Length ②Overall Height ③Wheelbase ④Front Track ⑤Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ①Gross Vehicle Mass ②Fr.Rr Weight Dist. ③Ground Clearance
67	崇城大学 Sojo University	Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2973 mm ② 1134 mm ③ 1653 mm ④ 1270 mm ⑤ 1270 mm	① 265 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
68	千葉工業大学 Chiba Institute of Technology	Navy Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② De Dion type axle suspension	① 2475 mm ② 1051 mm ③ 1590 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 250 kg ② 47 : 53 ③ 40 mm
69	広島大学 Hiroshima University	Red & Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2720 mm ② 1130 mm ③ 1620 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 195 kg ② 44.5 : 55.5 ③ 35 mm
70	Hanyang University	Hanyang Blue	steel spaceframe	Fiber-glass. Carbon fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2986 mm ② 1170 mm ③ 1570 mm ④ 1240 mm ⑤ 1220 mm	① 240 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
73	National Chiao Tung University						
74	KOOKMIN UNIVERSITY	Green line in white body	steel tube frame (half_rear)	monocoque (half_front)	① Double wishbone - Pull rod ② Double wishbone - Push rod	① 2996 mm ② 1173 mm ③ 1530 mm ④ 1170 mm ⑤ 1150 mm	① 210 kg ② 48 : 52 ③ 28 mm
75	Harbin Institute of Technology at Weihai	Black & Turquoise blue&White	Semi-monocoque & frame	Carbon fiber	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3035 mm ② 1180 mm ③ 1580 mm ④ 1180 mm ⑤ 1160 mm	① 210 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
76	National Taipei University of Technology	blue/black	composite monocoque	cabon fiber	① Double unequal length A-arms push rod ② Double unequal length A-arms push rod	① 3010 mm ② 1130 mm ③ 1625 mm ④ 1260 mm ⑤ 1240 mm	① 220 kg ② 47 : 53 ③ 25 mm
77	三重大学 Mie University						
79	首都大学東京 Tokyo Metropolitan University	Blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3060 mm ② 1260 mm ③ 1600 mm ④ 1245 mm ⑤ 1245 mm	① 260 kg ② 45 : 55 ③ 60 mm
80	Hoseo University						
Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ①Overall Length ②Overall Height ③Wheelbase ④Front Track ⑤Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ①Gross Vehicle Mass ②Fr.Rr Weight Dist. ③Ground Clearance
E1	名古屋大学 Nagoya University	Pearl White	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3114 mm ② 1266 mm ③ 1650 mm ④ 1325 mm ⑤ 1275 mm	① 290 kg ② 48 : 52 ③ 42 mm
E2	Tongji University	white, black, red	monocoque	carbon fiber	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2920 mm ② 1180 mm ③ 1530 mm ④ 1220 mm ⑤ 1150 mm	① 195 kg ② 48 : 52 ③ 45 mm
E3	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology	Black	CFRP Monocoque	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3090 mm ② 1054 mm ③ 1700 mm ④ 1220 mm ⑤ 1200 mm	① 195 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
E4	National Tsing Hua University	Black	Steel spaceframe	Carbon-fiber	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2765 mm ② 1172 mm ③ 1530 mm ④ 1260 mm ⑤ 1210 mm	① 260 kg ② 40 : 60 ③ 35 mm
E5	一関工業高等専門学校 / 岩手大学 National Institute of Technology, Ichinoseki College/Iwate University	Bermuda Blue Pearl	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2950 mm ② 1110 mm ③ 1760 mm ④ 1300 mm ⑤ 1310 mm	① 430 kg ② 30 : 70 ③ 35 mm
E6	トヨタ名古屋自動車大学校 TOYOTA technical College	White & Blue & Red	Steel spaceframe	FRP	① Front Double unequal length A-arm Pull rod ② Rear Double unequal length A-arm Push rod	① 2550 mm ② 1290 mm ③ 1700 mm ④ 1480 mm ⑤ 1250 mm	① 300 kg ② 45 : 55 ③ 50 mm
E7	神奈川大学 Kanagawa University	blue	steel spaceframe	Fiberglass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2970 mm ② 1150 mm ③ 1650 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 320 kg ② 35 : 65 ③ 50 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch OZ-Racing 20.5 ×7.0-13 Hoosier R25B	① PC40EHONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/8200 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual 6th	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 1outboard Nissin calipers	
13 inch RAYS TE37 20.5×7.0-13 Hoosier B25	① YAMAHA Venture Multi P-RPZ50MP ② 499 cc ③ 49 ps/9000 rpm ④ 5.2 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	CVT	Chain Drive & F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch RS Watanabe 180/520-13 Hoosier	① Yamaha/YZ450FX ② 449 cc ③ 35 ps/9000 rpm ④ 3.5 kgf/7500 rpm	Naturally aspirated 4.0 L	Manual	Chain Drive F.C.C LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch Continental Slick 205/470 OZ Formula Student Magnesium 4H hole	① YAMAHA YZF-R6 ② 600 cc ③ 79 ps/14500 rpm ④ 5.3 kgf/11000 rpm	Naturally aspirated 6 L	CO2 pneumatic sequential shift	Final Drive : 3.9:1, Differential : FCC Honda ATV LSD	① 2 outboard ② 2 outboard KR motors calipers	• 'Z' roll bar • SLS intake manifold • race-spec wiring • 3 flap DRS
① 10 inch custom CFRP wheel ② Hoosier 18×7.5-10.0 R25B	① HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 54 kW/10500 rpm ④ 47.4 Nm/10500 rpm	Naturally aspirated 7 L	pneumatic shifter	final drive ratio-2.75:1 Differential system- Drexler LSD	① AP Racing/4 piston ② AP Racing//2 piston	Semi-monocoque body & full aerodynamics kit
10 inch Keizer & Hoosier 18.0×7.5	① Suzuki_GSX-R600 ② 599 cc ③ 60 kW/9750 rpm ④ 60 Nm/8500 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Pneumatic	Chain & Drexler	① 4 piston ② 2 piston AP calipers	Monocoque,carbon fiber suspension,electronic throttle
13 inchs OZ Racing Magnesium center lock, Continental 205/470R13	① YAMAHA MT-07 CP2 ② 689 cc ③ 67.8 ps/9200 rpm ④ 6.28 kgf/7000 rpm	Naturally Aspirated 4.2 L	Pneumatic Cylinder Shifter	Chain Drive & Drexler Limited Slip Differential, Drive Shaft	① 2 outboard ② 2 inboard Triones calipers	carbon fiber A-arms
13 inch RAYS TE37 20.5/6.0-13 Hoosie	① PC40E HONDA/ CBR600RR ② 599 cc ③ 70 ps/11000 rpm ④ 5.4 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 2.6 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin Calipers	N/A
ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①モータ型式、型番、個数 ②定格出力 (連続) ③最高出力 ④最大トルク ①Motor Type, Model Number, the Number of motors ②Continuous rated power ③Peak power ④Maximum torque	①バッテリーの種類 ②公称電圧/最大電圧 ③公称容量 ④Type ⑤Nominal voltage/Highest voltage ⑥Nominal capacity	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch Oz racing 20.0 ×7.5-13 R25B Hoosier	① 3 Phase synchronous motor, AMKDD-5-14-10-POW, 4units ② 12.3[kW] ③ 32[kW] ④ 21[Nm]	① Li-Po ② 518V/588V ③ 7.25 kWh/14 Ah	N/A	Double reduction gear	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	4WD, Traction Control, Direct Yaw-rate Control
13 inch OZ & Continental C18	① DYNASYN synchronous servo motor, DD5-14-10-POW-18600-B5, 4 ② 12.3[kW] ③ 35.2[kW] ④ 21[Nm]	① Li-ion ② 502 V/574 V ③ 7.0 kWh/14 Ah	N/A	N/A	① 2 outboard ② 2 outboard	four-wheel drive, torque vectoring, AMK motors and inverter,aero package
10×7 inch Keizer Wheel & 18.0×7.5-10 inch Hoosier R25B	① Permanent magnet synchronous (Non brush), Zero SR,1unit ② 30[kW] ③ 52[kW] ④ 152[Nm]	① Li-Po ② 133 V/150 V ③ 6.9 kWh/48 Ah	N/A	ChainDrive & FCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Carbon fiber monocoque/Self assembly battery pack
13 inch OZ Formula Student Magnesium 4H wheel Continental 205/470-R13	① Permanent magnet synchronous (Non brush), EMRAX228, 1unit ② 100[kW] ③ 55[kW] ④ 120[Nm]	① LFP Battery ② 320V/350V ③ 5.6 kWh/1728 Ah	N/A	ChainDrive & Drexler FS LSD 2010	① 2 outboard ② 2outboard Wilwood calipers	
13 inch RAYS TE37 20.5×7.0-13R25A Hoosier Bias	①永久磁石同期モーター (ブラシレス), HONDA H3, 2個 Permanent magnet synchronous (Non brush), HONDA H3, 2units ② 13[kW]×2 ③ 27[kW]×2 ④ 73[Nm]×2	① Li-ion ② 210 V/230 V ③ 8.4 kWh/40 Ah	N/A	Planetary Gear, N/A	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Torque Vectoring by Twin Motor Unit
wheel RS WATANABE 13-6.6J & Tires Good year EAGLE RS 20× 7.0J-13	① Hi-Performance, AC35-26. 25, 1 個 ② 33[kW] ③ 61.5[kW] ④ 119.8[Nm]	① Li-Po ② 155.4 V/174.426 V ③ 6.216 kWh/40 Ah	none	Chain Drive FCC LSD	① 2 outboard Nissn calipers ② 1inboard Nissin calipers	two stage reduction
Hoosier, R25B, 13" -20.5×6.0 Volk TE37, Aluminum	① Permanent magnet synchronous (Non brush), Motoenergy DLC-28, 1unit ② 15[kW] ③ 30[kW] ④ 100[Nm]	① Li-ion ② 90 V/99.6 V ③ 6.0 kWh/65 Ah	N/A	Drive chain & LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Original gear box

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Colors	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ①Overall Length ②Overall Height ③Wheelbase ④Front Track ⑤Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ①Gross Vehicle Mass ②Fr.Rr Weight Dist. ③Ground Clearance
E8	東北大学 Tohoku University	White	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2855 mm ② 1210 mm ③ 1650 mm ④ 1300 mm ⑤ 1280 mm	① 300 kg ② 43 : 57 ③ 40 mm
E9	静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology						
E10	トヨタ東京自動車大学校 Toyota Technical College Tokyo	Black/ Orange	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2755 mm ② 1140 mm ③ 1750 mm ④ 1310 mm ⑤ 1390 mm	① 440 kg ② 48 : 52 ③ 55 mm
E11	Universitas Islam Indonesia	Black with Blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2903 mm ② 1233 mm ③ 1700 mm ④ 1200 mm ⑤ 1170 mm	① 380 kg ② 44 : 55 ③ 80 mm
E12	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Green, Red, and White	Monocoque	Carbon Fibre	① Double unequal length A-arm Pushrod ② Double unequal length A-arm Pushrod	① 2700 mm ② 1100 mm ③ 1600 mm ④ 1350 mm ⑤ 1280 mm	① 220 kg ② 47 : 53 ③ 100 mm
E13	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology						
E15	National Pingtung University of Science and Technology						
E16	Rajshahi University of Engineering & Technology						
E17	R V College of Engineering						
E18	National Cheng Kung University						
E19	National Taiwan University	brown	steal spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2625 mm ② 1345 mm ③ 1600 mm ④ 1350 mm ⑤ 1350 mm	① 290 kg ② 47 : 53 ③ 50 mm
E20	Jilin University	blue, black, silver	composit monocoque	Fiber-Carbon	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2850 mm ② 1180 mm ③ 1575 mm ④ 1250 mm ⑤ 1220 mm	① 240 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
E21	National Taipei University of Technology	black/blue	steal spaceframe	carbon fiber	① Double unequal length A-arms push rod ② Double unequal length A-arms push rod	① 2930 mm ② 1130 mm ③ 1600 mm ④ 1260 mm ⑤ 1230 mm	① 270 kg ② 45 : 55 ③ 40 mm
E22	Harbin Institute of Technology at Weihai EV	Orange/ Silver/ Black	One Piece CFRP Monocoque	CFRP	① Double Unequal Length A-arm/ Pull Rod ② Double Unequal Length A-arm/ Pull Rod	① 2870 mm ② 1190 mm ③ 1530 mm ④ 1180 mm ⑤ 1160 mm	① 230 kg ② 50 : 50 ③ 35 mm
E23	Beijing Institute of Technology	cerulean	Monocoque	Carbon fiber and aluminum honeycomb composite material	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2968 mm ② 1180 mm ③ 1550 mm ④ 1220 mm ⑤ 1200 mm	① 215 kg ② 50 : 50 ③ 40 mm
E24	UNIVERSITAS GADJAH MADA	Black-blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2914 mm ② 1253 mm ③ 1090 mm ④ 1090 mm ⑤ 1280 mm	① 300 kg ② 38 : 62 ③ 70 mm
E25	成蹊大学 Seikei University	aqua & black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2840 mm ② 1276 mm ③ 1720 mm ④ 1350 mm ⑤ 1350 mm	① 400 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
E26	日産京都自動車大学校 Nissan AUTOMOBILE Technical College Kyoto	Black & White & Red	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2961 mm ② 1315 mm ③ 1665 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 400 kg ② 40 : 60 ③ 40 mm
E27	神奈川工科大学 Kanagawa institute of Technology	White Blue Gold	Steel Spaceframe	Fiber-glass	① Double equal length A-arm Pull rod ② Double equal length A-arm Push rod	① 3160 mm ② 1160 mm ③ 1700 mm ④ 1220 mm ⑤ 1200 mm	① 320 kg ② 47 : 53 ③ 40 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①モータ型式、型番、個数 ②定格出力 (連続) ③最高出力 ④最大トルク ① Motor Type, Model Number, the Number of motors ② Continuous rated power ③ Peak power ④ Maximum torque	①バッテリーの種類 ②公称電圧/最大電圧 ③公称容量 ① Type ② Nominal voltage/ Highest voltage ③ Nominal capacity	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch OZ Racing 20.5 × 7.0-13 Hoosier R25B	①永久磁石同期モーター (ブラシレス), 41201-WV5C-0000, 1個 Permanent magnet synchronous (Non brush), 41201-WV5C-0000, 1unit ② 26[kW] ③ 54[kW] ④ 146[Nm]	① Li-ion ② 273.6 V/ 302.4 V ③ 8.2 kWh/30 Ah	N/A	Planetary Gear	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Twin Motor Unit
15 inch WORK MEISTER CR01 YOKOHAMAADVAN A050 195/50R15	①DC ブラシモーター, Advanced D.C.XP-1227-A, 1個 ②21.2 (kW) ③65 (kW) ④176 (Nm)	① Li-ion ② 118.4 V/132.8 V ③ 7.7 kWh/65 Ah	N/A	Shaft&Hypoid gear cam type LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard Nissin calipers	
OZ Formula Studens 13" aluminum, die cast & Continental P205/470R13	① advanced axial flux synchronous (BLAC) electric motors/generators, EMRAX 208, 1 unit ② 30-60[kW] ③ 80[kW] ④ 150[Nm]	① Lithium Polymer ② 273.6 V/319.2 V ③ 10 kwh/31 Ah	None	Chain gear with ratio 1 : 3 & Drexler Automotive LSD	① KTC calipers with Tilton master cylinder ② KTC calipers with Tilton master cylinder	Telemetry System
10 inch KAIZER 19.5" /6.5"-10 HOOSIER Bias	① Permanent magnet synchronous (Non brush), N/A (developed by our Institute), 2unit ② 36[kW] (@ 18 [kW] per unit) ③ 50[kW] (@ 25 [kW] per unit) ④ 220[Nm] (@110[Nm] per unit)	① LiFePO4 ② 290.4 V/316.8 V ③ 6.3 kwh/20 Ah	N/A (single speed)	ShaftTorsen with Gear and Chain	① 2 outboard ② 2 outboard TDR calipers	Variable Intake System
10 inch Hoosier#43101 18.0×6.0 - 10	① Permanent magnet synchronous (Non brush), ordered, 1unit ② 18[kW] ③ 54[kW] ④ 110[Nm]	① Li-ion ② 72 V/84 V ③ 9 kwh/1250 Ah	no	Limit slip differential	① 2 outboard ② 2 outboard	
13 inch OZ.Racing 205/470R13 Continental C19	① EMRAX 208, ABC123 ,2unit ② 80[kW] ③ 40[kW] ④ 140[Nm]	① Li-ion ② 364.8 V/390 V ③ 7.66 kwh	None	Planetary gear reducer	① 2 outboard ② 2 outboard	3rd spring suspension, ABS, TCS
13 inchs OZ Racing Magnesium center lock, Continental 205/470R13	①Permanent magnet synchronous (Non brush), Emrax 208, 1unit ② 17.3[kW] ③ 49[kW] ④ 125[Nm]	① Li-Po ② 3.7 V/4.1 V ③ 81.4 kwh/22 Ah	single reduction	chain drive, limited slip differential, drive shaft	① 2 outboard ② 2 inboard Triones calipers	carbon fiber A-arms
13 inch aluminium Wheel & Continental 205/510R13	① AMK,DD5-14-10-POW-18600-B5,4unit ② 12.3[kW] ③ 36[kW] ④ 21[Nm]	① Lithium-Polymer ② 532V/597.6V ③ 6.71 kwh/12.6 Ah	None	Single Reduction Helical Gears& Electronic Differential	① 4 piston ISR Calipers ② 2 piston ISR Calipers	Monocoque/Aerodynamic Device/Third Spring/Self-assembly Battery
13 inch carbon fiber rim & 205/470 R13 Continental	① Permanent magnet synchronous motor, AMK, 4unit ② 12.3[kW] ③ 20[kW] ④ 21[Nm]	① Li-ion ② 518V/588V ③ 6.9 kwh/1876 Ah	1.5-stage planetary gear reducer	Planetary gear transmission, no differential	① Double wheel floating disc brake ② Double wheel floating disc brake	Four-wheel independent drive, self-made planetary gear reducer, carbon fiber monocoque, aerodynamics, self-made carbon fiber accumulator body
Front : 13 inch OZ Formula Student Aluminium 4H Wheel Rear : 13 inch Ultralite Wheels 130/430-10 DUNLOP Bias	① Brushless DC Motor (BLDC), Emrax 208 (LV), 1unit ② 20-30[kW] ③ 80[kW] ④ 150[Nm]	① Li-ion Nickel Manganese Cobalt ② 3.7 V/88.8 V ③ 0.21 kwh/75 Ah	No shifter	ShaftTorsen	① Tokico 4 Piston Radial Calipers ② Wilwood Dynalite Billet Single Brake Caliper	Good maneuverability and ergonomics
13 inch Rays Volk Racing TE37 20.0×7.5- 13 Hoosier	① 3-Phase Synchronous Motor, EM57, 1unit ② 33[kW] ③ 80[kW] ④ 254[Nm]	① Li-ion ② 355.2 V/403 V ③ 7.1 kwh/20 Ah	None	Chain Drive & LSD (FCC)	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch OZ Racing 20.0-7.5-13 R25B Hoosier	①永久磁石埋込型三相交流同期モーター (ブラシレス), EM57, 1個 ② 33[kW] ③ 80[kW] ④ 254[Nm]	① Li-ion ② 311 V/353 V ③ 6.2 kwh/20 Ah	None	ShaftTorsen F.C.C LSD	① 4 piston ② 2 piston AP Racing calipers	TCS & Frame Structure-ization of The Power Train Unit,Remote Monitoring System of a Vehicle System
13 inch Watanabe Magnesium 20.5× 6.0-13	① BRUSA, HSM1-10.18.04, 1個 ② 29[kW] ③ 50[kW] ④ 98[Nm]	① Li-ion Manganese ② 355[V]/403[V] (←組電池の状態) ③ 8.5 kwh 20 Ah/[kwh/ Ah] (←組電池の状態。)	none	Chain Drive Quaife Helical LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Original Battery GVC

参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

注) [CP] チームキャプテン [FA] ファカルティアアドバイザー [MBR] チームメンバー ※ このデータは6/1現在のものです。

1 大阪大学 Osaka University

●メンバー

[CP] 北野裕太郎, [FA] 石原尚, [FA] 津島将司, [FA] 泉大悟, [MBR] 岡田健太郎, 小林義典, 三橋結衣, 原田勢那, 鈴木修平, 納谷幸伸, 西村のどか, 松井太一, 松岡裕介, 義田遼太郎, 今村和輝, 佐野悠介, 五十川弘行, 岩井祐太, 川畑智裕, 新宮義規, 鈴木統也, 高田裕佳, 松元開, 松本優作, 山下龍之介, 山根駿, 花田滉生, 黒石隼

●車の特徴とチームの抱負

昨年の結果に慢心することなく、この1年間ひたむきにチームマネジメント、マシン開発に取り組んできました。従来の設計思想である「4気筒エンジンのパワーを最大限に生かす」をさらに昇華させ、旋回時の応答性も意識した「Turn 4 Accel」というコンセプトのもと、各コンポーネントを一から見直しOF-19を開発し、ラップタイム2秒短縮を狙います。静的審査でも得点アップさせるため、昨年

より十分な検討、資料の全面刷新を行いました。目標はもちろん総合2連覇です。

●スポンサー

アイシン精機, IDAJ, 菱工機, アズマNEJVICS, アネスト岩田, アルテア, アルテック, アルトナー, ウェルビーシー商会, EXEDY, 江沼子エン, NHKニッパツ, エヌ・エム・ピー販売, NOP, NGK, NTN, エパンスジャパン, エフティテクノ大阪大学, 大阪大学フロンティア研究センター, 大羽精研, OZ, オートバックスセブン, オキゾ, ONOX, 川崎重工業, 関西ペイント, キノクニ, 協和工業, クボタ, グラフティデザイン, クレイドル, クレハエラストマー, ケーセン, 国産アルミ製作所, KOBELCO, コマツサイバネシステム, ザム・ジャパン, 三輪ラジエーター三和製作所, CKD, GS, YUASA, JVCケンウッド, シングナルオート, 神鋼ノース, 鈴英, 鈴木機工, 住友電工ハードメタル, 住友電装, 3M, ソダ工業, SOLIZE, SolidWorks, タイガ製作所, 大成プラスタ, タイハツ工業, タイハン, タイヤハウスUAP, TAIYO, 田中製作所, TSUDAKOMA, THK, DIXEL, 東京アルアンドデー, 桃源閣, 徳永製作所, トップラインプロダクト, 仲林機械工業, 日信工業, ニッカル産工, 日本ワイアグレイド, 日本製鉄, NEWSCompany, ネジクル, BNL, ジャパン, ファロージャパン, 深井製作所, 富士精密, プレコー技研, ヘンケル, ホーロック, マグナインターナショナル, MathWorks, 丸紅情報システムズ, ミクニ, ミスミ, 水田製作所, ミタテ工房, 三井金属アクト, ミツビシ, ミツバ製作所, ミネベアミツミ, ムトーエンジニアリング, ヤマハ, ラーメル, リコー, レアーズ, ロックベイト, ロックテック, 和光ケミカル, コーテック, BBSジャパン (敬称略, 五十音順)



2 京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology

●メンバー

[CP] 西崎健将, [FA] 射場大輔, [MBR] 岡本健太, 乙井雄介, 来代勝胤, 小出起也, 阪田倫平, 松尾直樹, 松本孝輝, 藤田寿, 門林理彩, 土井大樹, 谷拓哉, 中島隆一, 西山諒, 野池峻平, 頭川剛幸, 河野真音, 木下紗希, 木村友亮, 工藤優陽, 五味律夏, 佐治良郁, 大門将也, 高先紅葉, 平野達大, 横山峻介, 岸純平, 大守美潮, 東根直紀, 古川達希, 丸山僚也, 宮嶋秀典, 山中元理, 吉岡直希, 中田侑甫, 島中美緒, 石原悠真, 上田雅大, 野淵頌平, 南亮丞, 吉岡広平, 吉村友汰, 宮木光, 亀井修一郎, 吉松もも, 久保舜哉, 細田光星, 三浪裕作, 山野稜太, 酒井遊, 水谷泰己, 水野竜帆, 石原匠馬, 鶴岡春樹, 田中智敬, 南谷大悟, 保坂祥馬, 北川大雅, 木村駿太, 吉岡晃佑, 中川拓真

●車の特徴とチームの抱負

GDF-14は軽量化をマシンコンセプトに設計を行って参りました。GDF-13にアッ

プデートを加えたGDF-14で二年連続の動的審査1位と静的審査に磨きをかけ、総合優勝奪還を必ず成し遂げます。

●スポンサー

アルティウム, アナログデバイス, AUTO FERAK, AVO/MoTec Japan, キヤスト, サイバネット, ダッソーシステムズ, DMM, make, エクセディ, ジーエーティー, ハイレックス, ヒルトップ, HPC SYSTEMS, イグス, ITW PLEXUS, KW, マーレ, Mentor, molex, NicoleGroup, Nitto, NTN, nutec, オキゾ, OZ, プラスミュー, プロジェクトミュー, ラビッドハーネス, SIEMENS, スズキ, タマディック, テクノギルド, THK, UCHIDA, ウミヒラ, VI-GRADE, VSN, アドヴィック, 石原ラジエーター, キノクニ, 木下商店, 共栄メソナ, 京都帝酸, 京都ホールセンター, 協和工業, 住友電装, 積水化成工業, 大同工業, 大和自動車製作, 丹後機械工業共同組合, タンゴ技研, 東日製作所, 東レカーボンマジック, 日昌製作所, 日信工業, 日双工業, 日本イーエスアイ, 琵琶湖スポーツランド, フェニックスパワー, 深井製作所, 富士精密, 松本金属, 丸紅情報システムズ, ミスミ, ミタテ工房, 岐阜ギヤ工業, オーエスジー, 岩井木型, ウィット, アルテクノ, 弾インターナショナル, ダイハチ, FCデザイン, 橋本コーポレーション, アルテアエンジニアリング



3 Tongji University

●メンバー

[CP] Wang Yupeng, [FA] Dong Guangyu, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

Car Features: pneumatic paddle shifting
Full set of aerodynamic package
Launch Control
Electrical Clutch
Monocoque
Electronic Throttle
Team Aspirations: Top 5

●スポンサー

JTEKT, Continental, Moser Electronic, ZF, Rheinmetall, 瀧之杰, NSK-Warner, AXALTA, AVL, DAISCH, Max-Light KART, ePLAN, 昨库昨新能源, MOTUL, CommNow, CUITMATE studio, LEMO, 同取汽车, TEXAS INSTRUMENTS, infineon, 上燃动力, RBTC H, Jntitanti, LOCTITE, ARAMICORE, IMK, NGK, 泰达钰, AirTAC, igus, Sensata, VECTOR, FLUKE, ROHM, THRUSTMASTER, VI-GRADE, ANSYS, MSC Software, Altair, 上海新安



4 名城大学 Meijo University

●メンバー

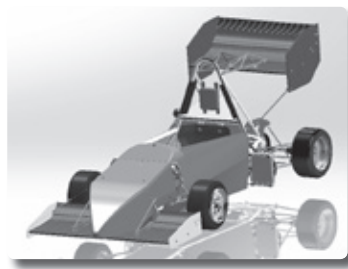
[CP] 鈴木瑛, [FA] 早藤英俊, [MBR] 岩澤良樹, 安積昌駿, 小池智己, 後藤悠月, 柴田充輝, 實藏圭祐, 細田晃裕, 堀越功嗣, 安田孝廣, 打田健, 大森光晟, 亀山倫太郎, 木下涉, 楠田隼大, 小島颯太, 野田恭平, 宮部拓希, 尾崎慎弥, 竹本有孝, 小関悠斗, 濱部翔太, 平松祐介, 美原秀磨, 加藤大智, 小野皓矢, 浅野響希, 青木颯汰, 奥山愁也, 五島春汰, 櫻井夏洋, 佐藤汰地, 高橋陸生, 平岡瑞基, 山本雄大

●車の特徴とチームの抱負

今年度はオートクロス57秒を目標とし、運動性能の向上・ドライバーへの負担軽減を行いました。動的審査での得点力を向上し3年連続トップ10を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 天木鉄工, ダッド, オキゾ, 三五, 和光ケミカル, WADA WELDING, アルトナー, .D. I.D, NTN, レーザテック, アイエムイー, GS YUASA, GAT, サカイオーベックス, 住友電装, 牧野自動車, ソリッドワークスジャパン, コーヨーラド, 日信工業, 石野サーキット, NEXT, レインボースポーツカートコース, 協和工業, 深井製作所, ハイタック, ソフトブレイン工業, ウイングオート, トータルテクニカルソリューションズ, ユニオン電商, CAST, 幸田サーキットypp, 桐山, J-3D, センサー・テクノロジーズジャパン, SHORAI JAPAN, 名古屋メッキ工業, キノクニエンタープライズ, イシカワ, 日本コピカ, MathWorks, ISOWA, エクシード, 日本特殊工業, アーク, エィ・ダブリュ・エンジニアリング, 緑測器, 川本鋼材, シンボリ, ソフトウェアクレイドル, IDAJ, ジャイトコ, ジャイトコエンジニアリング, 東京アルアンドデー, ハイレックスコーポレーション, イナテック, テクノアシスト, アラック, ホワイトハウス, 水谷建材, ゼネラルエンジニアリング, ダイハチ, ダイハチテクノサポート, 愛三工業 (順不同)



5

芝浦工業大学 *Shibaura Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 沼野直樹, [FA] 渡邊大, [FA] 斎藤寛泰, [MBR] 金井公人, 中村将隆, 丸山航平, 山谷和也, 石岡広大, 長田実森, 野辺旭樹, 清水悠佑, 管龍彦, 五十嵐雄大, 白崎稜, 沼野直樹, 青戸響, 山内シェル, 増茂隆成, 諏訪一樹, 鈴木悠史, 長倉朱里, 浜中美友, 松川美鈴, 三井悠生, 山口郁弥, 山下海飛, 木名瀬芳樹, 梅田英明, 大田真彰, 瀧山勇太, 香川優也, 青柳雄大, 加納翼, 白田凌也, 坂田峻芽, 佐藤諒, 和久井柁弥, 吉田智浩, 幕田航平, 海藤駿, 越川雅生, 前田大輝, 後藤充良, 磯島旦, 國見優太, 池田嘉男, 小林優輝, 矢野太陽, 杉山克樹, 山崎達, 福田真弘, 田子碧馬, 上野暢大

●車の特徴とチームの抱負

過去2年間の車両をベースにして、より良い性能向上のために多くのパーツの見直しを行いました。今年の車両では今までやってこなかったことを数多く導入し、歴代の成績を越えていくことを目指しています。

●スポンサー

日進工具,三菱日立ツール,本田技研工業,本田技術研究所,マイスタークラブ,コンチネンタルオートモーティブ,オーゼットジャパン,ティン, BOSCH, UDトラックス, 東京チタニウム, 所沢軽合金, オイレス工業, オートリブ, マーレジャパン, ホンダテクノフォート, 中村製作所, デル, アネブル, 和光ケミカル, プロト, ニコルレーシング, 日信工業, 日鉄日新鋼管, プロスタッフ, アルテクノ, フィアロコーポレーション, ニフコ, 松尾製作所, ハイレックスコーポレーション, ミスミ, ラメール, 井上鉄工所, ワークスベル, 協和工業, エヌ・エム・ビー, プレイオート, 三協ラジエーター, 住友電装, エスアイテック, 関東工業自動車大学校, 芝浦工業大学校友会, 江沼チエン, ザム・ジャパン, 深井製作所, 金子製作所, 小金井精機製作所, ジュニアモーターパーククイック羽生, NOK, デンソー, アルテアエンジニアリング, NTN, 東亜, アイソソフトウェアカレイド, 積水化成成品工業, 東京アルアンドデー, AVO/MoTeC JAPAN, Ins-R, 小原歯車工業, ニュースカンパニー



6

東海大学 *Tokai University*

●メンバー

[CP] 木村優希, [FA] 加藤英晃, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトは「ドライバーの意のままに」を掲げモータースポーツ経験者、未経験関係なく快適にドライビング出来る車両の開発を進めていくと同時にICVクラストップのエンジンを目指して開発してきました。今年度は総合6位獲得に挑戦していきます。

●スポンサー

スズキ, タル・プリカイツ・ジャパン, N.A.C.T., アイシン精機, IDAJ, IPG Automotive, 石原金属加工, NTN, 鈴木製作所, 日立金属, AVO MoTeC Japan, 電研社, エフ・シー・シー, 及川製作所, 金子歯車工業, キョクニエントープライス, サイアン, 高砂産業, タマチ工業, デンソー, プライアルジャパン, 丸紅情報システムズ, ミクニ, 武藤工業, 和光ケミカル, ウエストカーレーシングカーズ, エヌアールエス, エヌエムビー販売, オートボックスセブン, オーゼットジャパン, オートマックス, 鈴木精機, 日信工業, ヴィアイグレイド, 日本発条, ビーエルエム, 平塚

イトウネジ, 福岡ゴム工業所, ミスミグループ, 井上ボーリング・エヌ・イー, 南精機工業, アルテアエンジニアリング, CAST, ケムトレンド, 鈴英, 新日本フェザーコア, ボルケーノ, HPCシステムズ, シーメンスPLMソフトウェア・コンピュータ・インテグレーション, ダイナミックス, ソリッドワークスジャパン, ニフコ, 京王観光, 東海大学校友会, 学校法人東海大学チャレンジセンター, 東科精機, 東芝機械, 日産自動車, 日本ヴェーテック, パーソルR&D, ホンダ技研工業, ゼット・エフ・ジャパン, エスユーエス, イリス, レント



7

名古屋工業大学 *Nagoya Institute of University*

●メンバー

[CP] 八幡美春, [FA] 北村憲彦, [MBR] 石田智大, 小木曾亜美, 坂野高輔, 井上佳彦, 正木敏裕, 生田大賀, 吉田出海, 伊藤一志, 植村佳南, 川瀬菜々子, 松田裕太, 小林和磨, 藤原祐太, 齋藤宇哉, 山口裕史, 吉安悠介, 今津寛太

●車の特徴とチームの抱負

N.I.T.-17は、名工大の伝統である、「K・T・T(軽量・低重心・低慣性)」という車両コンセプトを引き継いだ車両となっています。さらなるアップデートを遂げた車両で、チーム初の総合優勝を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 東海理化, 日立金属, ティン, 積水化成成品, メイデー, ティラド, プライザサクラ工業, エッチ・ケー・エス, 中家製作所, 住友電装, HPCシステムズ, サードウェーブ, クレイドル, ソリッドワークスジャパン, イーエスアイ, マスワークス, IDAJ, 平プロモート, 名古屋工業会, SIX VOICE, ジャパンセンターリース, 津田工業, パイ

オニア風力機, NTN, タマディック, プレニー技研, アルテクノ, コネクトジャパン, 大塚製作所, 岡島パイプ製作所, クロステック, A・M・C, 大河内金属, レーザータック, 青山製作所, F.C.C, 神鋼ノース, 日本精機, ミクニ, 山一ハガネ, サカイオーベックス, アルテック, 岐阜ギヤー工業, スズヒロフォークリフト, シンボリ, アクセル, 東京チタニウム, エクソード, 大豊工業, ツゲブラセス, THK, ミスミ, ISOWA, 杉浦製作所, SMART MANUFACTURING TECHNOLOGY JAPAN, カーベック, レーザックス, ハイレックスコーポレーション, ダイワ化工, カルスパン, シングルハート, 共和電業, プロト, イグス, 信濃機販, 美浜サーキット, 岐阜プラスチック工業, デイトナ, スズキ, 加福製作所, 日信工業, 名東歯車, ホワイトハウス, 浦都製作所, エヌティータクノ, デンソー, 岩倉ラジエーター商会, NOK, NOKクリューバー, 伸光ケーシング, 呉工業, 中日本精工, 三五, ホーベック, 菊地シート工業, 東日製作所, 協和工業, 東明エンジニアリング, TIP Composite, 日新鋼管, 日本発条, ヨネブラ金型, アネブル, 伊藤彰産業, マキタ, 巴会, デンソー御器所会



8

神戸大学 *Kobe University*

●メンバー

[CP] 辻健太, [FA] 白瀬敬一, [FA] 中辻秀憲, [FA] 細川茂雄, [FA] 横小路泰義, [FA] 中辻竜也, [MBR] 篠原諒, 廣中大樹, 三宅俊輔, 西村蔵, 吉田淳之助, 前山公平, 浅岡大輝, 岡見夏花, 木村剛基, 渡辺直輝, 山岸瑞歩, 宮谷洗気, 奥田珠貴, 黒谷一真, 朴一樹, 松田光, 梶山彩花, 御田響太, 和田鼓太郎, 横山昂佑, 村田康貴, 筒井大生, 林桃郷, 足立駿介, 北田順也

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両FORTEK2019は、昨年度車両のコンセプト・パッケージングを継承し、それらの更なる成熟を求めて開発されました。悲願の総合6位入賞を目指し全力を尽くします。

●スポンサー

IDAJ, アネブル, アルテアエンジニアリング, アルバック機工, 出光興産, Ins-R, エア・リキード工業ガス, エクセディ, エヌ・エム・ビー販売, NTN, エフ・シー・シー, オートボックスセブン, 岡山国際サーキット, Calspan, 川崎重工業, キョクニエントープライズ, CAST, 京セラドキュメントソリューションズ, 協和工業, ケーメックス, 神戸製鋼所, 神戸大学機械クラブ, 神戸大学大学院工学研究科工作技術センター, 神戸大学工学振興会, サウスコジャパン, 佐藤精機, 重松製作所, 住友電工ハードメタル, 住友電装, 摂津金属工業所, ソリッドワークス・ジャパン, 大東ラジエーター, ダイハツ工業, ダイヘン, ツルガ, DIC, THK, DMG森精機, デンソー, トヨタレンタリース兵庫, ナイス, ナガセケムテックス, 西尾レントオール, ニチリン, 日信工業, 日本発条, ニフコ, ハイレックスコーポレーション, フジ化成工業, plus μ, フランツ, プレイヴオート, ヘンケルジャパン, The MathWorks, ミスミ, 大和製鋼, ヤマトプロテック, ロックペイント, 和光ケミカル



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

9 東京理科大学 Tokyo University of Science

●メンバー

[CP] 赤川直哉, [FA] 川口靖夫, [MBR] 冨部悠太, 鬼海北都, 小菅規央, 砂岡優輔, 奥須賀康佑, 濱本渉, 高岸瑞生, 川野一輝, 白鳥達己, 立木魁

●車の特徴とチームの抱負

今年度マシンTFR15は「痛快コーナリング」をマシンコンセプトに設計、開発を行って参りました。低速コーナーでの高いダウンフォースと直線でのロードラッグを実現するため、DRSをチームとしては初めて搭載しました。チーム悲願の表彰台獲得に向けて、最後のフィニッシュラインまでプッシュして行きます！

●スポンサー

本田技研工業株式会社, HONDAマイスタークラブ, 冠越精機株式会社, 株式会社ファソテック, 三思技研工業株式会社, 丸紅情報システムズ株式会社, 株式会社デンソー, 株式会社IDAJ, スーパーオートバックス湘南平塚店, ダイアモンドエンジニアリング株式会社不二WPC, エムエフマツモト有限公司, カルソニックカンセイ株式会社, 有限会社ブレイヴオート, 株式会社キノクエンタープライズ, 株式会社和光ケミカル, 有限会社トリアプロダクト, ニコルレーシングジャパン合同会社, 株式会社ケー

ヒンリオン株式会社, 株式会社キャロッセ, 栄鋼管株式会社, 有限会社昭立製作所, エヌエムピー販売株式会社, オーセットジャパン株式会社, 協和工業株式会社, GOODRIDGE, コンチネンタル・オートモーティブ株式会社, 株式会社サイアン, 有限会社コスモ精密, セキダイ工業株式会社, 株式会社ホンダテクノス, 都ステレス工業株式会社, 株式会社フジコーポレーション, ゼットエフジャパン株式会社, 株式会社東京アルアンドデー, 日信工業株式会社, ニッパツ精工株式会社, 日本トムソン株式会社, 日本発条株式会社, 有限会社プラスミュー, 株式会社レアース, 株式会社ワークスベル, 大成プラス株式会社, 市光工業株式会社, Aim Tech Srl, LDL Technology, 株式会社ケーメックス, 住友電装株式会社, 近藤科学株式会社, 株式会社センターテック, ロゾーズジャパン, タイコエレクトロニクスジャパン合同会社, 旭化成建材株式会社, 公達ケミカル株式会社, 株式会社コバックス, フェューチャーテクノロジー株式会社, 株式会社ミナロ, Oxeon AB, ケー・ケー・ワイ・コーポレーション株式会社, 佐藤真空株式会社, 有限会社大竹製作所, ダイセル・エポニク株式会社, 株式会社共和電業, 株式会社江沼チエン製作所, シールドエアージャパン合同会社, 株式会社深井製作所, 株式会社アネブル, サイバネットシステム株式会社, アルテアエンジニアリング株式会社, ソリッドワークスジャパン株式会社, 株式会社日本ワイアグレイド, 株式会社旭スプリング製作所, イグス株式会社, NOK株式会社, 日本精工株式会社, 株式会社神戸製鋼所, 日本軽金属株式会社, 日本プレート精工株式会社, アカオアルミ株式会社, 株式会社東日製作所, 新羽金属工業株式会社, 株式会社友栄精機, 株式会社ニッコ, 有限会社柳澤精機, 株式会社フルトクジャパン, 株式会社ハイレックスコーポレーション, 株式会社富士精密, 吉野工業株式会社, 株式会社ミシミ, 水戸工機株式会社, 三和メッキ工業株式会社, 株式会社ロップテック, ユーロポッド株式会社, 株式会社VSN, 株式会社エスレーク, 株式会社石井機械製作所, サントレーディング株式会社, 近藤技研株式会社, オートリブ株式会社, ジュエモーターパークイック, 羽生, 日本自動車大学校, ニッポンレンタカーサービス株式会社, 柏店, 日産自動車株式会社



10 横浜国立大学 Yokohama National University

●メンバー

[CP] 大澤駿太, [FA] 佐藤恭一, [FA] 榎田明宏, [FA] 松澤卓, [MBR] 椎橋祐介, 田中真由, 伊本咲矢, 田中靖人, 鷲尾大地, 諏訪秀樹, 城之尾和也, 鈴木優志, 持田零偉, 竹永優, 安居聡良, 大内聖仁, 佐藤斗南, 柏川元希, 布施淳也, 岩谷遥, 佐々木新, 福田祥多郎, 青山弘承, 畠中智彬, 中田亜紀

●車の特徴とチームの抱負

今年は総合優勝の他に「目立つ」をチーム目標に加えています。最高で最強のメンバーがそろいました。ここ数年で最も優勝に近いチームになったと自負しております。私達の活躍を皆様、ご注目お願いいたします。

●スポンサー

IDAJ, 旭スプリング, アルテック, エーティーエス, イグス, HKS, エフ・シー・シー, NTN, L, オートデスク, オートリブ, 開明製作所, 神奈川厚板, 金子歯車工業, 協和工業, 呉工業, クロスロード小山, コイワイ, 神戸製鋼所, 小松製作所, サイバネットシステム, サンワトレーディング, ジーエーティー, シンコー, ジュニアモーターパーク羽生, 住友電装, スリーエム, ゼットエフジャパン, 大成プラス, タイヤフィッター横浜都築店, タシロ, テクオイル・ジャポンK.K., デンソー, 東日製作所, 東洋システム, 東洋電業, トヨタ東京自動車大学校, 清川軽鋼, 日信工業, ニッコ, 日本精工, 日本ドライケミカル, 日本発条, 日本ワイアグレイド, 廃車ドットコム, VSN, フォルシア, 深井製作所, 富士精密, ポッシュ, 本田技研工業, 丸山ラジエーター製作所, ミシミ, リフォース, 横浜国立大学機械工場, 横浜国立大学名教就美会



11 福井大学 University of Fukui

●メンバー

[CP] 原島由樹, [FA] 新谷真功, [MBR] 南部雅貴, 山本拓哉, 林克洋, 馬淵貴魁, 新居見紘, 八木渉, 吉田慎太郎, 浅井尚行, 池本武史, 藤田裕人, 大伴晃史, 清水翔平, 中里紘基, 野村将志, 長谷川陸太郎, 古市和輝, 大野駿一, 中田昂希, 植田隆太郎, 山口恭平, 高橋沙里, 岩崎貴史, 高橋健太, 武永頼紀, 田中柗大, 生田陸人, 高見仁陽

●車の特徴とチームの抱負

FRC伝統のパッケージングで大会参加14年目を迎えました。中心メンバーのほとんどが2年生で大変なことも多いですが、3年連続の全種目完走、そして総合10位の目標達成を目指します。

●スポンサー

スズキ, 福井大学, 福井大学先端科学技術育成センター, 吉岡幸, 青山製作所, AKIRAX, akeru, アルテアエンジニアリング, アネブル, イグス, 岩崎機型, ウエストレーシングカーズ, 宇野歯車工業, エイチアンドエフ, エイティーエス, エスユーエス, AVO/MoTeC Japan, エヌエムピー販売, NOK, NTN, 江沼チェーン, タカササーキット, オエティカ, オートショップ福井, オートスタッフ, オートバックステーション, オーセットジャパン, カーネーション, カルソニックカンセイ, キノクエンタープライズ, 協栄産業, 協和工業, 共和電業, 草島ラジエーター製作所, 神戸製作所, 福井県立坂井高等学校, 三五, サンルックス, ジャパンポリマック, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, TAYASU, ツボカワ工業, ティーエムシー, テクノイル・ジャポン, DUKE FUKUI, デンソー, 東洋電装, TOP, 中健商店, ナック・ケイ・エス, 日信工業, 日本発条, 日本ワイアグレイド, ハイレックスコーポレーション, 日野電子, 福井商工会議所, 福井鉄螺, プレニー技研, アジキン, ホクシン, MathWorks, 丸五ゴム工業, ミシミ, レイズ, ワークスベル



12 静岡大学 Shizuoka University

●メンバー

[CP] 宗文清司, [FA] 本澤政明, [FA] 福田充宏, [MBR] 中村匠, 一毛大吾, 中西勇人, 能城冬馬, 上杉和音, 富田皓也, 野村享佑, 石井翼, 小島利文, 佐々木敦哉, 高平颯, 豊田千沙都, 松原龍希, 村上達亮, 樺山鈴菜, 矢原裕大, 石橋亮, 稲木淳, 川端大輝, 筑地俊太, 野田岳靖, 宮本航人, 横井壮太郎, 吉田和人, 若月祐樹, 大石泰己, 渡部慧, 朝倉龍斗, 酒向なつき, 佐藤宏祐, 鈴木恭心, 鈴木俊平, 鈴木愛未, 鈴木莉乃, 角果音, 田中伸玖, 谷浩志, 田村優樹, 土川勢矢, 内藤輝, 野々村陸大, 林博経, 堀部俊樹, 松岡晃汰, 馬淵聖也, 森山雄介, 山納大弥, Chouhary Anupam

●車の特徴とチームの抱負

ホイール径を13インチから10インチに変更しました。昨年度から飛躍的に軽くなったSS-619「浜風」で念願の総合成績1桁を目指します。

●スポンサー

新日本特機, 機業鉄工所, IDAJ, 和光ケミカル, スズキワールド浜松, スズキ, NRS, エフ・シー・シー, デンソー, Bolton Works, 不二ライトメタル, エンケイ, NTN, 金子歯車工業, 浜松第一塗装, NIICO, CYBERNET, 深井製作所, 東邦テックス, ジー・ゾーン, フジコーポレーション, KYOWA, 東洋測器, ニコルレーシング, エヌエムピー販売, マルイチ, TOHNICHI, 中山精機, 日信工業, ティーエムシー, 新日本ホイール工業, AVO/MoTeC Japan, CYAN, タイコ, エレクトロニクス, 住友電装, R's Racing Service, 旭化成建材, 昭和飛行機, フジタ, SolidWorks, DAY TONA, MiSUMI, ISK 浜名湖店, 静岡大学工学部ものづくりセンター, 静岡大学, takayanagi, 浜松鉄工機械工業協同組合, 小林工業, 桜井製作所, 国本工業, ハマニ化成, エフ・イー・シーチェーン, ソミック石川, 神津製作所, エステック, ユニバンス, ウィットラボ, 日本ロック, 豊田合成



13 茨城大学 Ibaraki University

●メンバー

[CP] 岡勇希, [FA] 西野創一郎, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

今年度マシンコンセプトは「信頼性と速さの両立」としました。昨年車両では様々な部品の信頼性が低く、トラブルが頻発し大会までの走行距離を稼げませんでした。今年度車両では信頼性に重きを置きつつ、昨年レベルアップした速さを更に磨き上げ、総合6位入賞を目指します。

●スポンサー

IDAJ, 愛和精密製作所, 旭化成建材, アネブル, アルテアエンジニアリング, アルトナー, イグス, 石川インキ, (茨城県自動車振興会), 茨城トヨタ自動車, 茨城トヨペット, 茨城プレイング工業, 今橋製作所, 岩手製作所, HPI, HPC, エイチワン, NE-テック, エヌ・エム・ビー販売, NOK, NTN, FCデザイン, 江沼チエン製作所, AVO/MoTeC JAPAN, オエティカジャパン, オーエスジー, 大川精機工業, 大竹製作所, オートボックスセブン, オートランドテクノ, オートリブ, 岡島パイプ製作所, Oxelon AB, 尾又運送, KW AUTOMOTIVE JAPAN, 加倉井総業, 川金産業, 菊地歯車, キノクニセンター

ブライズ, CAST, 協和工業, 光南工業, コーケン, ココファクトリー, コバックス, 小峰製作所, サイバネットシステム, サウスコ・ジャパン, 幸手スプリングサムシングコーポレーション, 三桜工業, 三和精機, シートレド, JWAY, JSP, 重松製作所, シーメンスPLMソフトウェア・コンピュータインテグレーション・ダイナミクス, ショウエイ, 常陽不動産, 常陽モータース, 新栄製作所, 新電元工業, スズキ, 鈴木工業所, 住友電装, 関根鉄工所, センサー・テクノロジー・ジャパン, スクーテックジャパン, 清和製作所, 相模, 染めQテクノロジー, ソリッドワークス・ジャパン, ダイジ, ツインリンクもてぎ, ツジ電子, 鶴町製作所, THK, ティエス, 東京アールアンドデー, 東京測器研究所, 東日製作所, 東プレ, 東北ラヂエーター, 東洋電装, タタル・プリカンツ・ジャパン, 富田製作所, トヨウラ, トヨタレンタリース常陸多賀店, 日新鋼管, 日信工業, 日鉄鋼管, ニフコ, 日本圧着端子製造, 日本自動車研究所, 日本製紙クレシア, 日本サムスン, 日本ドライケミカル, 日本ユビカ, 常陸木材, 日立金属, 日立金属工具鋼, 常陸木材, 廣木精機製作所, ファイベックス, フォモジャパン, VSN, 深井製作所, フクダ, 富士精密, プライルジャパン, プラスミュー, プロスタッフ, ホーベック, 本田技研工業, マスワークス, MASSIVE, 丸八, ミスミグループ本社, 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ, 三菱ふそうトラック・バス, 水戸工機, 南高野医院, 村田工業所, やまや木型製作所, UACJ, ユーゴー, ユニキャスト, ユニークテープ, ヨシダ, 薬谷製作所, 天谷龍夫 (TEAM AMG) 様



14 東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology

●メンバー

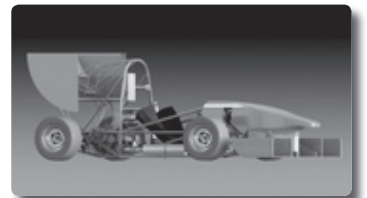
[CP] 稲葉遼, [FA] 鎌田崇義, [MBR] 石川遥登, 関根和樹, 高橋良平, 寺原彬弘, 遠藤大翔, 古屋裕至, 本多龍之介, 村松混平, 米原拓臣, 岡田輝, 柚木希

●車の特徴とチームの抱負

今年度は中堅チームから上位入賞を狙えるチームへとステップアップすべく、マシン設計を根本から見直しました。チームメンバーの半数以上が設計初年度でありながらも、ロングホイールベース化、10inchホイールの採用、ウイングの搭載等、意欲的に取り組んで参りました。これらの大幅アップデートをもって、上位入賞を狙います。

●スポンサー

IDJA, NOK, NTN, F.C.C., FCデザイン, 尾久自動車学校, 加藤カム技研, 金子歯車工業, 上島熱処理工業所, カルソニックカンセイ, キノクニセンターブライズ, 協和工業, ソフトウェアクレイドル, 呉製作所, クロスロード小山, K2W, 京葉バンド, コトラ, サムジャパン, 三協ラジエーター, 三共ラヂエーター, 住友ゴム工業, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 大同工業, 大同DMソリューション, タイヤフィッティングサービス, THK, ティラド, DMM.com, DMM.make, 中井インターサーキット, 新高ギヤー, 日本自動車大学校, ニチリン, 日信工業, ニッポンレンタカーサービス, ハードロック工業, 配線コム, 深井製作所, プラスミュー, 本田技研工業, マイナビ, 都ステンレス工業, ユタカ技研, 隆盛工業, レイス, レノボ・ジャパン, 和光ケミカル, ワークスベル, 東京農工大学機械システム工学専攻, 東京農工大学機友会



15 東京都市大学 Tokyo City University

●メンバー

[CP] 和田遼介, [FA] 三原雄司, [MBR] 高瀬文太, 船瀬裕生, 福原大輝, 和田正平, 金元海斗, 鈴木雅也, 蛭田祐希, 越智博太郎, 坂本悠輔, 山田修宇, 三浦龍徳, 長網光里, 大月寛之, 児玉佳祐, 五十嵐大輝, 伊藤峻亮, 正田将野, 飯野雄基

●車の特徴とチームの抱負

低く広くすばしっこい4気筒車。ゴキブリをコンセプトとして、加速性能、旋回性能ともに高いマシンを作り、優勝を目指します。

●スポンサー

AVO/MoTeC Japan, NTN, オスコ産業, イワモト, キノクニセンターブライズ, 機会会, KYOWAエンジニアリング, グラボラトリー, 小山ガレージ, ソケットセンター, 東京アールアンドデー, バイオラックス, ハイレックスコーポレーション, 不二製作所, 富士精密, ミノルインターナショナル, レーシングサービスワタナベ, 協和工業, 小原歯車工業, サイバネットシステム, ジュニアモーターパーククイック羽生, スズキ, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 帝都ゴム, 東洋電業, 日軽金アクト, 日産自動車, 日信工業, 日本軽金属, 日本発条, 古河電池, 本田技研工業, マ

イスタークラブ, 北村工業, 日研製作所, ペア, UDトラックス, IDAJ, 京葉バンド, 平山自動車工業, 深井製作所, 東洋電装, 丸山ラヂエーター工作所, ムサシ, タシロ, 伊藤精密溶接所, 中村鉄工所, プラスミュー, トヨタレンタリース東京, IPGAutomotive, ラストラダー, コダマコーポレーション, 南デザイン, yamada, ジョブハッチ, オートリブ, フォルシアジャパン, コトラ, SUBARU, HKS, サウスコジャパン, 不二WPC, オートリダーズ, ミスミ, 城南キヤ, NOK, デイトナ, 出光興産, 加藤製作所



16 日本工業大学 Nippon Institute of Technology

●メンバー

[CP] 戸松拓海, [FA] 中野道王, [FA] 安原鋭幸, [MBR] 門前光佑, 川島史也, 高野喜一, 小花真彦, 鶴田晃弘, 並木佑太郎, 染谷玲央, 坂本将理, 曾根佑紀, 片山航志, 國分洗希, 柳元文, 石川巧, 重山陽輝, 得能皐輝, 北山豪, 荒若浩司, 榎本千聖, 橋本学幸, 梶原遥華, 高濱直生, 谷村侑彦, 石黒名誉, 林慶乙, 林正輝

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、扱いやすく、軽くて速い車両をコンセプトにコンパクトな車両を目指し、約14kgの軽量化を行います。チーム目標は全種目完遂・完走とシングルナンバー獲得まで、昨年度1位を獲得したコスト賞連覇を狙います。

●スポンサー

日本工業大学, 日本工業大学工友会, 本田技研工業, ジュニアモーターパーククイック羽生, はらっぱーく宮代, 日信工業, ソリッドワークス・ジャパン, MoTeC, 富士精密, 和光ケミカル, NTN, キノクニセンターブライズ, 須藤秀一, エフ・シー・シー, シルクマター, 協永産業, 栄鋼管, プラスミュー, アイアール・エス, 忍機工, 甘楽一男, 大島オート, オートテック鈴鹿, トヨタレンタリース春日部東口駅前店, プラスプラスチェックス, モトリバティアー, HBM, 石川インキ, IDAJ, トウヨーネジ, 日光溶剤, ゼロ, ミスミ, 市光工業, ヘンケルジャパン, エヌ・エム・ビー販売, 沢井建材店, ヒーハイスト精工, 小金井精機製作所, 新報国製鉄, 久保修一, イビデンレグリス, ビーエムシー, 山崎技研工業, RAC, 石原金属化工, 興研, スクーテックジャパン, APCエアロスペシャルティ, グローバル, VSN, ウエストレーシングカーズ, BRAID, 三協ラヂエータ, FCデザイン, サウスコ・ジャパン, エスユーエス, 深井製作所, 王子機械, デンソー



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

17 Kasetsart University

●メンバー

[CP] Sorawis Nilyanart, [FA] Prapot Kunthong, [MBR] Kittti Pongsiri

●車の特徴とチームの抱負

The car we make say a lot about us. We will keep smiling, be positive and never give up. These are always our goals and our attitude.

●スポンサー

SKF, TOZZHIN, MOTUL, OKUMA, MAKITA, FCC, POWERLAB, JWD, PEARL, COBRA, BIRA CIRCUIT, UPBEAT, NEXZTER, PS SHOP, DIAB, AEROFLEX, REAL, PRODRAGGER, DID, BOXZA RACING, INJECTOR SHOP, SCHROTH, CANON, HYB, CG-400, SOLARGARD

NO DATA

18 Universitas Negeri Yogyakarta

●メンバー

[CP] I Wayan Warsita, [FA] Zainal Arifin, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

Formula Garuda 19 (FG-18) is designed to focus on power to weight ratio, stability handling, and efficiency. We use 600 cc single cylinder engine with Integrated Control System. As one of the delegations of Indonesia, we hope reaching the best result and having a great finish on Top 10 Overall.

●スポンサー

Motul, Garuda Indonesia, PT Indonesia Steel Tube Works (ISTW), IKATO, Bhinneka Life, Manual Tech, Bies Injection, Bengkel Idek, Add Suspension, Solidworks Dasault System, Yamaha Motor Manufacturing Indonesia, Maguwoharjo International Stadium, PT Citra Jogja Kreasi, C-

Maxi Alloy Cast, Jogja Istimewa, Shift Engineering, GNFI, Kedaulatan Rakyat, Harian Jogja



19 山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-onoda City University

●メンバー

[CP] 中西亮太, [FA] 貴島孝雄, [MBR] 坂井洸太郎, 中西勇樹, 福浦拓真, 藤原正和, 村上和士, 早稲田新也, 大谷優也, 大橋優, 川崎悟史, 菅江雄次, 武田陸, 田中意大, 長濱新一郎, 村中凱, 今井裕一, 久保田凌平, 小林拓夢, 杉知晃, 武田翔馬, 西村地正, 安田幹太, 横路大空, 渡部隼大

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは前年度と同様に「リニア感のある操縦性」です。リニア感のある操縦性を実現するため、低重心化や各パーツの軽量化を行いました。4年連続の全種目完走し、15位以内を目指します。

●スポンサー

サンライト, 和光ケミカル, 富士精密, ダウ化工, TAKATA, 住友電装, ミネベア, 本田技研工業, ミスミ, ソリッドワークス・ジャパン, IKEYA FORMULA, 寺田製作所, オートエグゼ, THK, 日信工業, キノクニエンタープライズ, エフ・シー・シー, ナチュラサーキット, 内田鋼機, NTN, かさま工業, ザム・ジャパン, 山口東京理科大学, ホンダマイスタークラブ, 協和工業, プリオテック, ロードスタークラブオブジャパン, MZRacing, 深井製作所, ナチュラサーキット, サイバネット, DID, デンソー, 津留自動車工業, 西日本自動車学校, 長州産業, 山口マツダ, HPSヤマガタ, セネラルエンジニアリング, Road Star Four, アルテアエンジニアリング, 亜細亜製作所, スクーテックジャパン, 石原ラジエーター工業所, エヌ・エム・ビー販売, コトラ



20 早稲田大学 Waseda University

●メンバー

[CP] 藤井裕斗, [FA] 石井泉, [FA] 佐藤真, [FA] 宮下朋之, [MBR] 鈴木峻大, 小河広明, 小野寺隼, 富田純, 荒井貴裕, 半田丈大, 立岡俊人, 片原哲宏, 青沼将太, 市毛貴大, 五十嵐隼, 伊藤渚, 丸山達也

●車の特徴とチームの抱負

WFP2019では「Laptop」をコンセプトに、小型・軽量化を目指してマシンの設計を大きく見直しました。総合10位以上を目標に全力を尽くします。

●スポンサー

NTN, KYB, ジュニアモーターパーク クイック羽生, スズキ, ソリッドワークス・ジャパン, 太陽, 中川産業, 日本ピストンリング, マーレジャパン, UDトラックス, ライフリング, レゾニック・ジャパン, ランドマークテクノロジ, RAC, アップ・インターナショナル, イグス, 石原ラジエーター工業所, ウエストレーシングカーズ, ウエダ, エフ・シー・シー, エヌ・エム・ビー販売, オーセットジャパン, オートフォース, キノクニエンタープライズ, 協永産業, 共成, 協和工業, 公進ケミカル, コトラ, ザム・ジャパン, 七福金属, 住友電装, スリーエムジャパン, ダウ化工, ティクラフト

ネット事業部, テクノイル・ジャパン, ニシムラタイヤ, 日信工業, 日本ユピカ, 深井製作所, プロテック, プロト, MathWorks, ミスミ, Moto Liberty, UACJ, リョービ, LINK JAPAN, 旭スプリング製作所, サカイ産業, タマチ工業, DMM.com.make事業部, 畑野自動車, Rush Factory, REIMAX, 早稲田機友会, 早稲田大学草鹿研究室, 早稲田大学宮下研究室, ものづくり工房, 工作実験室, 熱工学・流体制御実験室, 早稲田大学自動車部, 個人スポンサーの皆さま



21 静岡理科大学 *Shizuoka Institute of Science and Technology*

●メンバー

[CP] 齋藤駿, [FA] 野崎孝志, [FA] 天野勝弘, [MBR] 安達佳祐, 岡本一茂, 齋藤諒弥, 山内健太, 大塩歩夢, 中野瑛祐, 永井智崇, 賤機弘樹, 金原匠吾, 本多亮, 久保田健斗, 柏木亨之, 上口直樹, 宿島圭人, 芦原光, 大倉義正, 藤田絵里香, 夏目玲旺, 阿部史希, 五十嵐洋太, 大庭裕一郎, 大村友紀, 白鳥竜雅, 田畑和秀, 徳田翼, 西本久留実, 前田陸人

●車の特徴とチームの抱負

エンデュランスファイナル出場を目指し、マシン開発を行ってきました。静的種目にも力を注いで、総合15位以上を目指します！

●スポンサー

スズキ, ダイキン工業, 榎葉鉄工所, ソリッドワークス・ジャパン, 鳥居自動車, ユニバンス, NTN, デイトナ, 大同工業, 関ものづくり研究所, THK, 協和工業, センサー・テクノロジー・ジャパン, オエティカジャパン, アイ・アール・エス, 小橋金属, 深井製作所, ユタカ技研, エヌ・エム・ビー販売, プロトラッド, ザム・ジャパン, イグス, NTN御前崎製作所, ISK, ミスミ学生ものづくり支援, 住友電装, 協永産業, ウエストレーシングカーズ, 富士コミュニケーションズ, 小糸製作所, 富士ゼロックス, ベルキャリアール, 鈴与商事, 鈴与システムテクノロジー, 鈴与建設, 静岡ビルサービス, 中央発明研究所, MathWorks, アルトナー, 日信工業, 富士精密, IDAJ, ロード・ジャパン, キノクニエンタープライズ, 日本発条, 柴田車輛, 富士通, 東海理機, 紀伊國屋書店, ゼネラルエンジニアリング, 日本圧着端子製造, エッチ・ケー・エス, フジコーポレーション, プレニー・技研, LASTHOPE, プラスミュール, トヨタ部品静岡共販, 川崎, 木村鋳造所, 三恵工業, ニッパツ・メック



22 Universitas Gadjah Mada

●メンバー

[CP] Muhammad Kamal Ardi Putra, [FA] Fauzun, S.T., M.T., Ph.D., [FA] Akmal Irfan Majid, S.T., M.Eng, [FA] I Gusti Bagus Budi Dharma, S.T., M.Eng., Ph.D, [MBR] Hanif Adyatma Herindra, Made Bilan Asasia Binov, Adipura Firman Satriangga, Alvinhi Mohizhar Iseko, Andhira Jyesta Lalita, Arva Naufal Rachmanoka, Cahyo Wibi Yogiswara, Duta Adi Hersetiawan, Fadel Maulana, Fadhiela Noer Hafiezha, Gilang Sandy Firdaus, Hafidz Miftah Rosyadi, Irsat Hanafi, Rezki Eriyando, Rifki Yogiantara, Wenmas Ardyana liftihar, Yogi Abul Yatama Putra, Aditya Maheranta, Andreas Caesario Dwinanda Laksana, Azzahra Delwi, Daniel Heri Sandi Purba, Devita Ayuni Kusumaningsih, Iqbal Faishal Rokhmad, Lidya Desi Ulina Gultom, Muthia Sekar Pratiwi, Naditira Lingga Whesti, Naufal Adli Risquallah, Safirah Qurrota Ayunin, Yusuf Waliyuddin Azka

●車の特徴とチームの抱負

The latest and greatest prototype, the 8th generation car has a concept of swift by exploring the potential of the engine and perfecting the car geometry. The BM-8 uses MoTeC M400 ECU equipped with launch control for maximum performance and uses anti-roll bar to reduce roll motion and increase tire grip especially in high-speed cornering.



●スポンサー

PT Pertamina (Persero), PT Sumber Segara Primadaya, Silk Air, PT PGAS Solution, PT Toyota Motor Manufacturing Indonesia, PT Waskita Karya, Kementerian Perindustrian Republik Indonesia, PT Wira Bhumi Sejati, PT PLN (Persero), PT Pelabuhan Indonesia IV, PT Semen Indonesia Tbk, BNI, PT Chandra Asri Petrochemical, PT Poeser Indonesia, PT Telekomunikasi Selular, PT Angkasa Pura 2, PT Waskita Beton Precast Tbk, PT Pelabuhan Indonesia III, PT Pupuk Sriwidjaja Palembang (Pusri), PT Indonesia Steel Tube Works Ltd, 3Tech, Swaragama, Biess

23 日本自動車大学校 *Nihon Automobile College*

●メンバー

[CP] 沼田佳祐, [FA] 早川靖洋, [FA] 矢部光範, [FA] 門野寛, [FA] 田上友, [FA] 金井亮忠, [FA] 東慎一, [FA] 和気幹樹, [MBR] 市村陸, 伊藤大輝, 大口義博, 大住一輝, 大角朋也, 尾崎文哉, 葛西祥平, 木本晴逸, 紺谷平雅, 齋藤清志郎, 庄司幹, 新村祐太, 武田修, 田所拓己, 玉城龍人, 丹野謙吾, 西岡庫太郎, 三村富之, 榎垣潤, 平内大喜, 廣瀬玄佳, 藤原航太, 松村秀明, 柳堀翔太, 山本健輔, 山崎智大, 渡辺裕介, 篠崎稔, 高橋信秀, 中村尚葵, 島山真穂, 御藤納亮, 村松宏隆, 柳橋拓実

●車の特徴とチームの抱負

FFN-10のコンセプトは、「Quick Motion&High Response」としました。これまでの9年間で積み重ねてきた経験をもとに、技術・知識の熟成を図り、昨年の悔しさを晴らすべくチーム一丸となって悲願の総合優勝を目指します。

●スポンサー

アイ・アール・エス, アールエイ商会, アールエーシー, ウエストレーシングカーズ, AVO/MoTeC JAPAN, 永和工業所, オーヴァーレーシングプロジェクト, キノクニエンタープライズ, 京業ベンド, サウスコ・ジャパン, スズキ, ソフトウェアクレイドル, ダブルユー・エフ・エヌ (SEV), TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY (TWS), ティエムシー (RS-R), 日産部品千葉販売, 日信工業, ハヤシレビック, 深井製作所, マックメカニクスツールズ, ヤマハ発動機, Uniauto (WePro), 和光ケミカル



24 愛知工業大学 *Aichi Institute of Technology*

●メンバー

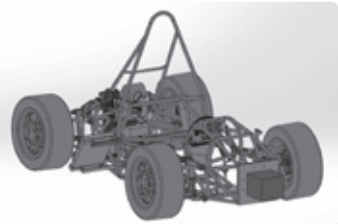
[CP] 太田優也, [FA] 武田亘平, [FA] 西島義明, [FA] 太田英伸, [MBR] 井深吉崇, 福井卓河, 永井貴士, 小林樹生, 一ノ瀬龍一, 山賀隆矢, 中村陸, 深谷健右, 河合凌雅, 佐藤優衣, 高田宗一, 清水飛鳥, 中島知斗, 三宅駿平, 近藤玲夫, 武藤啓佑, 恒川悠樹, 鈴木駿太, 木村優斗, 松下真悟, 荒川友翔, 岩田彩花, 大橋泰生, 岡本泰知, 片桐寛斗, 加納拓実, 志水晴彦, 樽井音季, 平松奈那子, 横井七奈実, 吉水大空, 小野田祐大

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、マシンコンセプトを「旋回性向上」とし昨年度のパッケージングを活かしつつ車両成熟のための改善を行ってきました。単気筒の軽さと、新規導入のフルコンを活かした旋回性で、昨年に引き続き全種目完走し、今年目標の総合20位達成を目指します。

●スポンサー

アクセル, アクティク, アズテック, アネブル, アルトナー, ウエストレーシングカーズ, エイアイテック, エヌケーエヌ, エフ・シー・シー, エフティテクノ, エンバイヤ自動車, オウルテック, オーエスジー, オーゼットジャパン, サード, ザム JAPAN, ゼネラルエンジニアリング, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークス, タマチ工業, トータルテクニカルソリューションズ, ナカダクラフト, ネクスト, ハイタツ, ベトロプラン, ホワイトハウス, ホンダカーズ東海, ムーンクラフト, ヤマハ発動機, 愛知工業大学学生チャレンジプロジェクト, 岡島パイプ, 協和工業, 江場酸業工業, 高田鉄工建設, 市光工業, 住友電装, 新郊パイプ, 石野サーキット, 前田技研, 大阪パネ工業, 渡辺工業, 東洋高周波, 鍋屋バイテック, 日信工業, 日本コンタクトチップ製作所, 梅野産業, 富士精密, 工業, 和泉商, J-netレネットリース, Next, NTN, SHORAI JAPAN, TCL, THK, VSN, VTホールディングス



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

25 ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Gakuen Honda Technical College Kanto

●メンバー

【CP】坂本直樹, 【FA】山本敦, 【FA】塚越琢也, 【MBR】富吉将史, 池田力, 鈴木蓮太, 石井香奈子, 飯野祐輔, 甘利建文, 奥富和, 谷口翔羽, 山内尚弥, 坂倉颯大, 針生滉也, 吉田実夢, 尾上拓馬, 小笠原渉

●車の特徴とチームの抱負

ホンダテクニカルカレッジ関東は毎年流用していたパーツがありましたが、流用パーツのほとんどにガタが出てきてしまい、細かいセッティングができなく、また設計の意図が分からないため一から自分たちで設計することになりました。チームとしての目標は軽量化賞を獲得することです。

●スポンサー

本田技研工業, ホンダテクノフォート, 八千代工業, アールケージャパン, 出光興産, クラフトハウズジー, キノクニエンタープライズ, 協和工業, 山王テック, 住友電装, 日信工業, フォーミュラドラー飯能, ファロージャパン, ミスミグループ本社, エフ・シー・シー, 深井製作所, ホンダウイング石井商会, SOLIZE Engineering, ユタカ技研, ダイセルエボニック, ザム・ジャパン, ホンダカース野崎, OZracing, ウエストレーシングカース, 東洋電装, ワークスベル, NTN, ホンダテクニカルカレッジ関東, 常磐



26 京都大学 Kyoto University

●メンバー

【CP】富樫明寛, 【FA】山路伊和夫, 【MBR】井上楨平, 伊藤瑛里, 濱崎悠貴, 深尾真輝, 野口晴臣, 丸山ゆう, 藤川高嘉, 久保田純矢, 深澤凌太郎, 小山光, 和田祥, 須翔太, 奥村佑一郎

●車の特徴とチームの抱負

今年度は3ヵ年計画の3年目として、過去2年間に培われた技術を踏襲しつつ各部に新設計も施した、3年間の集大成となるマシンを開発いたしました。今年度こそ悲願の優勝を目指し、KARTは邁進します。

●スポンサー

DMG森精機, 川崎重工, オキソ, ヘインテクノベルク, ミタテ工房, 東レ・カーボンマジック, TEI Composites, 大昭和精機, ジェイテクト, UACJ, NTN, 井尾製作所, 山岸本舗, 浅野歯車工作所, イケヤフォーミュラ, サンガード, 戸田レーシング, プラスミュー, ソリッドワークス・ジャパン, テクノソリューションズ, IPG Automotive, 小松

製作所, ヤンマー, テックサーフ, 日本インシュレーション, NEOSmonocolle, 三木ブーリー, 池田金属工業, コンテック・ラボ, 日本軽金属, カフィール, 二九精密機械工業, 住友電装, 住友電気工業ハードメタル, リコージャパン, ウミヒラ, ウェルドワン, 日本精工, 医療法人啓信会グループ, デンソー, THK, 琵琶湖スポーツランド, 名阪スポーツランド, アイシン精機, テクノイルジャパンK.K, 中部化研工業, アドヴィックス, ミスミ, ワークスベル, DIC, タイヤボックスエボルヴ, IDAJ, ランドマークテクノロジー, ANSYS, サイバネットシステム, イシダ製作所, 田中製作所, 東名技研, 日信工業, ストープリ, スガツネ工業, エム, 橋本螺子, 山洋電機, ウィット, ニッコー, アクソソジャパン, 中央発條, 協永産業, ケムトレンドジャパン, 廣部機型製作所, 岩井木型製作所, ダウ化工, プリントショップ3P大久保店, NOK, ATS, サンライズ, 応用科学研究所, 東日製作所, 三和メッキ, エンタープライズワイ, 京橋ブリッジ, 近藤科学, フューチャーテクノロジー, ネット, 松本金属工業, 開明伸銅, ヘンケルジャパン, 旭化成建材, JMC, CAST, 昭和飛行機, サンテスト, キャタラー, イグス, 三和トレーディング, GAT, 長岡特殊電線, マツダ英会京機, 京都大学機械工作室



27 Prince of Songkla University

●メンバー

【CP】Narongpol Sattapanyo, 【FA】Wacharin Kaewapichai, 【MBR】Thanawat Satjakul, Prad Sakyasin, Nutthanon Khongkhakhet, Panyawatchara Khuntong, Nakkarak Khorosklang, Chayakorn Hemtanon, Tanatuch Chotigarn, Natthapong Rem-a, Piyawat Wanghemmara, Akkadet Sakulden, Sirawich Wetchapitak, Siraphop Ungvisiswong, Gine Vaughn Vivero, Kunrada Chaimanee, Sopitha Chainapong, Pakpoom Kongjui, Ingkarat Khanti, Kunalai Pruekudom, Paweenakorn Duangkaew, Kantapit Meetam

●車の特徴とチームの抱負

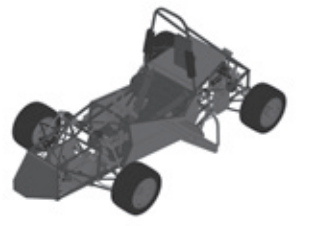
Concept design

1. Lightweight

2. Low C.G.
3. Low moment of inertia

●スポンサー

ENG. PSU. ALUMNI, TOZZHIN, HONDA MODULO, KAWASAKI MOTOR, TOYOTA, MONOGRAM BY CREATIVE, SKF, NTN, Car-Lack (Thai-German), Pro Log Titanium, S. CHAWALIT BEARING ASAHI, Eleven Shop, igus, MR Performance, U. T. INTERNATIONAL, WURTH, Bangmod Racing, YPK Anodize On Services, Morin racing, พระประแดงสตีลไฟฟ้ จำกัด, สระการช่าง, เคอรี่มอเตอร์



28 上智大学 Sophia University

●メンバー

【CP】長田雅之, 【FA】鈴木隆, 【MBR】堀江諒, 梶木健斗, 荒武成美, 杉村瞭, シテューダーヨエルベンヤミン

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両SR18では、車両のパッケージをすべて一新させ、今まで採用していたカーボンモノコックに代わり、製作性が良く、かつコストが安いアルミモノコックの製作に挑戦しました。今年度こそは8年ぶりのエンデュランス完走を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機株式会社, 株式会社ティン, 株式会社レーザーマックス, UDトラックス株式会社, 積水化成品工業株式会社, 青島歯車, Schroth Racing, 株式会社ミヤキ, 株式会社旭スプリング, アルテアエンジニアリング株式会社, ミヤコ自動車, ヘンケルジャパン, 株式会社日本VI-grade, 平垣製作所, MISUMI, 株式会社

IDAJ, SHコンサルティング株式会社, 日本サン石油株式会社 (SUNOCO), 岩倉溶接, 株式会社不二WPC, 株式会社深井製作所, マテリアライズジャパン, オクノグローバルテック株式会社, 株式会社GAT, AVO/MoTeC Japan, 株式会社エーシー・エム, ダウ化工株式会社, Textreme, 株式会社CD-adapco, ボッシュ株式会社, 興津螺旋株式会社, 株式会社日立物流バンテックフオーディング, 茂原ツインサーキット, 日本自動車大学校, 上智大学テクニカルセンター



29 山梨大学 University of Yamanashi

●メンバー

[CP] 畑野秀斗, [FA] 角田博之, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

私たち山梨大学学生フォーミュラ部は今年新たにエンジンを変え、昨年よりパワーアップを目指して取り組んでおります。

●スポンサー

スズキ,天野工業,イズミインターナショナル,エッチ・ケー・エス,エンドレスハウザー山梨,オーゼットジャパン,おがた歯科医院,笠井歯科医院,金子歯車工業,かいしゃ,ティン,東京アールアンドデー,エフ・シー・シー,オートボックスセブン,サンポー,ハイレックスコーポレーション,河村自動車工業,標葉鉄工所,中央技研,協和工業,クリフサンキン,スポーツランド山梨,ソリッドワークスジャパン,タカタ,トヨーコーケン,三菱アルミニウム,モーターイズム編集部,日信工業,日本発条,藤精機,原製作所,ティ・エム・ワークス,湯村自動車学校,山梨トヨタ自動車,山梨工業会,山梨大学工学部附属ものづくり教育実践センター



30 帝京大学 Teikyo University

●メンバー

[CP] 山下隼平, [FA] 反町浩二, [MBR] 篠内将景,植木修也,星野海渡,林直輝,瞿意祺,高橋直也,眞保享央,安田匠吾,山ノ内悠貴,津久井涼介,佐々木滉太,高木優磨,ユンヒョヨン

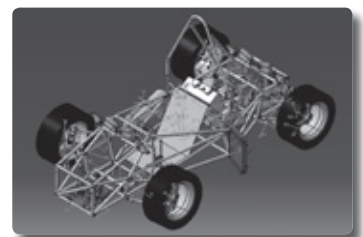
●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両は、「Lightly for Victory」をコンセプトに、2年連続「全種目完走」を目指しています。

●スポンサー

帝京大学,本田技研工業,ホンダテクノフォート,OZ RACING,アルテアエンジニアリング,協和産業,深井製作所,宇佐美,誠和工業,フェスティカサーキット栃木,渡辺金属,住友電装,ティーエムシー,日信工業,IPGAutomotive,日本トムソン,アイ・エス・イー,和光ケミカル,麻布成形,久保田溶接工業所,イグス,オクノグローバルテック,シンコウギヤ, NOK,ハイレックスコーポレーション,協永産業,WELDTOOL,サンコーインダストリー,ディトナ,ビームス,マクススリオンテック事業本部,ミスミ,NTN,デンソー,ラストラダ,

ファクトリーギア,東興ラジエーター,FCC,キノクニ,AVLジャパン,VSN,Can Do VISION,ミナミ技研,OSG,SHOWA,ボディーファクトリーマヤマ,丸紅情報システムズ,ビスステーション



31 九州工業大学 Kyushu Institute of Technology

●メンバー

[CP] 上原隆輝, [FA] 河部徹, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

今年度からタイヤ・ホイールを10インチ化したことで、足回り等の各部一新により大幅な軽量化を目指しました。近年は、上位入賞から遠のいているので、今年こそシングルナンバーの奪還を目指します。

●スポンサー

IDAJ,旭化成建材,アルトナー,アールエーシー,イグス,石原ラジエーター工業所,Ins.R,ウエストレーシングカーズ,エア・ガシス北九州,HPCシステムズ,AVO/MoTeC JAPAN,NTN,エフ・シー・シー,オフィスケイ,川崎重工業,キノクニエンタープライズ,九州工業大学機械実習工場,協和工業,神戸製鋼所,サイアン,佐々木工業,標葉鉄工所,住友電装,ソフトウェアクレイドル,大成プラス,高田工業所,高橋工機,デンソー,TONE,トレイルバック,日本発条,日本軽金属,日本ワイアイグレイド,深井製作所,富士精密,プライムガレージプロト,ヘンケルジャパン,マッハ,ミスミグループ本社,ミネベア,ミヤキ,明専会,モーターショップ・ネスト,ヤマナカコーキン,

ランテック,レーシングサービスワタナベ,和光ケミカル,日本トーター,オートボックスセブン,日信工業,ティン,ニフコ,タマディック,アルテアエンジニアリング,アイシン精機,小倉運送



32 千葉大学 Chiba University

●メンバー

[CP] 山岸雅人, [FA] 森吉泰生, [FA] 河野一義, [MBR] 及川智紀,窪田十也,江澤成毅,岡田和大,深川陸,本宮曜,山崎唯華,石塚祐也,兼坂洋祐

●車の特徴とチームの抱負

“旋回性能とトラクションの追求”を開発目標に、サスペンション、パワートレインのすべての部品を再設計し車両の大幅なアップデートを行いました。チームで未だ成し遂げていない総合優勝を目指し大会に挑みます。

●スポンサー

旭化成建材,池田金属工業,出光興産,Ins-R,エヌ・エム・ビー販売,NTN,エムエスアイコンピュータージャパン,日本自動車大学校,石川インキ,エフ・シー・シー,エルバ,梶哲商店,キノクニエンタープライズ,日下製作所,千葉自動車教習所,コトラ,佐々木工業,玉津浦木型製作所,ティエムシー,デンソー,東日製作所,東洋システム,トヨタレンタリース千葉,中村機材,日本ワイアイグレイド,ノウム,ハイレックスコーポレーション,深井製作所,富士精密,メタルワークス,ヤワタホーム,ユタカ技研,ロボテックス,ワークスベル,カルソニックカンセイ,協和

工業,京葉ベンド,サーキットの狼ミュージアム,サイバネットシステム,ZAN,ジョブハッチ,住友電装,ソリッドワークス・ジャパン,千葉大学工学部,千葉大学工学同窓会,千葉大学材料加工学研究室,千葉トヨベツ,東北ラヂエーター,日本軽金属,日信工業,日本精工,日本製紙クレシア,日本発条,日野自動車,ビルドダメー,マールジャパン,三菱マテリアル,ヤマハ発動機,葵不動産,斉藤プレス,柴田車輛,島屋千葉北,プラスミュー,茂原ツインサーキット,レイクラフトレーシングサービス



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

33 大阪工業大学 *Osaka Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 上田直樹, [FA] 桑原一成, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、弊チーム過去最高記録である総合15位の更新を目標として掲げました。昨年度車両を反省とし、コーナリング性能の向上とフルエアロを搭載した車両で目標達成を目指します。

●スポンサー

スズキ、ソリッドワークス・ジャパン、ヤマト、イーコート、ZION、ISK大阪舞洲店、日ポリ化工、布施真空、水田製作所、エクセディ、レーザーテック、ピースサプライ、サムテック、谷川電機産業、日置電機、坂口製作所、大阪パネ工業、コトラ、ホンダテクノフット、VSN、丸門紙器工業、エフ・シー・シー、住友電装、プロジェクト・ミュー、カーボートマルゼン、日信工業、協和工業、グループエム、NTN、興研、デンソー、アルテアエンジニアリング、日本ヴァイアグレイド、ゼネテック、CAST、オーゼットジャパン、石原ラジエータ、ワークスベル、オクノグローバルテック、深井

製作所、日双工業、エム・シー・エス、ノースヒルズ溶接工業、イグス、大阪フォーミング、ジョブハッチ、中島工業、ニフコ、フェイス、東洋電装



34 埼玉大学 *Saitama University*

●メンバー

[CP] 鈴木雄貴, [FA] 平原裕行, [MBR] 小林海登, 河口雄弥, 石川平, 大豆生田駿, 船田誠, 近藤翔太, 亀山隼太, 大竹麻祐子, 篠原調, 梶哲滉, 三星一真, 村上紘基

●車の特徴とチームの抱負

昨年問題として挙げた、加速性とリア剛性の向上を目指し、マシンコンセプトを「RISE〜コーナーからの安定した立ち上がり〜」と決めました。参戦3年目となる今大会では、総合順位20位を目指します。

●スポンサー

本田技研工業、マツシヨウ、オリジン、日本ピストンリング、ボーライト、アライヘルメット、小金井精機製作所、カルソニックカンセイ、柳下技研、デサン、サーキット秋ヶ瀬、日信工業、NOK、浦和自動車解体、島田鉄工所、井上鉄工所、WAKOS、シーメンス、OZ Racing、武蔵野電波、セントラル自動車技研、浦和花見、朝日ラバー、トヨタレンタリース埼玉、渡辺製作所、埼玉県経営者協会、さいたま商工会議所、埼玉トヨペット、放電加工センター、日本発条、NTN、日本精工、エフ・シー・シー、ミスミ、アルテアエンジニアリング、ソリッドワークス・ジャパン、ネッ

ツ東埼玉、和光ケミカル、住友ゴム工業、ユタカ技研、住友電装、エイチワン、THK、大竹製作所、斉藤プレス、七福金属、ザム・ジャパン、協和工業、富士精密、イグス、ハイレックスコーポレーション、RAC、ファーストモールドینگ、ケイテック、キノクニエインタープライズ、グループエム、深井製作所



35 岐阜大学 *Gifu University*

●メンバー

[CP] 角谷宏樹, [FA] 菊地聡, [MBR] 牧田竜汰, 薫田淳平, 伊藤寛人, 大坪奨平, 中林草太, 加藤幸樹, 高村圭祐, 渥一嶺, 戸田克彦, 安藤丈流, 岩田章宏, 小堀貴俊, 近藤祐貴, 下山智也, 林和希, 寺嶋薫

●車の特徴とチームの抱負

「正統進化」をコンセプトに掲げ、昨年度のブラッシュアップはもちろん、さらなる改良を重ね完成度の高いマシンを追求しました。今年度は総合順位15位以内を目指します。

●スポンサー

スズキ、岐阜車体工業、椋葉鉄工所、金子歯車工業、光製作所、岩田製作所、高橋鉄工所、プラスミュー、岐阜ギア工業、杉山、鍋屋バイテック、ツゲブラセス、服部溶接鉄工所、シーン・アイ、太平洋工業、アイシン精機、アサヒフォージ、アネブル、アルテアエンジニアリング、NTN、エフ・シー・シー、オエティカジャパン、奥伊吹観光、大同

DMソリューション、小熊製作所、オスコ産業、マキタ、早野研工、片野商会、キノクニエインタープライズ、岐阜プラスチック工業、澤商、スズヒロフォークリフト、住友電装、センサーテクノロジーズ・ジャパン、ゼット・エフ・ジャパン、ソリッドワークス・ジャパン、大同工業、ダウ化工、中部化研工業、DICマテリアル、T.M.D.、東日製作所、トリニティ、ナベヤ、日信工業、日本トムソン、日本発条、深井製作所、フクダ精工、古河電池、丸和書店、三田洞自動車、ヤスモク、石原ラジエータ工業所、サザンタイヤ



37 岡山大学 *Okayama University*

●メンバー

[CP] 東出悠翔, [FA] 河原伸幸, [MBR] 三宅大貴, 宮崎悠, 三宅航平, 奥村颯太, 盛元達雄, 鈴木裕由, 藤枝幸大, 中村勇人

●車の特徴とチームの抱負

今年度より川崎重工様から新エンジンをいただき、昨年度よりもパワーアップしつつ低コストを実現できた車両になりました。総合順位15位を目指し、チーム歴代最高位を獲得したいと思えます。

●スポンサー

内山工業、岡山国際サーキット、川崎重工業、アールエーシー、IADJ、Gamma Technologies、アントライオン、アルテアエンジニアリング、いぐす、石原ラジエータ工業所、AVO/MoTeC JAPAN、日本精工、NTN、エフ・シー・シー、FCデザイン、オーエスジー、岡山科学技術専門学校、奥平パイプ工業、OptimumG、キノクニエインタープライズ、キャスト、協和工業、倉敷化工、ケーマックススピード、神戸製鋼所、三協鉄線、サンボーエンジニアリング、山陽レジン工業、JXエネルギー、新産産業、住友電装、ソリッドワークス・ジャパン、ダイハツ工業、TMC、テイクオ

フ、テクノイルジャパン、東日製作所、東京測器研究所、東洋コルク、戸田レーシング、ナカシマプロペラ、日進機械、日信工業、日本発条、ヒラノ、日本ヴァイアグレイド、福島化工、フジックス、プラスミュー、プロト、プロスタップ、マリノフロード、三国工業、ミスミ、三井造船、三菱自動車、三菱日立ツール、安田工業、ライト電業、ライドオン岡山、ラ・ストラダ、レイズ、ロックペイント、ワークスベル、岡山大学工学部、岡山大学創造工作センター

NO DATA

38 大阪産業大学 *Osaka Sangyo University*

●メンバー

[CP] 山崎風貴, [FA] 上田博之, [MBR]

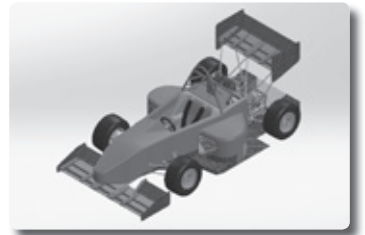
●車の特徴とチームの抱負

昨年度は目標の全種目完走を果たすことはできませんでしたが、熟成不足で上位進出はなりませんでしたが。今年度は車両を早期に完成させて、昨年からの力を入れている空力性能に更に磨きをかけることで上位入賞を目指します。

●スポンサー

大阪産業大学,川崎工業大学,株式会社JRC,株式会社モリワキエンジニアリング,K2W Precision inc,株式会社エクセディ,有限会社タニ・アイアンワークス,株式会社エフ・シー・シー,NTN株式会社,新日本フェザーコア株式会社,大東ラジエーター工作所,ソリッドワークス・ジャパン株式会社,株式会社ミウラ,株式会社ウエダ,株式会社ミスミ,株式会社和光ケミカル,アルテアエンジニアリング株式会社,ウエストレーシングカーズ,マツダ株式会社,有限会社プラスミュー,スポーツランド生駒,協和工業株式会社,株式会社砂山製作所,日信工業株式会社,株式会社東研サーモテック,三和メッキ工業株式会社,住友電装株式会社,株式会社日本

ヴィアイグレイド,マスワークス・ジャパン,株式会社アールエスタイチ,F.C.デザイン株式会社,S.Y. Tech Corporation Co. Ltd. NICHIMOLY inc,株式会社VSN,PROGRESS,株式会社ニフコ,株式会社アルトナー,サウスコ・ジャパン株式会社



39 ものづくり大学 *Institute of Technologists*

●メンバー

[CP] 河合徹, [FA] 原薫, [MBR] 今村彰孝

●車の特徴とチームの抱負

去年度と同じく全種目完走感想を目指すと共にスキットパット上位に食い込めるよう、旋回性能を重視したマシンを目指しました。

●スポンサー

本田技研工業,関東自動車大学校,深井製作所,住友電装,アルテアエンジニアリング,サクラム,スタジオ37,エヌティエヌ,キノクニエンタープライズ,岡田モータース,クイック羽生,トヨタレンタリース,江原酸素,ソリッドワークス,タイヤセレクト,エフ・シー・シー,佐成基金,バイクスタッフアリエ,モノレーシングオービー会,ستنレスアート,エフアルビー山本,日信工業,フュージョン360



40 金沢工業大学 *Kanazawa Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 梅田隼太郎, [FA] 権谷基, [MBR] 西川秀輝,松坂貴裕,酒井裕幸,坂野光一,高久佳雅,有江奈緒子,角本健太,長谷川友佑,広瀬朝彦,三宅良汰,袋井聖弘,阿部航輝,若林俊亮,高島茂樹,遠藤将輝,赤林直紀,高谷郁壮,中橋圭太,西住太一,藤原輝,木村優太,山本有馬,成木忠明,青木侃汰,伊藤康太,兼子凌,野中大河

●車の特徴とチームの抱負

昨年度車両からの反省を活かし、車両諸元の見直し、同調回転数の変更を行い、今年度のコンセプトである「ドライバーが扱いやすいマシン」の達成を目指しました。全種目完走し、総合16位以内を目指します。

●スポンサー

金沢工業大学夢考房,ウエダ,NTN,F.C.C.,協和工業,石原ラジエーター工業所,ススキ,住友電装,大同工業,TAN-EI-SYA,TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY,トラップ,梅花,ミスミ,日信工業,深井製作所,和光ケミカル,岡島パイプ製作所,富士精密,日本発条,キノクニエンタープライズ,丸開鉄工,明宝ユニフォーム,ディーエムシー,ザム・ジャパン,小松銅機,フェニックス・コンタクト,ウエストレーシングカーズ,プラスミュー,ガレージ・ゴインチ



41 北九州市立大学 *The University of Kitakyushu*

●メンバー

[CP] 磯本岳大, [FA] 吉山定見, [FA] 長弘基, [MBR]

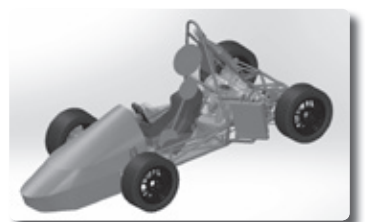
●車の特徴とチームの抱負

今年のコンセプトは「速さの追究」です。昨年の課題となったパワートレインの調整をはじめ、シャシーやボディ性能の改善を図りました。今年も全種目出場、そしてエンデュランス完走を目指しチーム一丸となって頑張ります。

●スポンサー

川崎重工業,エフ・シー・シー,ソリッドワークス・ジャパン,住友ゴム工業,ソフトウェアクレイドル,THK,トヨタレンタリース福岡 共立大前店,ウエストレーシングカーズ,キノクニエンタープライズ,デジタルステージ,ダウ化工,協和工業,深井製作所,NTN,K's moto,ミスミ,和光ケミカル,江沼チエン製作所,日信工業,オーゼットジャパン,タカタ,石原ラジエーター工業所,アルテアエンジニアリング,ニコル・レーシングジャパン,ブラビオ,住友電装,VSN,The Mathworks Inc,ムラマサオートモティブ,安藤歯科,日本発条,イー・エス・アイ,北九州産業学術推進機構,北九州市立大学国際環境工学部,北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学

科,北九州市立大学国際環境工学部加工センター,北九州市立大学同窓会,八幡自動車学校



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

43 トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya

●メンバー

[CP] 岩狹 崇, [FA] 早川 哲也, [FA] 高橋 一成, [FA] 久保田 健一, [FA] 加賀 史郎, [FA] 谷川 亮太, [FA] 山崎 敬介, [FA] 小林 治彦, [MBR] 岩崎 令, 江 宜賢, 谷川 ヒカル, 飯田 貴文, 加藤 伸次, 吉田 成宏, 板垣 直人, 松田 光功, 玉井 誠, 泉 綾哉, 木村 謙吾, 石川 隼也, 中村 智哉, 坪井 太智, 藤田 淳矢, 坂 魁斗, 星野 優輝, 末永 ブルノ, 岩崎 拓未

●車の特徴とチームの抱負

今年度は「極」を車両コンセプトとし、昨年度の車両の問題点を突き詰めています。また、新たにツインインジェクタの開発にも取り組みました。完走を絶対条件とし、過去最高順位を取得します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 新明工業, バイコージャパン, 高木製作所, ノムラマシン, 岡野エレクトロニクス, グッドイヤージャパン, ソリッドワークス・ジャパン, タクト, タクティ, 豊田合成, エフ・シー・シー, NTN, 協和工業, 渡辺工業, サウスコジャパン, アイシン精機, 愛知, ほらいせん, 大仙産業, キョウセイ自動車大学校, デクセリアルズ, イワタフクソー, トヨタカラー愛知, イービー愛知, エフティーテクノ, 深井製作所, ホワイトハウス



44 新潟大学 Niigata University

●メンバー

[CP] 岩片 梨紗, [FA] 羽田 卓史, [FA] 坂本 秀一, [FA] 弦 卷明, [MBR] 矢部 捷, 鈴木 洋輝, 本多 飛翔, 五十嵐 大地, 小原 裕貴, 五十嵐 元, 橋爪 紀人, 野崎 和佳菜, 東野 弘道, 向中 野涼, 本田 逸人, 須藤 大智, 佐々木 怜似

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両のNU-19は「すっきり&スポーティ」をコンセプトとし、NU-18をもとに更なる性能の向上を目指しました。チーム悲願の全種目完走を達成します。

●スポンサー

スズキ, THK, ビーエムシー, アルテアエンジニアリング, 日信工業, 住友ゴム, NTN, 和光ケミカル, ミスミグループ本社, エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン, AVO/MoTeC Japan, 小原歯車工業, 高橋工機, 昭和電工, キノクニエンタープライズ, テック長沢, イグス, オーゼットジャパン, キジマ, 協和工業, 住友電装, 大同工業, ハードロック工業, 深井製作所, NOK, マルセンクラフト, 小林製作所, サンライト, シンドー, サカモトエンジニアリング, エステーリンク, 石川インキ, 難波製作所, 砂山製作所, 渡辺工業, エヌ・エス・エス, キッツ, ニフコ, ユキワ精工,

新潟大学工学部創造工房, 新潟大学工学部附属工学力教育センター, 新潟大学全学同窓会, 新潟大学工学部同窓会



45 金沢大学 Kanazawa University

●メンバー

[CP] 都筑 渉, [FA] 榎本 啓士, [MBR] 小杉 幸樹, 品川 裕毅, 中川 凌, 横山 義和, 大岩 龍平, 澤本 佑樹, 示野 慈朋, 東直 哉, 下山 岳, 中川 光, 坂井 響, 吉田 育人, 米村 岳斗, 洪智 善, 野崎 正晃, 灰野 義隆

●車の特徴とチームの抱負

今年の車両コンセプトは「Quick & Light」です。昨年度に引き続き旋回性能と操作性の追求を図り、その一環として今年度は軽量化を徹底しました。磨き上げた車両・チームで総合9位以内を目指します。

●スポンサー

RS-R, アルテクノ, イグス, 宇野酸素, NTN, 江沼チエン製作所, エル・シー, 大野ゴム工業, 岡島パイプ製作所, 金沢工業会, 金沢大学技術支援センター, キノクニエンタープライズ, CAST, 協和工業, 草島ラジエーター工業所, コマツNTC, 小松鋼機, ジーエーティー, ジョブハッチ, スズキ, スズキ部品秋田, スリーエムジャパン, 積

水化成品工業, セントラルグラスファイバー, ソリッドワークス・ジャパン, DAIWE, ダウ加工, タカササーキット, 高松機械工業, 津田駒工業, THK, 東日製作所, 轟産業, ナカニシ, ナック・ケイ・エス, 日信工業, 日新レジン, 日本グラスファイバー工業, 日本精工, 日本特殊陶業, ハイレックスコーポレーション, 阪神ネジ, ヒガシヤマ, 富士シャフト, プレニー技研, PLOT, 細田塗料, 丸八, ミスミグループ本社, 森田工業, ヤマト, UACJ, ヨウホク, ロックファスター, ロックベイント, 和光ケミカル



46 鳥取大学 Tottori University

●メンバー

[CP] 眞壁 慶, [FA] 河村 直樹, [FA] 村松 隆司, [MBR] 山下 由稀, 丹羽 健斗, 鎌田 駿介, 厨子 翔伍, 竹中 聖貴, 鈴木 凜, 落合 勇太, 池之内 真, 上田 翔也, 大段 俊樹, 加藤 鎬保, 本勝 淳大, 久保田 悠介, 藤本 遥翔, 福田 晟也, 米村 明訓, 吉位 真公, 落合 勇太

●車の特徴とチームの抱負

昨年度車両TF-18の基本コンセプトを継承しつつ、今年は去年と比べて10kg以上の軽量化をすることで操作性の向上を目指しました。去年はエンデュランス完走を達成したため、今年こそは全動的種目完走を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 日立金属, 鳥取大学工学部ものづくり教育実践センター, Eyestec, CEF, joyful ecology!, Mersintel, MERSFORS, 和光ケミカル, arto Osaka, Radiance, Than9, RS☆R, NTN, SOLIDWORKS, 日信工業, MISUMI, THK, ヤマネ機材, 深井製作所, 日本発条, ウエストレーシングカーズ, F.C.C, イナバ自動車学

校, 関ものづくり研究所, monocolle, 協和工業, バイクメカサービス, 光生アルミニウム, TIRE SHOP T2, 賀川自動車工業, 鳥取砂丘 砂の美術館, スカイパーク津ノ井



47 同志社大学 *Doshisha University*

●メンバー

[CP] 今村宏彰, [FA] 小武内清貴, [MBR] 福生亜斗, 宇賀神友康, 古本駿, 水野涼, 吉田豊真, 岡田開登, 高橋宏太, 寺田圭吾, 藤本拓真, 南梨子, 山村琴音, 大門雅治, 松井智哉, 横溝剛, 瀬口大貴, 菊居龍之介, 和田薫, 小出峻

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両は動的性能向上を目指し設計・製作・走行を行っております。ジャンプアップ賞獲得を目指し、全力で大会に臨みます。

●スポンサー

川崎重工業株式会社, ヒロミツ製作所, エヌケーエヌ株式会社, キノクニ, NSWelding, ダイハツ工業株式会社, 株式会社 エスユーエス, 舞洲インフィニティサーキット, 株式会社 深井製作所, 神鋼ノース株式会社, 株式会社 プロト, ANDARE, RSタイチ, 住友電装株式会社, 日本ナショナルインスツルメンツ株式会社, T2, やまと興業株式会社, 株式会社 GSユアサ, 内山工業株式会社, 協和工業, 株式会社 ミスミ, 日鐵住金溶接工業株式会社, 富士精密, 株式会社堀場製作所, 有限会社 RAC, 株式会社EXEDY, 株式会社IDAJ, アールエスコンポー

ネット株式会社, DYNOMAN, 株式会社プロテクト, 大東ラジエーター工業所, 丸紅情報システムズ株式会社, 共和電業株式会社, 和光ケミカル, 日本発条株式会社, 神戸製鋼所, 鬼頭歯車 株式会社, 株式会社 江沼チエン製作所, 株式会社 日本VI-GRADE, Dassault Systèmes SolidWorks Corporation, みかのはら, サイバネットシステム株式会社, 日信工業株式会社, サンスター技研 株式会社, エイティーエス株式会社, NOK株式会社, NTN 株式会社, 株式会社KOSO, 市光工業株式会社, 株式会社 ザム・ジャパン, 協和精工, 武蔵工業株式会社, MathWorks Japan, アルテアエンジニアリング株式会社, コトラ株式会社



49 立命館大学 *Ritsumeikan University*

●メンバー

[CP] 橋本一樹, [FA] 渡辺圭子, [FA] 上芝生裕, [FA] 乾広久, [MBR] 糸井晴哉, 西幸一郎, 杉本楓葉, 野口航平, 澤本開斗, 山内剛志, 山路恭平

●車の特徴とチームの抱負

今年度は昨年度のマシンをベースに一部を改良し、実走行を重ねセッティングを進めました。総合10位以内を目指し全力を尽くします。

●スポンサー

Allair, APJ, ATS, AUTO CRAFT, AVO/MoTeC Japan, BEAR inc., CAST, Cradle, GANSAN, Henkel, HILEX Corporation, HOPEC, IDAJ, IPG Automotive, MISUMI, MOTUL, NKN, Nifco, NOK, ofa, PLUSμ, SKデザイン, Solize Products, SPAL Automotive, TOP LINE, 新家工業, 石原ラジエーター, エヌ・エム・ビー, オカノプラスト, 川崎重工, キノクニエンタープライズ, 神戸製鋼所, サンキン, サンコウ鋼業, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 大建工業, 日信工業, ニチリン, 日本精工, ねじの山崎, 能勢鋼材, バイク工房岩城, 松本金属, 原

製作所, 梅村技研, 深井製作所, ミスミ, タカタ, タニダ, 日本発条, 平和発條, アクセル, サンゲン, ミヤキ, CAR工房YAMANAKA



50 Institut Teknologi Sepuluh Nopember

●メンバー

[CP] Sidik Pramono, [FA] Witantyo, [FA] Atok Setiyawan, [MBR] Ade Djieneka Pratama, Mochammad Hafis Habibi, Hafidh Aldiza Arifin, Andreas Tommy Irawan, Bakdam Khoiril Hamza, Muhammad Saiful Rizal, Muh Indjra Dj, Ilham Maulana Ash Shiddieqy, Azhar Rahmansyah Meinardhi, Iman Azizi, Sapto Wahyu Sudrajat, Andi Kurniawan Firdaus, Vito Hanif Addinuri, Farhan Ula Aditya, Fitri Annisaaulkarimah, Rafidah Farah Dani, Ishlah Muhammad Rahman

●車の特徴とチームの抱負

Sapuangan Speed 7 is the 7th generation of ITS Team Sapuangan formula car. By evaluating and optimizing the previous generation, Sapuangan Speed 7 is improved for a better performance. It is designed with more

compact and lighter chassis dimension, thoroughly car's load, improved stability, improved engine's performance, and the existence of display logger data to obtain more accuracy data in the development.

●スポンサー

INDOSPRING, GDL, SURVEYOR, PTPN XI, IKOMA, ADHI, INKA, SUA, PTPN X, BNI, LAKSANA, MPM DISTRIBUTOR, ISTW, IKA ITS



51 摂南大学 *Setsuman University*

●メンバー

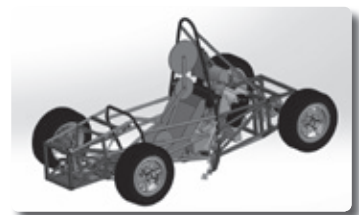
[CP] 松賀裕大, [FA] 堀江昌朗, [FA] 桑田寿基, [FA] 下元一輝, [FA] 小田靖久, [MBR] 小川啓輔, 山中祥太, 土屋宇, 水野慎悟, 西澤輝敏, 垣内拓真, 杉原匡輔, 佐野遥輝, 式見昌樹, 近藤大, 市村駿弥, 裴永鎬

●車の特徴とチームの抱負

昨年度は「運転のしやすさ」をコンセプトに掲げ軽量化や操作性の向上を行い、全種目完走を達成することができました。そのため今年度からは全完走させることを前提にマシン性能の向上を目指していきます。

●スポンサー

スズキ, 摂南大学後援会, VSN, ゼネラルエンジニアリング, NTN, エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン, 日信工業, デンソー, レコサポート, 東洋電装, 富士精密, 深井製作所, ザムジャパン, 豊栄モーターズ, 小松行永商店, アルキャンハンズ, プロト, レイズ, ジェビーエム, 和光ケミカル, キノクニエンタープライズ, アルテアエンジニアリング, 日本発条, アネブル



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

52

日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University

●メンバー

[CP] 安齊郁瑛, [FA] 星野倫彦, [MBR] 入江奏流,岡本将也,島本亮雅,向後太基,石橋将登,石井悠太,大湊健太,大塚勇人,落合遼河,岡村悠司,葦和直弥,片寄湧太,大和田秀真,湯浅一輝,菅原智哉,宇賀神大成,田中輝

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンNU-CST017は、「speedy」をコンセプトに掲げ、「旋回性能」「加速性能」「レスポンス」の向上を図りました。またその他に車重の軽量化を図り、速く走る為にするべき事を施しました。進化したマシンと共に、総合順位20位以上及びジャンプアップ賞を獲得しにいけます。

●スポンサー

ヤマハ発動機,アール産業牧,エス・ビー・エス・アンプラコ,キノクニエンタープライズ,小原歯車工業,三協ラジエーター,重松製作所,城南キー,スズキ,ソリッドワークス・ジャパン,太陽石油,大同工業,デッキ,東洋電装,ナガセケムテックス,日本大学理工学部機械工学科,日本発条,深井製作所,プラスミュー,プロト,エヌ・エム・ビー販売,レーシングサービスワタナベ,和光ケミカル,F.C.C.,NOK,NTTデータエンジニアリングシステムズ,NTN,SEVENTH NIGHT,ミスミ,エヌユーエス,協和工業,コトラ



53

久留米工業大学 Kurume Institute of Technology

●メンバー

[CP] 宮本大毅, [FA] 東大輔, [FA] 梶山項羽市, [MBR] 久目形祐介,奥田剛史,田中潔,高橋慶多,吉永圭吾,大野拓真,米倉愛人,伊藤考史,木原章博,横尾裕之,佐々木淳矢,入江文洋,大庭有真

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両F119はF118をベースとし低重心化、軽量化等昨年度マシンの熟成を行いつつ新要素へも取り組みました。完走はもちろんの事、車両熟成における昨年度以上の走り、また、動的のみではなく静的審査への取り組み強化することで順位向上を目指します。

●スポンサー

スズキ,エッチ・ケー・エス,ソリッドワークス,NTN,ヤスナガ,B-FACTORY,和光ケミカル,ホンダテクノフォート,東京R&D,高木鉄工所,津留崎製作所,ミスミ,FCC,測上溶接,VSN,住友電装,Ins-R,深井製作所,RS watanabe,ゼネラルエンジニアリング,西島板金工業,上津レンタカー,NIICO,キノクニエンタープライズ,ミヤコ自動車,GOODRIDGE,KYOWA,旅館たみ屋,DENSO,東日製作所,センサータテクノロジーズジャパン,アウトソーシングテクノロジ,MathWorks,田原ボデー製作所,久留米工業大学,久留米工業大学同窓会,久留米工業大学のつくりセンター,久留米工業大学,久留米工業大学同窓生御一同様,久留米工業大学教職員の皆様,久留米工業大学インテリジェントモビリティ研究所,久留米工業大学加工プロジェクト



54

静岡工科自動車大学校 Shizuoka Professional College Of Automobile Technology

●メンバー

[CP] 渡辺匠海, [FA] 石田和人, [FA] 三井久常, [MBR] 嶋佐侑也,渡邊晴貴,杉本拓海,宮本晶成,村松優作,山田大稀,中束駿文,小池悠斗,綿引蒼一郎,橋ヶ谷康平,鈴木大誉,西村陽生

●車の特徴とチームの抱負

今年度は車両コンセプトである「速さの追求」を達成する為にフルモデルチェンジを行いました。また少ない人数で最大限の成果を得る為にチームマネジメントを一押し、マシン開発に取り組んできました。チームの総合力を引き上げる事で、悲願の全種目完走とジャンプアップ賞の獲得を目指します。

●スポンサー

静岡工科自動車大学校後援会,スズキ,SolidWorks,エフティテクノ,THK,HKS,サンキン,プレスト,日本発条,デイトナ,エフ・シー・シー,キャタラー,中央発明研究所,鈴与オートテックサービス,静岡日野自動車,日産プリンス静岡販売,浜松日産自動車株式会社,静岡トヨタ自動車,ダンクプロモーション,ネットトヨタ静岡,静岡小松フォークリフト,静岡トヨペット,トヨタカローラ静岡,東海三菱自動車販売,悠・創建,小野寺自動車工業,ヒノデトヨタカローラ東海,協和工業,サウスコ・ジャパン,Elegant Sport Azur,ニフコ,深井製作所,キノシタ,草薙オートサービス,スズキ自販浜松,軽金属通信ある社,MYコミュニケーションズ,東海自動車工業,フジオイル,駿遠三菱自動車販売,小柳津商事,サーカースジャパン,ダイハツ沼津販売,いすゞ自動車中部静岡支社,静岡スバル自動車,Honda Cars 静岡西,Honda Cars 浜松,Honda Cars 伊東南,Honda Cars 藤枝東,Honda Cars 駿河,Honda Cars 島田西,Honda Cars 富士東,富士精密,トヨタ部品静岡共販,サカイオーベックス,様葉鉄工所,NTN,協和工業株式会社,鈴木直弥



55

Sebelas Maret University

●メンバー

[CP] Ardhan Prasetyo Nugroho, [FA] Ubaidillah, [FA] Agung Tri Wijayanta, [MBR] Benedicta Amadea Karina Dewi,Anis Tri Hayati,Dzaky Roja Pratama,Misbah Alfi Yusrian,Bernardus Plasenta Previo Caesar,Bakasrian Fericoari,Dinda Clara Sabella,Ma'ruf Yanuar Effendi,Ihmad Fadhillah Utama,Alif Sholihin,Mohammad Khoiril Huda,Faiz Haidar Ahmad Alwan,Hanif Setya Hanandita,Palgunadi Sastra,Kristophorus Satya Erlangga Yeriantoro,Hashfi Hazimi

●車の特徴とチームの抱負

More downforce on airfoil and control the flow to be less disadvantages, lighter body, more ergonomic seat to make driver's view perpendicular with head restrain, better optimization of A-Arm to degrease weight, less

clearance on steering, less bumpsteer, lighter chassis with reducing the weld joint, improved design on plenum to minimalized disadvantages of the air flow, improved exhaust system, and LSD placed at the center to distribute the same mass

●スポンサー

Bies,Trelleborg,Akebono,ISTW,Prorock,ADD Suspension,Ord Exhaust,Garage 57,Hoosier,Solid work,Trelleborg,Keizer,Ristekdikiti,Drivetech



56 東京大学 The University of Tokyo

●メンバー

[CP] 小池亮, [FA] 草加浩平, [MBR] 前田利基, 上田朝陽, 岡崎大地, 村上泰仁, 重森壮平, 松本諒, 小藤由太郎, 東駿吾, 吉清泰生, 北原丈裕, 五十子周太, 本多詩聞, 今井那雄行, 海老原晃, 井上京, 宇井象一, 横山悠人, 鎌田将, 湯本美貴, 渡邊真隆, 松岡泰雅, 細見優騎, 鈴木裕, 清水瞭

●車の特徴とチームの抱負

コンセプトEasy Driveを継続し、電子制御CVTにサイドエンジンレイアウトで挑みます。今年は過給化にも取り組みました。チーム再発足後初の完走を目標に、上位を争うチーム体制の土台を作ります。

●スポンサー

スズキ, 水戸工業, AVO/MoTeC Japan, NTN, オートデスク, OZ, 関東工業自動車学校, キノクニエンタープライズ, ジュニアモーターパーククイック羽生, コトラ, 小松製作所, サウスコ・ジャパン, 三協ラジエーター, 住友電装, ソダ工業, デュボン・スタイロ, ティン, デンソー, 東鋼, 日信工業, 東京大学生産技術研究所変形加工研究室, フジクラ, 豊国学園, ミスミグループ本社, ワークスベル

NO DATA

57 九州大学 Kyushu University

●メンバー

[CP] 和知隼人, [FA] 森上修, [FA] 川良達也, [MBR] 吉本敦貴, 塚元未来, 武藤玲於奈, 大川雄大, 池見優志, 村上賢悟

●車の特徴とチームの抱負

燃料噴射装置に数少ないキャブレターを採用している点。チーム史上初の全種目完走を目指します。

●スポンサー

旭化成建材, アドヴィックス, アルテアエンジニアリング, イグス, ウエストレーシングカーズ, エフ・シー・シー, 協永産業, 協和工業, ケーヒン, 建築マニア, コトラ, 小原歯車工業, 重松製作所, 住友コム工業, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, テクノイル・ジャパンK.K., デンソー, 日信工業, 日本精工, 日本発条, 深井製作所, 本田技研工業, ミスミ, モビテック, 吉田酸素, ラ・ストラダー販売, ATA! Design, D-GARAGE, FRP-KOUDA, INTREPID JAPAN, NOK, NTN, THK, UACJ, WORKS BELL



58 群馬大学 Gunma University

●メンバー

[CP] 磯部いのみ, [FA] 石間経章, [MBR] 原拓海, 大場雄介, 武智正登, 榎本拓哉

●車の特徴とチームの抱負

弊チームは「高い旋回性能」「高い信頼性」「ドライバーの運転のしやすさ」の3つの設計指針の基、車両を製作しました。チーム設立2年目である本年度は、大会においてジャンプアップ賞を獲得します。

●スポンサー

山田製作所, 本田技研工業, 三立応用化工, ショーダクリイティブ, 矢島工業, 蔵前産業, SCT, 小倉クラッチ, ミツバ, マイスターショップティージーエス, 正田製作所, 八木工業, ジャオス, ウィング, 東亜工業, NTN, 日信工業, ティームシー, カローラ高崎, QUUCK羽生, 加藤鉄工, ソリッドワークス・ジャパン, エイチワン, コバヤシ, オートサービスcreative, スマイルカーズ, 高崎商科大学付属高等学校, 秘密基地設計, インターゾーン, キノクニ, インダスパレー, TOAレーシング (敬称略), 他10名個人スポンサー様



59 広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology

●メンバー

[CP] 広井笙太, [FA] 中根久典, [FA] 吉田憲司, [MBR] 廣田将一, 長野世於, 馬屋原歩輝, 小野卓哉, 近藤正和, 落窪楓, 月下祐樹, 成相貴裕, 布野新, 三崎柚希, 今浦大輔, 貴志勇樹, 岩田龍一, 蟬川和磨

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両は昨年度同様にスキッドパッドに注力し設計を行いました。また全種目完走を達成する為に昨年度以上に走行試験を行ってきました。今年こそは全種目完走を達成する為チーム一丸となり頑張ります！

●スポンサー

広島工業大学, イグス, 上全物, FCデザイン, NTN, 川崎重工業, スポーツランドTAMADA, ソリッドワークスジャパン, ミスミ, VSN, やまびこ, アベベ食堂



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

61 近畿大学 Kindai University

●メンバー

[CP] 中原壮汰, [FA] 梶原伸治, [MBR] 岡本匡弘, 武部元樹, 渡邊陽彩, 福本太一, 福田航大, 門奈凜, 福田悠人, 中島健吾, 辻和希, 金川壘, 丸岡功季

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両は、車両コンセプトを「車両の原点回帰」とし、基本的な性能の向上に取り組みました。これにより、今年度では順調な審査通過と全種目完走を目指します。

●スポンサー

F.C.C, NTN, SUS, VSN, 礎, 川崎重工業, キノクニエンタープライズ, 近藤科学, 坂元鋼材, 砂川製作所, 住友電装, 関口カーズ, ソリッドワークス・ジャパン, 大東コーポレーション, 大東ラジエータ, 超精密大明, 東洋電装, 日信工業, ニフコ, 日ポリ化工, 深井製作所, ミスミ, 三宅工業, 名阪スポーツランド, 和光ケミカル



62 富山大学 University of Toyama

●メンバー

[CP] 寺本光正, [FA] 会田哲夫, [MBR] 上岸達矢, 田村凌大, 上田平雄大, 岡田祐哉, 野口宙, 大湊爽生, 蒲弘大, 佐古大誌, 東野哲也, 保浦康晴, 大久保泰策, 北裕志, 保坂信太郎, 杉山尚椰, 山崎敦志, 河原友介, 久保樹生, 森優詞

●車の特徴とチームの抱負

●スポンサー

NO DATA

63 大阪府立大学 Osaka Prefecture University

●メンバー

[CP] 藤本正直, [FA] 瀬川大資, [FA] 片岡秀文, [MBR] 畠中康成, 長尾優斗, 山口拓哉, 宇根直杜, 卜部響介, 菊地美妃, 鈴木温也, 袴田陽介

●車の特徴とチームの抱負

大阪府立大学フォーミュラ参戦プロジェクトは2017年に発足いたしました。2度目の車両持ち込みとなる本大会では車検通過・動的種目完走を目指します。

●スポンサー

川崎重工, 三星製作所, 新城製作所, 田中ステンレス, 住吉鋼管, タマックス, ソダ工業, エクセディ, ウェルドツール, エフ・シーシー, ソリッドワークスジャパン, MathWorks, ソフトウェアクレイドル, 日本ヴィアイクレイド, アルテアエンジニアリング, NTN, 日信工業, 日本発条, 武藤工業, 協和工業, エヌ・エム・ビー, 富士精密, タカタ, タウ化工, ウエストレーシングカーズ, 住友電装, プロト, 深井製作所, ザム・ジャパン, オーゼットジャパン, AVON TYRES, ミスミ, イグス, プラスミュー, チェリオ



65 明星大学 Meisei University

●メンバー

[CP] 小屋松さくら, [FA] 川原万人, [MBR] 根岸知輝

●車の特徴とチームの抱負

動的審査全種目完走を目指しています。車両の特徴は、前後の横置きモノショックサスペンションです。Aモノショックの採用により上下動とロールの制御を分離しています。あわせて部品点数の削減と軽量化も実現しています。エンジンは、昨年度からヤマハ社のMT-07用エンジン（二気筒）を使用しています。

●スポンサー

アルテクノ, イグス, ウエストレーシングカーズ, 岡村タイヤ, 小島製作所, 坂西精機, 佐々木工業, ジーテック, エスユーエス, ダッソーシステムズ, ドライブバスタード府中2りんかん, 深井製作所, プレニー技研, ヤマハ発動機, F.C.C, NTN, RAC, RAYS, VSN, YOKOHAMA, 明星大学育星会, 明星大学同窓会, 明星大学理工学部総合理工学科機械工学系



66 工学院大学 Kogakuin University

●メンバー

[CP] 原田千嘉, [FA] 山本崇史, [MBR] 大内駿也, 川俣蒼, 早川雄大, 野尻光, 柏谷駿, 木村竜輔, 宮田知弥, 安部昂, 大野響己, 清水葵, 鶴見和也, 井上七海, 内山洋人, 深山馨, 齊藤陸, 佐藤優樹, 小俣光志, 辻智駿, 島村凌平

●車の特徴とチームの抱負

今年度から10インチホイールを採用しました。弊チームで初の試みとなっています。また、マシンコンセプトは「コーナリング性能の追求」です。車両コンセプト達成のためにメンバー全員が一所懸命製作設計を行いました。チーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします。

●スポンサー

本田技研工業, NTN, 石川工業, 五十嵐ブライヤー, IDAJ, 富士WPC, 三共ラジエーター, キジマ, NOKクリエイター, KITAKO, ステンレス商事, ミノインターナショナル, ニコルレーシング・ジャパン, 野島エンジニアリング, テクノイル・ジャポン, トップラインプロダクト, 田中工業, HILLTOP, エイティエス, ケー・ヘン, 江沼チエン製作所, 佐々木工業, 富士精密, エフ・シー・シー, ヘンケル・ジャパン, THK, プロテクト, 日信工業, NTN, オートスタッフ, アネブル, スリーエムジャパン, プロト, 呉工業, ディクセル, HKS, 日本発条, 協永産業, エステリック, 木山製作所, タカタ, 深井製作所, エルピーホールディングス, スポーツランド山梨, ソーシオ, カナエ, 東京アールアンドデー, 東京アールアンドデーコンポジット工業, ジーエイチクラフト, 鶴屋バイテック, キャスト, スリーボンドホールディングス, JSP, DICマテリアル, 日信レジン, 佐嶋, 日本ヴァイアイグレイド, インスピレード, 大矢化学工業, 神戸製鋼所, 特殊技研, 国際電通情報サービス, ハイレックスコーポレーション, 東洋電装, 光明理化学工業, 高池, タカエンジニアリング, スリーピークス技研, 兼古製作所, 古寺製作所, 松井精密工業, マルト長谷川工作所, 須佐製作所, トップ工業, 共和電業, 小林製作所, 東京ハンマーキャスター, 象印チエンブロック, VSN, エス・ビー・エスアンブラコ, レオ産業, 富士重工業, 東和テック, フォモ・ジャパン, BOSCH, ファロー・ジャパン, ANAテック, AVO MoTeC, 協和工業, ミスミ, 工学院大学機械系同窓会, 住友電装



67 崇城大学 Sojo University

●メンバー

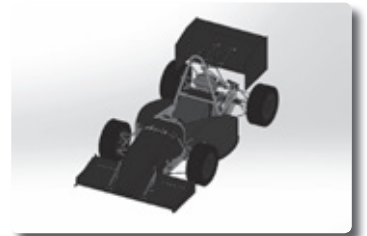
[CP] 高橋伸乃丞, [FA] 生田幸徳, [MBR] 中山博斗, 井上豪也, 角田光, 東慎之介, 和田直大, 岩本三豊, 戴志鴻, 山本弦, 田中宏樹, 梅田克紀

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両のコンセプトは「加速性能と信頼性の向上」とし、軽量化や剛性率の向上を図りました。昨年度の問題を改善し、全種目完走、上位入賞を目指します。

●スポンサー

本田技研工業, 池松機工, ソリッドワークスジャパン, VSN, 協和工業, エフ・シー・シー, NTN, 不二ライトメタル, 戸畑製作所, タイムズカーレンタル, 熊本アイ・ビー産業, ホンダテクノフォート, 深井製作所, セネラルエンジニアリング, キノクニエンタープライズ, サイバネットシステム, 日信工業, 石原ラジエーター工業所, 住友電装, ミスミ, ウエストレーシングカーズ



68 千葉工業大学 Chiba Institute of Technology

●メンバー

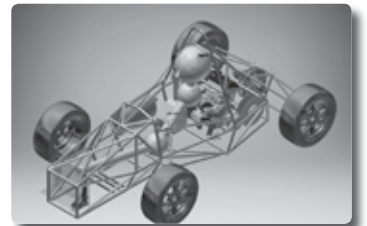
[CP] 和田憲尚, [FA] 村越茂, [MBR] 中山真之, 矢澤知朗, 毛塚涼太, 和田衛, 須賀明英, 中久木秀冨, 栗山健汰, 安藤嵩広, 篠本亮太, 筒井優貴, 片桐直樹, 佐川広樹, 西村友紀, 岡野大空, 坂本恭太郎, 高橋佑太, 後藤誉幸, 植根裕大, 厚地穂乃佳, 海東達也, 高井優磨

●車の特徴とチームの抱負

弊チームはチーム発足時からの活動目標に「限らない挑戦」を挙げています。これは、これまでの経験をもとに自分たちの力を絶えず伸ばしていくことを示しています。今年度は、チームの第一目標である動的全種目完走を目標に精進していきます。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 谷津商事, 京業バンド, NTN, TET'S RV CENTER, VSN, エフ・シー・シー, ビーエムシー, 深井製作所, 細川ラジエーター工業所, アルイーシー, ノザワホンダ, 住友電装, ジャトコ, ジャトコエンジニアリング, ソフトウェアクレイドル, 日信工業, アルテアエンジニアリング, セネラルエンジニアリング, アシックスジャパン, オートランドテクノ, 鶴屋バイテック, キノクニエンタープライズ, 戸澤工業, トーテックアメニティ, ソーワエンジニアリング, 富士精密, オートデスク, 千葉工業大学, 千葉工業大学工作センター, 千葉工業大学入試広報課, フジクラ, パーソルR&D



69 広島大学 Hiroshima University

●メンバー

[CP] 山本豊, [FA] 西田恵哉, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

今年度マシンは昨年マシンをベースとして製作してきました。部員がとても少ないですが、その中でできることを挑戦してきました。今大会は4年ぶりとなる動的種目完走を達成し、30位以内を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, オーエイプロト, HKS, 奥平パイプ興業, 日立金属, エフ・シー・シー, NTN, IDAJ, ソリッドワークスジャパン, ミスミ, 日本精工, 石原ラジエーター, THK, UACJ, Motul, 住友電装, イグス, キノクニエンタープライズ, 江沼チエン製作所, 津田製作所, アルテアエンジニアリング, 二上工作所, 小原歯車工業, Defi, 丸三自動車商会, 三好キカイ, レーシングサービスワタナベ



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

70 Hanyang University

●メンバー

[CP] JINHO KIM, [FA] GiHyeong Lee, [MBR] HUIGEON KONG, YENA CHOI, DAEHYEON KIM, HYUNJUNG CHOI, YEONJAE KOH, SERYEON SIM, CHANILL LEE, HYEONJU GWAK, SANGJUN JANG, HYESOO KIM, SUNGTAK HONG, JUNGHYUN RYU, EUNJI KIM, WONJUN KIM, DONGHYUN KIM, YELIN JO, SEUNGMIN RYU, JEWI YEON, JIHUN KANG, SANGSEOK BAE, MINGI JANG, YUSIN JEONG, HUIRAK LEE, GIDO KIM, JIWON PARK

●車の特徴とチームの抱負

Drive Together for Future, baqu4! As "future thinkers", the final destination of baqu4 is to be the future of the engineering industry. By "well-grounded engineering", RBF-19 will be the Revolution of baqu4 Formula. Each part

was completed with a systematic organizational structure. With our cooperation and technology, we will be the "incredible rising star" of FSAE!

●スポンサー

Myunghwa Co.,Ltd., ENCOD Lab., Nord-Lock Korea Co.,Ltd., BorgWarner Inc., Korea R&D Co., Ltd., KEUNYUNG Industrial., LTD., Keyang Electric Machinery Co.,Ltd., MDL Lab., CHAMP Lab., Hanyang ERICA LINC+, DM motors, Race Spec., Aurora Bearing, Altair Engineering, Inc., ANSYS, Inc., RecurDyn, MoTeC Pty Ltd., Ferodo®, PETRONAS



73 National Chiao Tung University

●メンバー

[CP] SHAO-YU, WANG, [FA] CHING-YAO, CHEN, [MBR] YU-CHENG, WANG, TA-YU, HUANG, ZHENG-XUN, LIU, SHIH-JUI, CHIU, Wei-Han, Lee, YI-TING, KE, Ying-Ming, Su, REN-JIE, PAN, LUN-LIANG, LIN, YI-YEN, LIU, XIN-YU, HUANG, PEI-WEN, YEH

●車の特徴とチームの抱負

●スポンサー

NO DATA

74 Kookmin University

●メンバー

[CP] Seo Ju Hyun, [FA] Park Jae Kwan, [MBR] Jinmyoung Kim, Seo DongHwa, Kwon YoungBin, Moon JeongAn, Seo DaYeon, Lee MinCheol, Lim JongMin, Jang MinSeok, Jeon ChangWook, Lee GangJin, Oh YunJai, Park Sunghoon, Kyu Min Chung

●車の特徴とチームの抱負

Based on data accumulated for 16 years, KOOKMIN RACING designed to bring driver's driving skill and vehicle performance in harmony, Considering these goals and characteristics of the FSAE competition, we tried to make vehicles more agile. In this 2019, we will challenge the semi-monocoque for the first time through the monocoque. we try to make harder and light-weight body.

●スポンサー

HANKOOK CARBON, GSAEK, ANSYS, JUNBL, DENT DOCTOR, REALIZE INC, RICARDO, KIAPI, FMK KOREA, MOONHWA TITAN ART, SHELL KOREA, WENS CORNING, INNOSIMULATION, JACKSON SPEEDWAY, ETAS, JEIS, SOLIDWORKS, UN MANNED SOLUTION, KUL, KARTLAND



75 Harbin Institute of Technology at Weihai

●メンバー

[CP] Qinchao Liu, [FA] Jianfeng Wang, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

HRT was established in November 2009, and it is one of the national teams to participate in the first event of FSC. Based on domestic but look international, and four stations in FSAEJ and one in FSG showing the world Chinese FSAE style. Besides HRT is also the pioneer of the monocoque, suspension.

●スポンサー

Glowsay, SNBC, Senata Technologies, igus, Changlu, Tuoyu, ANSYS, Jinan Titan Titanium Products Company, Arrowy Racing, IPG, Continental, Aecospace Mitsubishi, CTG



76 National Taipei University of Technology

●メンバー

[CP] LI-WEI, LI, [FA] Chih-Keng Chen, [MBR] Cheng-Yu Yu, Cheng-Yang Liu, Po-Yuan Cheng, Zong-Xuan Wu, Deng-Hong Lee, I-Shen Ho, Po-Hsuan Chen, Yuan-Xu Peng, Li-Hsin Chen, Yu-Han Hsiao, Pai-Chen Chen, Cheng-Yu Chang, Bing-Bing Shiu, Wei Huang, Fan-Juliao Liao, Ting Tong, Po-Cheng Chang, Tzu-Yi Chuang, Che-Yu Lin, Li-Huan Hsu, Szu-Chi Huang, Shih-Hao Wu, Jing-Chih Huang, I-Cheng Lu, Li-Hng Tan, Ssu-Sheng Tsai, Yang-Chu Hong

●車の特徴とチームの抱負

This year we set up a two-year plan. We manufacture two cars. One is TTR4 ICV, The other is TTR4 EV in this year JSAE. In TTR4 ICV, We tried manufacturing machines aiming for ultimate durability that we

couldn't achieve last year. We are aiming for more than 20th overall as a whole more than last year!

●スポンサー

KCMG, Sanyang, Mouser Electronics, Motul, t-global, Hotaimotor, Formosa Taffeta, Epolab Chemical Industries, Unilli, Yamaha, RES, WHETRON, NSK, ASAZAWA INDUSTRIAL, Triple S, Racingbros, Fit Shox, RockShox, FCC, AXALTA, RAEMCO, Chroma, trionco, I GUS, KYT, Golden Bloom, FOUNDER LAND, CHELIC, Yohshang Precision Machinery, BOSCH, GAR MIN, KOSO, zircotec, Bender, Sensata, Solidworks, Cybernet



77 三重大学 Mie University

●メンバー

[CP] 坂口隆星, [FA] 池浦良淳, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

●スポンサー

NO DATA

79 首都大学東京 Tokyo Metropolitan University

●メンバー

[CP] 鷺塚裕貴, [FA] 玉置元, [FA] 吉村卓也, [FA] 小林訓史, [FA] 松枝剛広, [MBR] 湯本良輔, 松下風知, 関所優羽, 岩本深吾, 出口隼大, 三澤明莉, 持木浩太, 久万田峻, 久世海童, 井上佳奈, 恩田樹

●車の特徴とチームの抱負

昨年度は車両開発が遅れてしまい残念ながら大会辞退という形となりました。昨年度の悔しい思いを胸に今期の大会は、チームメンバー一同が密に連携することで満足のいく車両を製作し、大会に挑みたいのです。

●スポンサー

本田技研工業株式会社様, ダッソー・システム株式会社様, 株式会社エフ・シー・シー様, 株式会社レイズ様, 日本精工株式会社様, 株式会社ミスミグループ本社様, ソリッドワークス・ジャパン株式会社様, 株式会社ピーエムシー様, 住友電装株式会社様, 株式会社トヨタカスタマイジングディベロップメント様, NTN株式会社様,

株式会社深井製作所様, 株式会社ワークスベル様, 協和工業株式会社様, 株式会社プロト様, 株式会社富士精密様, 日本ドライケミカル株式会社様, 国美コマース株式会社様, 大河内金属株式会社様, 株式会社キノクニエンタープライズ様, 富士電機機器制御株式会社様, 株式会社配線コム様, 日信工業株式会社, 株式会社和光ケミカル様, 株式会社ファーストモルディング様, THK株式会社様, 株式会社エイチ・イー・ティー様, HONDA REAM八王子店様, Linkman株式会社様, 株式会社八木製作所様, 株式会社ハイ・ブリッチ様, 株式会社ナップス様, 協和産業株式会社様, 株式会社ハイレックスコーポレーション様, 株式会社アネブル様, 有限会社キツネの卵様, NOK株式会社様



80 Hoseo University

●メンバー

[CP] MinseoCHA, [FA] Yeung woo kim, [MBR] Changkyu Lee, Lee Sang Jin, Ilung NA, kwontae Jeong, Yeongmin KIM, minji Sung, Youngsik OH, Donghwan OH, TaeHyun Kim, Hyun Woo Lim, gim wantae

●車の特徴とチームの抱負

●スポンサー

NO DATA

参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E1 名古屋大学 Nagoya University

●メンバー

[CP] 豊島義弘, [FA] 鈴木達也, [MBR] 中尾海斗, 安田大毅, 小澤舜ノ介, 竹村亮太, 澤田航, 池口祥太, 曾我剛, 上野直紀, 小杉直, 佐藤孝樹, 加藤剛史, 伊藤佑太, 辻温乃, 定行滉司, 小川海渡, 塚本有美, 竹内裕也, 前田悠花, 西田龍我, 赤尾拓海, 藤井海斗, 坂田直規, 入山陽仁, 高垣蓮

●車の特徴とチームの抱負

4年計画に沿ってパワーユニットを変更し4輪駆動の車両“FEM-16”を開発しました。独自の4輪独立制御を開発し、アクセラレーション・スキッドパッド・オートクロス1位、そしてEV初の総合優勝を目指します。

●スポンサー

アイエムイー、アイシンエィダブリュ、アイシン精機、JPG Automotive、アークアクティブ、旭化成建材、アドウィックス、アンシスジャパン、旭千代田工業、アネスト岩田、イグス、石野サーキット、石原ラジエター、ISOWA、岩倉溶接工業所、AMK、エィダブリュ、エィジニアリング、エィスモールドNTN、オーゼットジャパン、大山エンジニアリング、岡島パイプ製作所、依友国際特許事務所、清部製作所、北川工業、岐阜ギヤ工業、CAST、キョリオ技術、キョウセイ交通大学、協和工業、共和電業、兵工業、興研、幸田サーキットYRP、桐山、神戸製鋼所、コックピットツール、ジーシーアイ、SHORAIジャパン、スワング住友電装、スリーボンド、ゼットエィジャパン、センサー・テクノロジー・ロジクスジャパン、ソリッドワークスジャパン、第一測器製作所、大仏、大豊工業、大田、太陽ケルテック、dSPACE、ジャパン、テクウェル、テクノソリューションズ、デンソー、東日製作所、トップラインプロダクト、トヨタカスタマイジング&ディベロップメント、中澤録造所、日産自動車、日信工業、日東工業、日本住友電子製造、日本ヴァイアグレイド、日本軽金属、日本紙、日本電機工業会、日本トムソン、日本パーカラインジヤ、日本発条、ネクスト、ハイレックスコーポレーション、ひびき精機、ヒロセ電機、フジキン、富士精密、藤田電子工業、藤本サービス、ブリッド古藤工業、ブレイヴオート、プロテクト、プロトラッド、ベンケルジャパン、ボーイング、ポリプラスチックス、Hongkong Mingda Industrial、本田司法書士事務所、本ワイトハウス、マキタ、Mathworks、丸紅情報システムズ、丸和機械、ミスミ、ミノインターナショナル、武蔵工業、メイドレー、メンター・グラフィックスジャパン、矢崎総業、山下製作所、ヤマハモーターパワープロダクツ、ユニクラフト、RAMPF Group Japan、ローランドディーゼル、レゾニックジャパン、ワールドワーク、くまもと建設、トヨタ自動車大会、デンソー東山会、アイシンエィダブリュ名大会、豊田中央研究所、名古屋大学学生会、トヨタ紡織いびき会



E2 Tongji University

●メンバー

[CP] Yu Yongshang, [FA] Zhang Tong, [FA] Song Ke, [MBR] Yu Yongshang, Gong Yuqi, Guo Zixin, Cai Zhen, Chan Houcheong, Chen Zhe, Hu Yulun, Huang Wenhao, Kang Xin, Li Yuanyuan, Li Yueling, Li Ziwen, Liu Dayu, Liu Fan, Peng Yiming, Qiao Hanping, Wang Jiajun, Wang Shiwen, Wang Wei, Wang Xiusen, Gu Mingkang, Xiang Yue, Yang Shixuan, Yu Shibo, Zhang Bo, Zhang Lu, Zhao Xiaolong, Zhou Xiao, Zhou Xingyu, Wang Xukang, Xu Linfeng

●車の特徴とチームの抱負

DRe19 is our third 4WD car with full monocoque. We are equipped with aero package, as well as carbon suspension. And for torque vectoring, traction control, we developed our own algorithm to improve

the performance of DRe19. DIAN Racing is a passionate Formula Student Electric team from Tongji University. Established in March 2013, the consists of 100 members.

●スポンサー

V W China, SINO CHEM, MEGLE C, Chroma, MEKO PROTOTYPING, SCHAEFFLER, Huahai Technologies, LEMO, Evonik China, MOUSER



E3 豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology

●メンバー

[CP] 山畑拓海, [FA] 柳田秀記, [FA] 安井利明, [FA] 阪口龍彦, [FA] 穂積直裕, [MBR] 笹山高央, 千葉正悟, 増田雅士, 望月雄斗, 森山創一郎, 上田祐大, 木村憲人, 深山達也, 弥藤成熙, 亀谷長諒, 三木祐功, 田中伶青, 服部光治, 早川裕人, 石塚誠也, 木村太一, 佐藤弘樹, 福原俊昭, 屋代響, ボルドバトル バトバトル, 小倉悠里, 片浦雄大, 田中翔馬, 土本力, 竹内千加良, 塚本深太, 馬場晃志郎, 菊池真生, 宮田航英, 江原諒, 中村武明, 藤井秀峰, 中田裕貴, 豊島秀典, 宇野光星, 西上貴斗, 西島岳人, 石川絃

●車の特徴とチームの抱負

今年度車輛“TG14e”は「動的審査500点×総合10位」を目標に掲げました。コンセプト「Light Weight EVolution」を実現し、昨年同様、軽量な車輛で更なる高みを目指します。

●スポンサー

武蔵精密工業、三菱ケミカル、太平洋精工、メイドレー、CDS、アイセロ、カーメイト、旭メタルズ、ローム浜松、大羽精研、小野塚精機、遠藤科学、花田工務店、エテックリンセイシステム、瀧美モーターズ、旭精機工業、曙製作所、豊栄工業、ツゲブラセス、ネクスト、日本シーカ、高木木型、玉津浦木型製作所、木藤木型製作所、大同DMソリューション、日本インシュレーション、江沼チエン製作所、NTN、サイマコーポレーション、ポップリベット・ファスナー、日本発条、イグス、エフ・シー・シー、オーエスジー、三菱マテリアル、和光ケミカル、安全自動車、オートボックスセブン、住友電装、ヒロセ電機、elithion、ソリッドワークスジャパン、サイバネットシステム、日本ヴァイアグレイド、SMT JAPAN、オキナヤ、トビー工業、ガレージタカハシ、ミスミグループ本社、ワークスベル、キノクニエンタープライズ、プロト、SHORAI JAPAN、エヌ・エム・ビー販売、サンライズ、昭和飛行機工業、センサー・テクノロジー ジャパン、プロトラッド、HPCシステムズ、レント、ホワイトハウス、オカモト、キョウセイ交通大学、デイトナ、アイエムイー、JSK浜名湖店、MIRAI、根本明、中西利明、中村克己、畑内慎也、堀田浩之、秋山晃一、高野大和、田中健太、高見澤正樹、田中和宏、泉保人、小寺高徳



E4 National Tsing Hua University

●メンバー

[CP] TZU-CHING, CHEN, [FA] Lin, Chao-An, [MBR] KAO, CHU-YU, HSIEH, TSUNG-YEH, WANG, YAO-WEI, CHIU, CHING-YU, TANG, YU-JU, CHEN, FANG I, WU, JIE-YING, WENG, CHI-YU, KUO, PEI-YU, WU, NIAN-JE, CHEN, YU-TING, HAN, LE, CHEN, YU-AN, SHIH, I-LUN, TUNG, WEI-TING, POE, WILLIAMS, HUANG, CHIH YEN, LIU, SHAN-JU, CHAO, GUI-SHENG, LIN, TING-WEI, WU, JUI-HO, HSIEH, SHENG-HAN, FAN, CHICHUN, CHEN, ZUO-REN, LI, HAO-CHE, CHEN, SHAO-RONG, KAO, WEI-TUNG, CHENG, HSIANG-RU, WU, DA-SHAN

●車の特徴とチームの抱負

This year is our fourth participation of JSAE competition. Rather than making 2 cars (EV & ICV) in one time as last year, we decided to focus on EV only this year. To improve the

previous car (TH03), we change the location and the number of accumulator, raise the voltage, self-design new mechanism of suspension, and remove redundant part to keep this car (TH04) simple and robust.

●スポンサー

Adata, Argosy, KYMCO, Inc, SINBON, Syntec, E-CALL, Quanta, Delta Electronics, Inc., TITC, Racingbro, TAIWAY LTD., FCC, Wei&Cut Co., LTD, T&K ENTERPRISE CO., LTD, FOUNDER LAND, WAHLEE, CFPHD, ENERGUEN, CHROMA ATE INC., Horng Yu Electric Co., Ltd., Cheer Time Enterprise Co., LTD, Robert Bosch GmbH, YEN SUN TECHNOLOGY CORP., KSS, powertronics, Advantech Co., Ltd., igus® inc., ENDRICH CO., LTD, ASAZAWA INDUSTRIAL CO., LTD, FORMOSA TAFFETA CO., LTD, YANGMIN, SKF, Unilii, Maxon, ArchiAct, Beltenick, Raemco, Chain Yi Li, KYT



E5 一関工業高等専門学校/岩手大学 National Institute of Technology, Ichinoseki College/Iwate University

●メンバー

[CP] 千葉魁志, [FA] 伊藤一也, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

新しいパワートレインを手に入れ、出力が昨年比で20%向上しました。私達の車両の特徴はトルクベクタリングと回生ブレーキを搭載していることです。この2つの機能を使いこなし、EVクラス優勝を目指します。

●スポンサー

本田技術研究所, モディール, イワフジ工業, リチウムエナジージャパン, 日本端子, 千田精密工業, ヒロセ電機, NTN, 盛岡いすゞモーター, 長島製作所, プライムアースEVエナジー, 住友電装, P&Aテクノロジー, 東北日産, 日信工業, 岩手製鉄, アイシン・コムクルーズ, 市光工業, 佐原, 深井製作所, 柴田車両, 新菱オート, 協和, 日本ビストリング, SHOEI, MISUMI, RAYS, 自動車技術会東北支部, 岩手県, 一関産業集積推進協議会, 北上川流域ものづくりネットワーク, 伊藤研究室, 一関工業高等専門学校, 岩手大学



E6 トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya

●メンバー

[CP] 濱和樹, [FA] 早川哲也, [FA] 高橋一成, [FA] 久保田健一, [FA] 加賀史郎, [FA] 谷川亮太, [FA] 山崎敬介, [FA] 小林治彦, [MBR] 宮原孝成, 徳原稜太, 筒井康太, 永田裕也, 世古和歩, 濱中真純, 新美翔, 渡邊悠馬, 塚原祐樹, 馬場一樹, 平井天佑, 飯千健太, 小谷和徳, 柴田貴斗, 羽山勝紀, 平田稚碩, 河野暁人, 神谷将太, 清電之祐

●車の特徴とチームの抱負

私たちTTCN-F EVはコンセプトを『極』とし、車両の軽量化や旋回性能など昨年度から正常進化として1つ1つ進化してきました。今年度も全種目完走を目標とし、過去最高順位を狙います。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 新明工業, バイコージャパン, 高木製作所, ノムラマシン, 岡野エレクトロニクス, グッドイヤージャパン, ソリッドワークス・ジャパン, ダッド, タクティール, 豊田合成, エフ・シー・シー, NTN, 協和工業, 渡辺工業, サウスコジャパン, アイシン精機, 愛知, ほうらいせん, 大仙産業, キョウセイ自動車大学校, デクセラアルズ, イワタフクソー, トヨタカローラ愛知, イービー愛知, エフティーテクノ, 深井製作所, ホワイトハウス



E7 神奈川大学 Kanagawa University

●メンバー

[CP] 木俣葵, [FA] 中村弘毅, [FA] 山口光弘, [MBR] 小山田陸久, 星野裕太, 中前智隼, 櫻田夕太, 平田真尋, 榎本大輝, 中西康介, 田村健昇, 鈴木かりん, 一瀬辛柗, 宮澤貴大, 安藤瑛崇

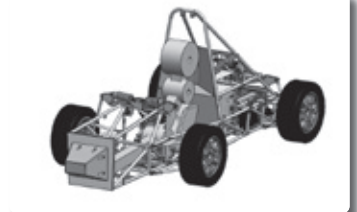
●車の特徴とチームの抱負

今シーズンのチーム目標は「エンデュランス完走」を掲げ、エンデュランスを完走するために安定的なマシンを意識して制作しました。今まで成し遂げたことのない全競技完走を目指します。

●スポンサー

molex, 日立金属, アナログデバイス, オートモーティブエナジーサプライ, 西川精機製作所, 川崎市産業振興財団, オズコーポレーション, サイマコーポレーション, 日圧総業, 堤工業, オキナヤ, NTN, ヒラミヤ, ミスミ, 松山工業, VSN, トーテックアメニティー, KURAFT OB会, サトーパーツ, オサダ, YAZAKI, フルンチェン, 重松, TDK

ラムダ, TGM, FCC, 日信工業, タイコエレクトロニクスジャパン, 深井製作所, オートショップ福井, 日本端子, コーケン, ファインケミカルジャパン, 大同工業, エム・エム・ビー, ニコルレーシング, 日本ワイドミューラー, ジーエス・ユアサコーポレーション, ニフコ, サンライト, 小糸製作所, セメダイン, キタコ, プラスミュー, プロト, ディージャック, ザムジャパン, ドライケミカル, カーボンテックソリューションズ, 小原歯車工業, ラフォーレ研究所, SUBARU, 先端技術研究所



E8 東北大学 Tohoku University

●メンバー

[CP] 戸内健太, [FA] 中村健二, [FA] 鎌田浩一郎, [MBR] 加藤遼, 高野直輝, 樋口海, 辰井裕希, 佐野高, 酒井太郎, 久保竜也, 近藤嘉昭, ジョシュア テグー サン トン

●車の特徴とチームの抱負

今季車両TF-19ではコンセプトを「扱いやすさの追求」とし開発を行いました。総合優勝を目指しチーム一丸となって大会に挑みます。

●スポンサー

東北大学工学研究科中村研究室, 東北大学未来科学技術共同研究センター, MotoGarage Winds, 東北大学西澤潤一記念研究センター/マイクロシステム融合研究開発センター, 本田技術研究所, モディール, トヨタ自動車東日本, 宮城トヨタ, ネットトヨタ宮城, トヨタカローラ宮城, トヨタレンタリース宮城, 東京ウェルズ, BOEING, 東北特殊鋼, ゼット・エフ・ジャパン, KYOWA エンジニアリング・ラボラリー, ニフコ, 梅沢無線電機, ソリッドワークス・ジャパン, ミスミ, 日信工業, 協和工業, DENSO, THK, NTN, 日本精工, 本田精機, 日本発条, アストロ機工,

和泉テック, プロトラッド, TwinklePochet, 住友電装, National Instruments, 十一屋ボルト, プラスミュー, Susprog, OZジャパン, MathWorks, 矢崎総業, NOK, 東北大学フォーミュラチームOB・OG会



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E9 静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology

●メンバー

[CP] 齋藤駿, [FA] 野崎孝志, [MBR] 宿島圭人, 上口直樹, 安達佳祐, 松井一将, 久保田健斗, 柏木亨之, 齋藤諒弥, 山内健太, 鈴木智博, 大塩歩夢, 岡本一茂, 渡邊爽, 中野瑛祐, 永井智崇, 芹澤夏生, 賤機弘樹, 金原匠吾, 本多亮, 平野桂也, 谷野寛紀, 芦原光, 大倉義正

●車の特徴とチームの抱負

●スポンサー

NO DATA

E10 トヨタ東京自動車大学校 Toyota Technical College Tokyo

●メンバー

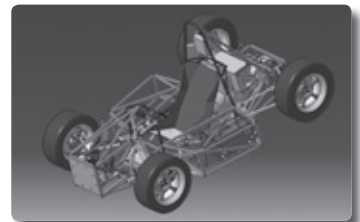
[CP] 野口大輔, [FA] 岡谷広徳, [FA] 仁宮直人, [FA] 鈴木秀明, [FA] 菱沼雄祐, [FA] 佐野慎太郎, [MBR] 相田祐貴, 伊藤勇太, 金岡英拓, 木村拓実, 芥原崇文, 小林瑛人, 佐藤寺磨, 祖父江純一路, 田辺孝弘, 千葉将貴, 土屋寿樹, 永井秀明, 村上謙也, 山下駿一, 五十嵐凱成, エルバン アブライティ, 鬼石一樹, 小野大成, 小島健人, 小林雅喜, 小室佑介, 佐藤大輔, 鈴木拓真, 清野勝一, 高橋咲季, 中村智一, 二家隆彰, 野澤奨, 藤田弘生, 本田智也, 吉岡光治, 水野秀一, 宮野航平

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、『ライトハンドリングEV』をコンセプトに、車両の軽量化とリチウムイオン電池搭載位置の変更を実施しました。総合50位以内を目指します。

●スポンサー

Amaz技術コンサルティング合同会社, 茨城トヨタ, ウエイズインポートカーズ, エフティテクノ, 神奈川ダイハツ販売, 神奈川トヨタ, 木村製造所, 寿自動車整備工場, 埼玉トヨタ, 埼玉トヨペット, サトーパーツ, 静岡トヨタ, 静岡トヨペット, Sensata Technologies, ダイハツ東京販売, 高砂製作所, 千葉トヨペット, 千葉日野自動車, デンソーソリューション, 東京日野自動車, 栃木ダイハツ販売, 栃木日野自動車, トヨタウエイズグループサービス, トヨタL&F埼玉, トヨタカローラ神奈川, トヨタカローラ埼玉, トヨタカローラ新埼玉, トヨタカローラ千葉, トヨタカローラ横浜, トヨタ西東京カローラ, ネットトヨタ神奈川, ネットトヨタ静岡, ネットトヨタ湘南, ネットトヨタ多摩, ネットトヨタ東埼玉, ネットトヨタ横浜, 常陸農園, 福島トヨペット, 藤本鋼材, ブチロックR&D, PROTRAD, BENDER, 的場, 丸与商店, 横浜ゴム, 横浜トヨペット, 横浜日野自動車, ライトモビリティ設計, 和光ケミカル



E11 Universitas Islam Indonesia

●メンバー

[CP] Abdul Aziz, [FA] Wahyudi Budi Pramono, S.T., M.Eng., [MBR] Alivio Maulidy, Nadia Nur Afifah, Alfaza Malikal Fadly

●車の特徴とチームの抱負

Telemetry system. UASC EV Team is a college student organization dedicated supporting the development young engineers. The conceptual programs have many plans that exposes students to all augmentative aspect of engineering consist of project management, design, manufacturing, research, analysis and prototyping. Every members dedicated time, mind and soul to building the car to achieve goals. This team strive to research and build dream car that is technologically advanced.

●スポンサー

PT. Wijaya Karya Tbk, PT Pertamina, PT. Adaro Energy Tbk



E12 INSTITUT TEKNOLOGI SEPULUH NOPEMBER

●メンバー

[CP] NAUFAL NABIL PRAMONO, [FA] ALIEF WIKARTA, S.T., [MBR] A A ANANDIKA PARWATA, SATRYO FADHIAN SHIDQI, RIQY RIZQYANDRA, MR MUHAMMAD ZIAUL ARIF, RHEMA ADI MAGIZA WICAKSANA, ING FADHLURRAHMAN IKBAR, MUHAMMAD HA EKAL SHAFI, FAHREZA AJI TARUNA, MUHAMMAD NAUFAL FARIZA, JOEL DAREN PERMANA, INGGRITA PUTRI KUSUMA, ING AGUNG PRASTOWO FRENG, MR LINGGAR ALVINSYAH TRENGGINAS, MADE BHASWARA WIRANUGERAHA, MAHDIYYAH DWIMA YANISA, MUHAMMAD ANDHIKA ADIWIDYA, MR KHADIF GICHA ALIFIO, CLEVERZA MUHAMMAD SYAH, BACHARUDDIN YUSUF WAHYUDI, ANNISA RAMADHANTI RIRIANZA PUTRI, ING FAHRI HUMAIDI JR, GEN BARIZ IRFAN RIDHO, MR BINTANG PRATAMA, DAFFA RAFSANJANI IJLAL, RIZAL BAGUS PRAYOGO

●車の特徴とチームの抱負

Our car feature is using monoque combine with side tube sub frame, so we can maximize the capacity of battery that we use. We also make efficient vehicle by designing and building our own Electric Motor and Controller unit so we can adjust the variable. Our tim aspiration is highly appreciated by listening to all sugestion and discussion while troubleshooting and through some revision after manufacturing, assembling and testing our vehicle. We also making idea together to get funding and income.

●スポンサー

Pertamina, Bright Gas, Indonesia Power, Humpus Transportasi Kimia, Prosinergi, Inka, ISTW



E13 九州工業大学 *Kyushu Institute of Technology*

● メンバー

[CP] 吉岡莞汰, [FA] 森直樹, [MBR]

● 車の特徴とチームの抱負

NO DATA

● スポンサー

E15 National Pingtung University of Science and Technology

● メンバー

[CP] Ciou, Yue-Hao, [FA] Lin, Chang-Sheng, [MBR] Lau,Win-Kit,Wu,Yi-Xiu,Su,Yu-Nan,Weng,Ke-Hsi,Lin,Kuan-Ting,Tu,Yi-Ting,Chang,Chih-Yu,Hsu,Chuan-Hsing,Cheng,Zhen-Ting,Liao,Yi-Jhih,Chiang,Hung-Tse,Y-en,Ting-Yu,Lin,Ming-Hsien,Chung,Ho-ting

● 車の特徴とチームの抱負

NO DATA

● スポンサー

E16 Rajshahi University of Engineering & Technology

● メンバー

[CP] Md. Tenver Sahariar Utso, [FA] Prof. Dr. Md. Rokunuzzaman,
[MBR] Shafi Md. Istiak,Md. Razoan Mahmud,Abu Mosaeb Khan

● 車の特徴とチームの抱負

NO DATA

● スポンサー

E17 R V College of Engineering

● メンバー

[CP] Venkatesh S, [FA] Dr. Shanmukha Nagaraj, [MBR] Mujavar Mohammed Ashtaq,Mushtaq Ahmed,Karshit Takhtani,Manoj S,Rutuja Jagtap,Akshay Kumar Joish,Aishwarya Sinha

● 車の特徴とチームの抱負

NO DATA

● スポンサー

参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E18 National Cheng Kung University

●メンバー

[CP] Lin Tzu Hsiang, [FA] Hou Ting Wei, [FA] Chih-Hsing Liu, [MBR] Kuo Yu Cheng, Chou Ting Kai, Chiu Jen fu, Lin Chia Chun, Wong Yi Ting, Huang Ting Shan, Chuang Yu Hsiang, Huang Hung-Hsun, Kuan Zi Wei, Chiao Kuan Wei, Huang Shao Kai, Lai Kuan Lin, Yang Hao Jen, Ou Szu Yin, Hsu Chang Chi, Hsu Yu Chin, Li Yu Hong, Lin Jui Hung, Yang Chia Yin, Tseng Chi Chung, Lin Pin Yi

●車の特徴とチームの抱負

●スポンサー

NO DATA

E19 National Taiwan University

●メンバー

[CP] Yuchen-chou, [FA] Kuan-lun Hsu, [MBR] PENG, CHI-JUI, Lin Tien-Li, WU, MENG-CHOU, SHUN-CHI, CHANG, Kuo-Lun, Huang, LYU, BO-TING, CHUN-SHENG, LIN, Bo-Ruei, Huang, Ching-Te Lin, YINCHIEN HUANG, TSAI, MENG-CHEN, Hsiang-Wei, Chang, Lin Tien-Li, Yu Hong Chen

●車の特徴とチームの抱負

It's our first time participate in this competition. Our goal is to build a safe chassis and a stable drivetrain with potential for further develop. The most important feature of our car is safety. We take larger safety factor than usual, with respect to maximize the safety.

●スポンサー

Mouser, J-Tek, Trillion, Mobipus, Prodigit, Sonic, SKF, Bender, Raemco, Bar bear, Fuzhuan, Sharkfactory...



E20 JiLin University

●メンバー

[CP] Haiyang Hu, [FA] Da Wang, [MBR] Qingchun Song

●車の特徴とチームの抱負

Jilin University Gspeed Electric Formula Vehicle Team is established in 2015. The team adheres to the people-oriented development concept and aims to cultivate innovative talents with international vision. For the first time in the 18th season, the team developed a carbon fiber composite single-shell body, an anti-lock braking system with electronic brake distribution (ABS+EBD), and a planetary gear reducer. We will explore advanced racing designs to create first class racing and talent.

●スポンサー

DENSO, Lintianyuanda, Changchuntianhuo, Continental, Speedgoat, BOSSARD



E21 National Taipei University of Technology

●メンバー

[CP] Po-Yuan, Cheng, [FA] Kuang-Yow, Lian, [MBR] Shun-Wei, Hung, Cheng-Yu Yu, Cheng-Yang Liu, Zong-Xuan Wu, Deng-Hong Lee, I-Shen Ho, Po-Hsuan Chen, Yuan-Xu Peng, Li-Hsin Chen, Yu-Han Hsiao, Pai-Chen Chen, Cheng-Yu Chang, Bing-Bing Shiu, Wei Huang, Fan-Juliao Liao, Ting Tong, Po-Cheng Chang, Tzu-Yi Chuang, Che-Yu Lin, Li-Huan Hsu, Szu-Chi Huang, Shih-Hao Wu, Jing-Chih Huang, I-Cheng Lu, Li-Hng Tan, Ssu-Sheng Tsai, Yang-Chu Hong

●車の特徴とチームの抱負

This year we set up a two-year plan. We manufacture two cars. One is TTR4 ICV, the other is TTR4 EV in this year JSAE. In TTR4 EV, we aiming for "stability". In this first year we aiming for completing the

competition.

●スポンサー

KCMG, Sanyang, Mouser Electronics, Motul, t-global, Hotaimotor, Formosa Taffeta, Epolab Chemical Industries, Unill i, Yamaha, RES, WHETRON, NSK, ASAZA WA INDUSTRIAL, Triple S, Racingbros, Fit Shox, RockShox, FCC, AXALTA, RAEMCO Chroma, trionco, IGUS, K Y T, Golden Bloom, FOUNDER LAND, CHELIC, Yoshang Precision Machinery, BOSCH, GARMIN, KOSO, zircotec, Bender, Sensata, Solidworks, Cybernet



E22 Harbin Institute of Technology at Weihai

●メンバー

[CP] Zezheng Huang, [FA] Jianfeng Wang, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

HRT founded in 2013, our concept is 'Design to win, compete for victory', HRT-19E is based on innovation, lightweight and reliability. We design one-piece CFRP monocoque, and we design our aerodynamic devices based on CFD. As for the powertrain, distributed four motor drive used to improve the vehicle performance. We use third spring arrangement to improved vehicle response.

●スポンサー

光威, 蔚来汽车, Chroma, arm, 贸泽电子, 科列, melasta, Bender, HUBER SUHNER, 北京华海科技有限公司, National Instruments, 恒润科技, Mentor, 森萨塔, 大陆, igus, 长鹿工具, ANSYS, MathWorks, MSC Software, IPG, 新北洋, 上海拓渝实业有限公司, Altair, 中科恒泰, HONDA, IMK, ZF



E23 Beijing Institute of Technology

●メンバー

[CP] Mingkai Zeng, [FA] Peng Liu, [MBR] Mingxuan Che, Xiaochen Gao, Tengjie Huang, Mingyang Li, Haoyu Liu, Chengyu Lian, Yankun Lu, Huichen Ma, Ruifeng Mao, Yizhou Pang, Kai Pang, Bokai Quan, Fei Wang, Jiheng Wang, Yuze Wang, Da Wen, Yonghua Wu, Xin Xiong, Ruoxin You, Jiawei Zhang, Shumeng Zhang, Xiangchao Zhang, Xinshuo Zhang, Qunfeng Zheng, Haoan Zhou

●車の特徴とチームの抱負

Car Features: Distributed drive control strategy based on AMK hub motors, integrated management of control circuit, carbon fiber products oriented by lightweight idea e.g. monocoque car body, suspension, and adjustable aerodynamics kits.

Team Aspirations: With the brand new product, Silver Shark VIII, for Season 2019, the teams are expecting detailed communications in all aspects with friend-teams for inheritance of technology, and to finish competitions without regrets.



●スポンサー

BAIC BJEV, School of Mechanical and Vehicle Engineering, Beijing Institute of Technology, SMC, Institute of Advanced Structure Technology, Beijing Institute of Technology, Huahai Technologies, SINO COMPOSITE CO., LTD., MAGNA, Altair, Melasta, Meiwo Material, DuPont, Kclear, BENDER, HUBER-SUHNER, Jettop Racing Development, IMK Brakes, FLUKE, SUI ON INSULATING

E24 Universitas Gadjah Mada

●メンバー

[CP] Ariestyan Darmawan, [FA] Triyogatama Wahyu Widodo, M.Kom., [MBR] Ahmad Koirul Rijal, Ariestyan Darmawan, Akbar Yuga A. M., Andini Khairat Besral, Andriel Perangin Angin, Arif Purnomo Aji, Ayu Titan Damayanti, Benedictus Axel Nugroho, Bima Anggoro, Bimo Widyatamoko, Christopher Tangguh Bayu Wahyudi, Erwin Firmansyah, Erwin Julian Triantoko, Fina Nur Khalisha, Hanif Faalih Wienico Kusuma, Ibra Ilham Wijaya, Ignatius Chandra Kurniawan, Imam Al Hakim, Inherenta Muhammad Amarutli, Josi Aldo Emmanuel Pramono, Ken Zabiyy Muhammad Arief, Lusia Estihito Estuningrum, Previo Iman Prakasa, Rama Satriya, Ramadhani Yuda Pratama, Rizka Faradilla Zulfiana, Rizky Dewandaru, Sabit Akbar Biruni, Suryo Hadiwibowo, Wibi Fahru Ma'rufi, Yunas Pandu Satria, Zaky Fadlurrahman, Alwinda Husna Aliya, Eva Anugrahayu, Farhan Iqbal Bagaskoro

●車の特徴とチームの抱負

Arjuna EV is the Formula Student team of Universitas Gadjah Mada for electric class.

Founded in 2012, we have created many inovations for Indonesia's electrical technology. As the pioneer of formula EV car in Indonesia, this year will be our second times to participate in FSAE Japan. Over all, the performativity of our car would be much better than previous years which is lighter, better aerodynamics, and better maneuverability.

NO DATA

●スポンサー

Toyota Motor Oil, Pegadaian, Suzuki, PT Pertamina MOR IV, PT PJB, Ministry of Industry Republic of Indonesia, and to be released

E25 成蹊大学 SEIKI University

●メンバー

[CP] 榮祐世, [FA] 篠田心治, [FA] 戸谷希一郎, [FA] 甲斐宗徳, [FA] 鹿田健太郎, [MBR] 岡崎晃大, 小泉勇斗, 新井綾隼, 磯崎友哉, 川口拓真, 熊坂春希, 吉田遼, 海老原幹宏, 金澤篤而, 黒岩真由, 平良玲緒奈, 高野七穂, 林佑一, 松村海波, 村上極, 神田睦生, 赤坂航, 美谷島朋泰, 森藤大樹, 渡邊和奏, 永嶋竜也, 帆刈祥太郎, 三輪勇人, 市川拓弥, 増田哲也

●車の特徴とチームの抱負

今年度マシン『DEBUT』は、「あなたのEVデビュー」をコンセプトに2年計画で設計・製作を行いました。弊チームの体制も大きく変え2017年に1年生だったメンバーが1から作ったチームでEV初参戦致します。全種目完走、EVルーキー賞獲得を目指します。

●スポンサー

iPX, 旭化成建材, アルテアエンジニアリング, WINTECH, HPCシステムズ, NTN, エフ・シー・シー, オートボックスセブン, 熊坂窓工, 協和工業, クロスオーバー, 蹊電会, 興研, 公進ケミカル, 小原歯車工業, 近藤製作所, サトーパーツ, シーアール工学研究所, 住友電装, 成蹊大学, 成蹊大学理工学部, 成蹊大学理工学部同窓会, センサータテクノロジージャパン, SolidWorks Japan, ダイゾー, TEIN, THK, DMM.com, 東日製作所, 日産自動車, 日信工業, ニフコ, 日本ナショナルインスツルメンツ, 富士精密, PUES EV, プロトラッド, 本田技研工業, マーレジャパン, マキタ, マクススリオンテック, ミスミ, 武蔵境自動車教習所, 村上製作所, 矢崎総業, ヤシカ車体, ユタカ技研



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E26 日産京都自動車大学校 *Nissan Automobile Technical College Kyoto*

●メンバー

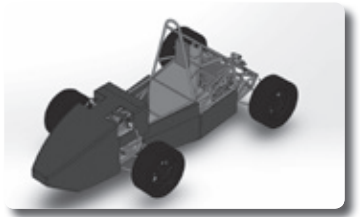
[CP] 錦織凌, [FA] 吉澤英行, [FA] 加藤敏彦, [FA] 大村哲嗣, [MBR] 岡田一希, 中村康平, 河本拓海, 櫻田龍平, 伊藤智, 長廻大輔, 樋口雄大, 山野賢志, 渡邊登, 青山翔汰, 大野晃洋, 佐々木翔鷹, 藤澤元大, 月岡太志, 村田健一郎, 藤木大嗣, 有元龍馬, 岩山大志, 丹田明良, 余財司, 川幡夏之, 國廣翔, 神庭拓斗, 隅野真幸, 三浦夏樹, 吉川峻矢, 足原基生, 川合慶司, 玉井隆, 赤井皇, 津田直樹, 小山哲弥, 田中貴志

●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトは「基本に忠実なシャシ」「高効率なパワートレイン」です。私達にとっては、初めての挑戦ですので右も左も分からず色々苦戦しておりますが、全種目完走という目標を達成する為に基本をしっかり押さえながら車両製作しました。応援よろしくお願い致します。

●スポンサー

日産自動車, TONE, ソリッドワークス・ジャパン, エフ・シー・シー, NTN, オーゼットジャパン, 摂津金属工業所, DEEPSTAGE Racing, ウエストレーシングカーズ, ティエムシー, 日本ナショナルインスツルメッツ, SHENZHEN MELASTA BATTERY, EVOLVE, ヒーロー電機, 住友電装, 三恵工業, 日本ドライケミカル, ニコルレーシング, HILL TOP, プロトラッド, プロト, センサー・テクノロジー・ジャパン



E27 神奈川工科大学 *Kanagawa Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 田中慎也, [FA] 山門誠, [FA] 岡崎昭仁, [MBR] 松本慎吾, 張海鵬, 島山英隆, 鈴木隆将, 舟岡智哉, 橋本陸, 飯島利勇斗, 大津俊太郎, 星憲太郎, 後藤陸人, 玉川莉久, 高橋剛, 渡邊久葉, 山之内晶, 藤原諒紀, 渡部航平, 石割研吾

●車の特徴とチームの抱負

私たちのチームではモーターの性能を100%発揮できる車両を製作するために完全自作モジュールのバッテリーを使用しています。チームの目標は全動的種目を完走し、アクセラレーションで優勝です。

●スポンサー

マテックス, ヘンミ計算尺, センサー・テクノロジー・ジャパン, 戸田レーシング, デュボン帝人アドバンスドペーパー株式会社



スポンサー企業一覧

Sクラススポンサー 5社

TOYOTA

NISSAN

MOTOR CORPORATION

HONDA



日立金属

Materials Mag!c

Aクラススポンサー 26社



TAMADIC

Change creation into power

NOK

igus



VSN

AISIN

ISUZU



Kawasaki

KOMATSU

SAGInoMIYA



ZUKEN
The Partner For Success

 **SUZUKI**

 **DAIHATSU**

DENSO
Crafting the Core



MOTION & CONTROL™
NSK

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

HTFT
Honda Techno Fort


YAMADA

 **YAMAHA**
Revs Your Heart

Bクラススポンサー 86社

 **TACHIS**



PRESS KOGYO

 **豊田自動織機**

YOROSU


UD TRUCKS

ICHIKOH
a Valeo company


DEVELOP YOUR ORIGINALITY THROUGH UNIVERSAL JOINTS
KYOWA JAPAN
<http://www.kyowa-uj.com>

NIFCO
WOWING THE WORLD

 **HINO**

BBS

dSPACE

 **MathWorks®**

NTN

Mentor®
A Siemens Business

 **SOLIZE**


アイシン・エイ・ダブリュ

ADVICS


株式会社 アネブル

 **Altair**

ANZEN
安全自動車株式会社

ETAS



Valeo

WITZENMANN

AVL 

 **ACTIVE TRACTION SERVICE**

EXEDY



AUTECH JAPAN, INC.



Cクラススポンサー 72社



Competition Site



ECOPA Guide Map

